

水戸市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【結果報告書】

令和2年3月

水戸市

目 次

第Ⅰ部 調査の概要	1
1. 調査概要	3
第Ⅱ部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	5
★ 調査票を記入されたのはどなたですか	7
1. あなたのご家族や生活状況について	8
2. からだを動かすことについて	16
3. 食べることについて	27
4. 毎日の生活について	37
5. 地域での活動について	55
6. たすけあいについて	65
7. 健康について	73
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	81
9. 成年後見制度について	83
第Ⅲ部 生活機能判定結果	85
1. 介護予防のための生活機能判定結果	87
2. その他の生活機能判定	98
第Ⅳ部 資料編（使用した調査票）	105

第 I 部 調査の概要

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、「からだを動かすこと」や「食べること」「地域での活動」などの高齢者の生活実態や健康・社会活動に関する状況を、日常生活圏域ごとに把握することにより、地域の課題を抽出し、本市の介護予防に関する取り組みを評価することを目的とします。

あわせて、「(仮称)水戸市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基礎資料として活用することも目的としています。

(2) 調査対象者

調査種別	対象
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の要介護認定を受けていない高齢者 ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者 ・要支援認定者

(3) 調査方法と調査期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和元年12月4日～令和2年1月20日

(4) 回収結果

調査区分	配布件数	回収件数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000	2,308	76.9%

(5) 日常生活圏域別 回収結果

圏域	配布件数	回収件数	回収率
中央	394	292	74.1%
東部	405	306	75.6%
南部第一	360	281	78.1%
南部第二	414	318	76.8%
北部	385	302	78.4%
西部	383	294	76.8%
常澄	321	226	70.4%
内原	338	252	74.6%
不明		37	
合計	3,000	2,308	76.9%

(6) 報告書をみる際の注意点

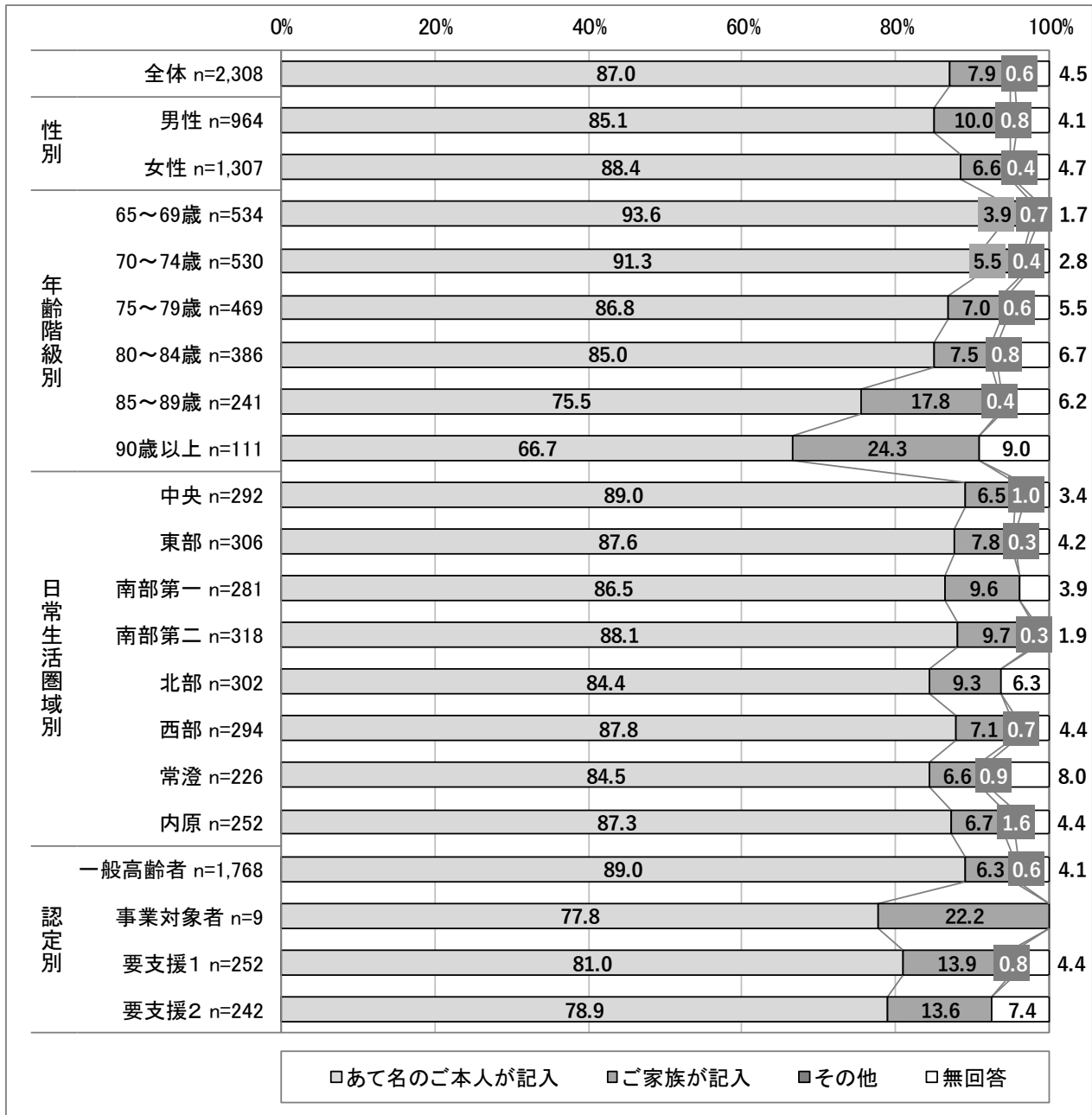
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しているため、その合計値が 100%にならない場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は 100%を超える場合があります。
- グラフは、見やすさを確保するため、数値の掲載を割愛している場合があります。

第II部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

★ 調査票を記入されたのはどなたですか

調査票に回答した方については、全体では「あて名のご本人が記入」が 87.0%で最も高くなっています。

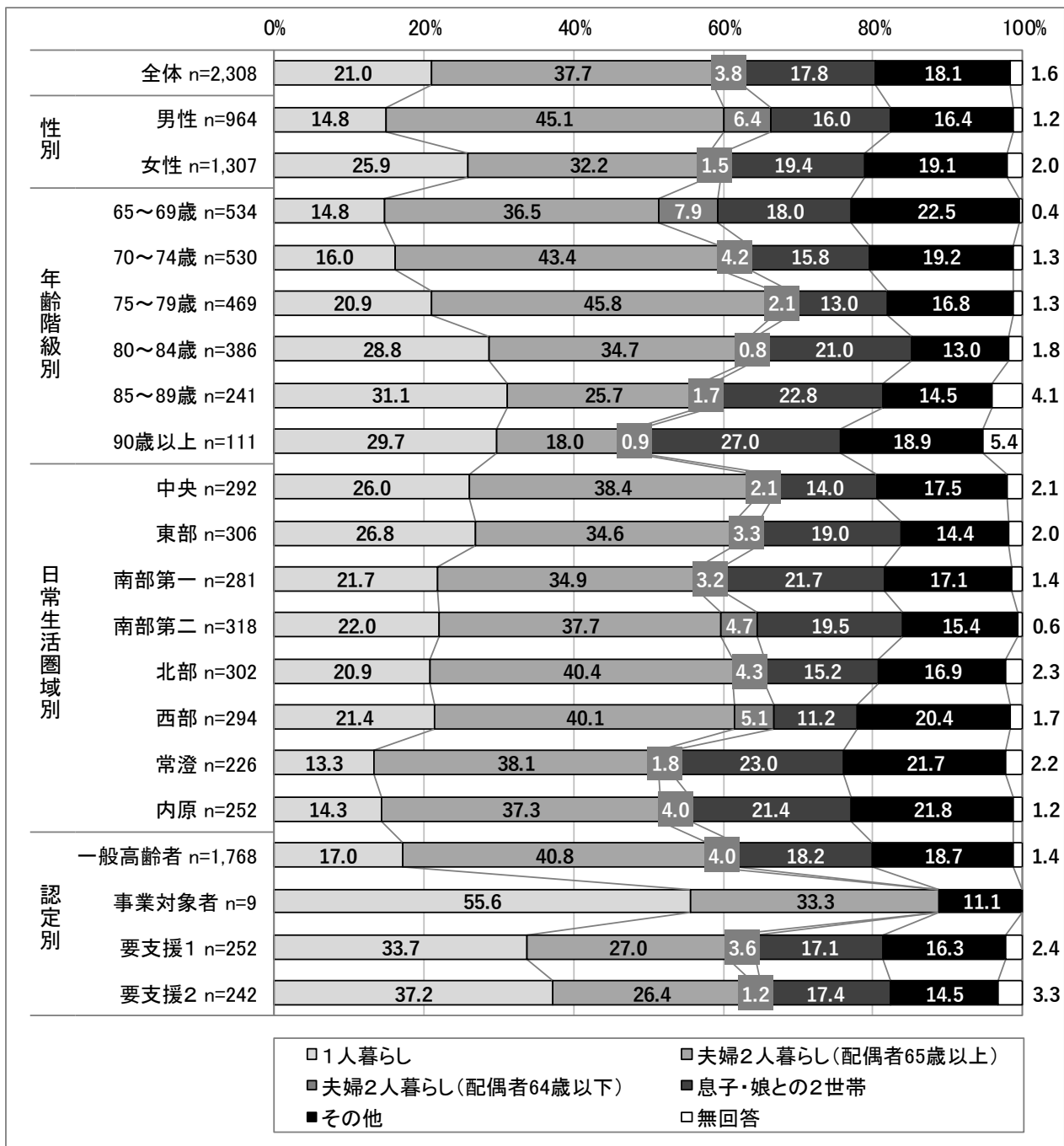
年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「あて名のご本人が記入」が減少しています。



1. あなたのご家族や生活状況について

Q1. 家族構成を教えてください（1つのみ）

家族構成については、全体では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.7%で最も高く、次いで「1人暮らし」が21.0%、「その他」が18.1%、「息子・娘との2世帯」が17.8%となっています。
 性別で見ると、「1人暮らし」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。
 年齢階級別で見ると、年齢が上がるとともに、「1人暮らし」が増加しています。
 日常生活圏域別で見ると、中央及び東部で「1人暮らし」の割合が他の圏域と比べて高くなっています。

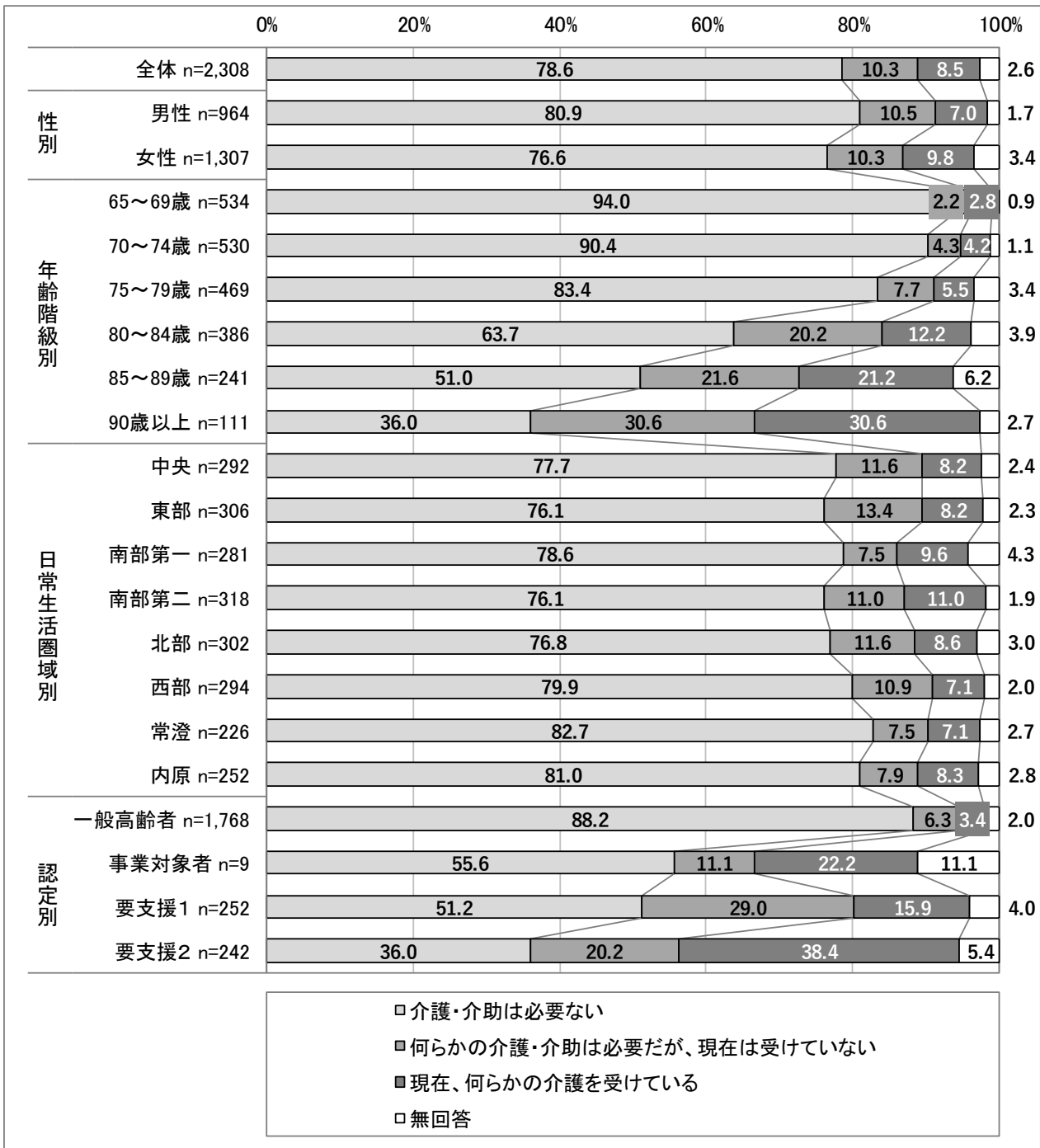


Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つのみ）

普段の生活での介護・介助の必要性については、全体では「介護・介助は必要ない」が78.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.3%、「現在、何らかの介護を受けている」が8.5%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「現在、何らかの介護を受けている」が増加しています。

日常生活圏域別でみると、南部第二で「現在、何らかの介護を受けている」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

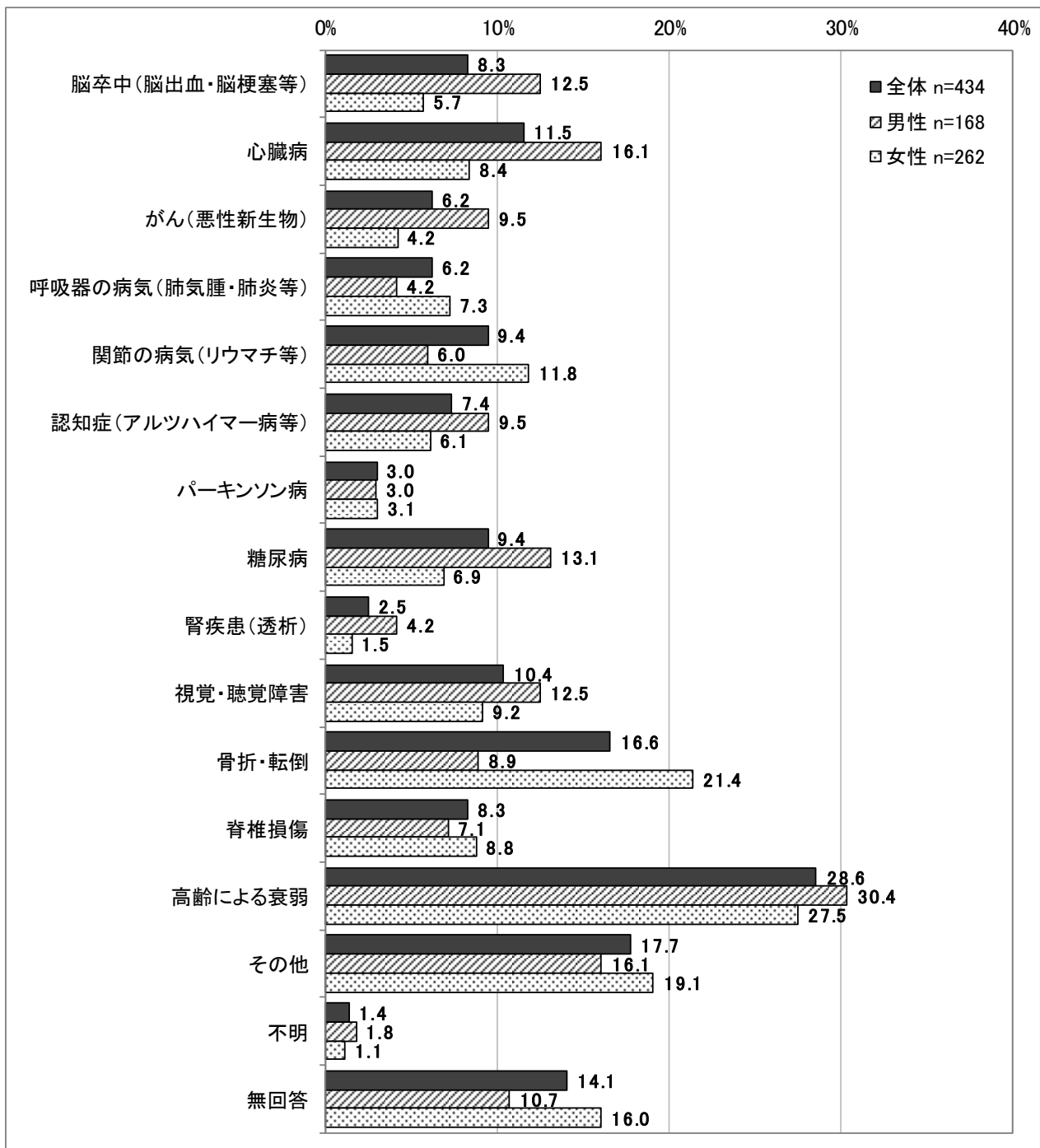


【Q2において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

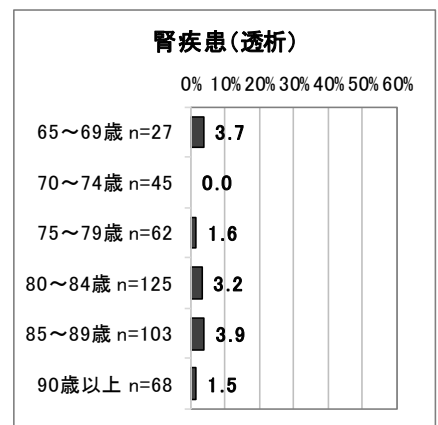
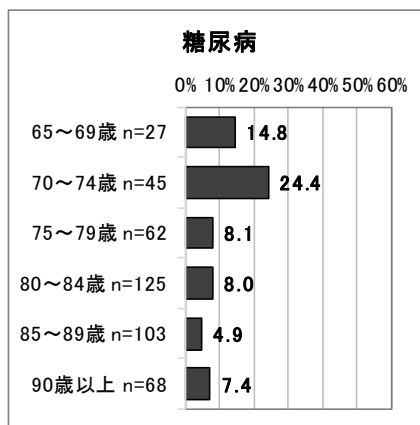
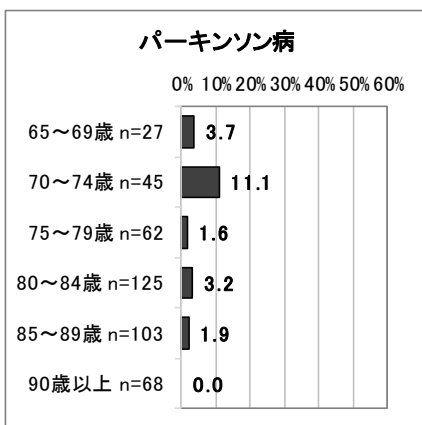
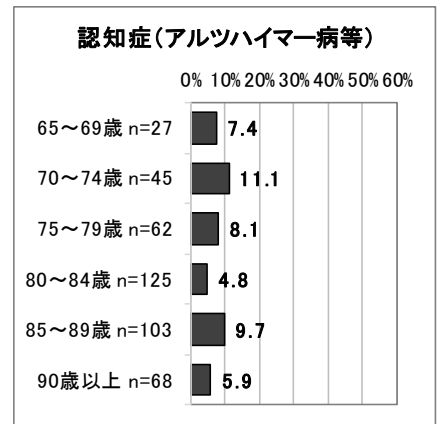
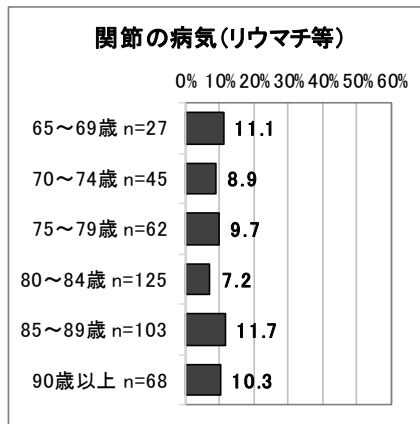
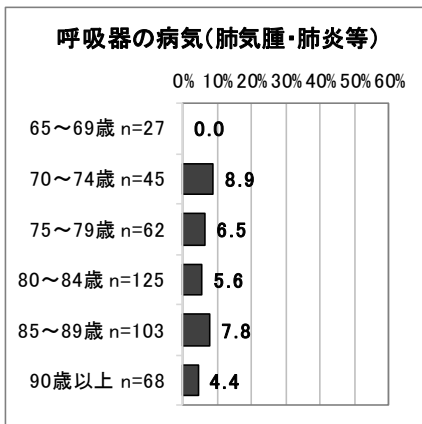
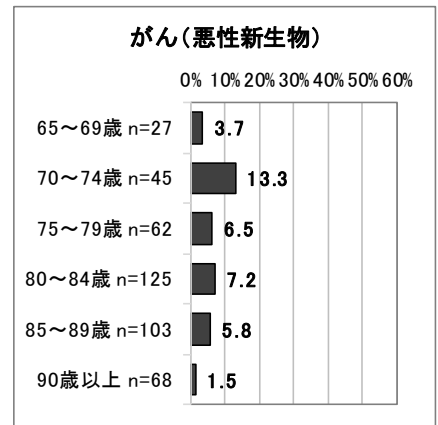
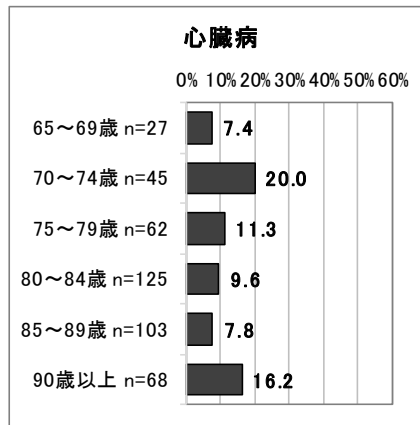
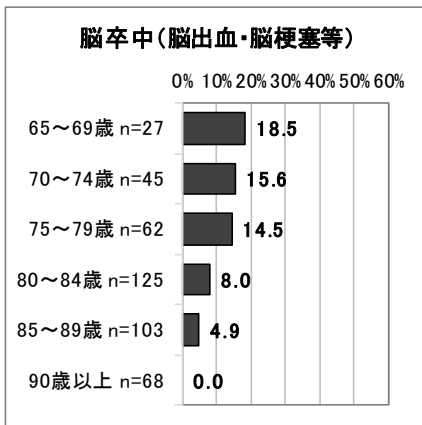
介護・介助が必要になった主な原因については、全体では「高齢による衰弱」が28.6%で最も高く、次いで「その他」が17.7%、「骨折・転倒」が16.6%、「心臓病」が11.5%、「視覚・聴覚障害」が10.4%となっています。

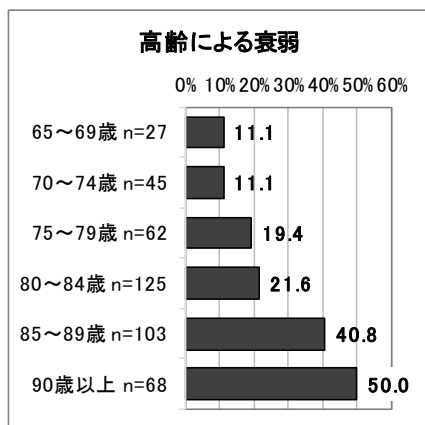
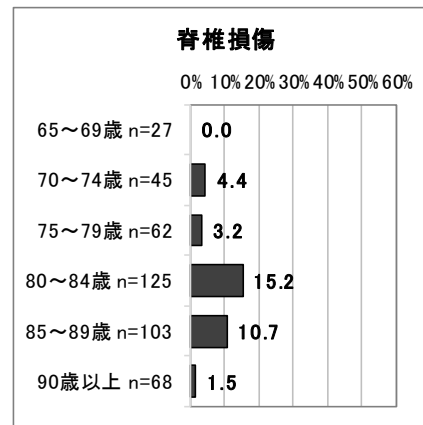
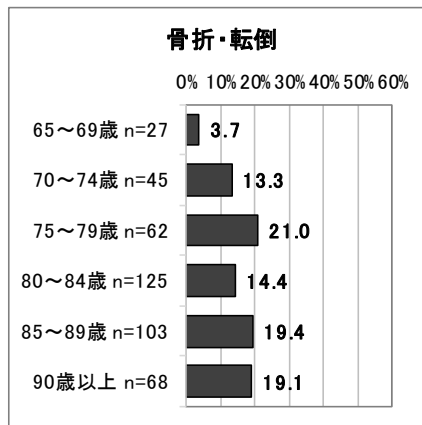
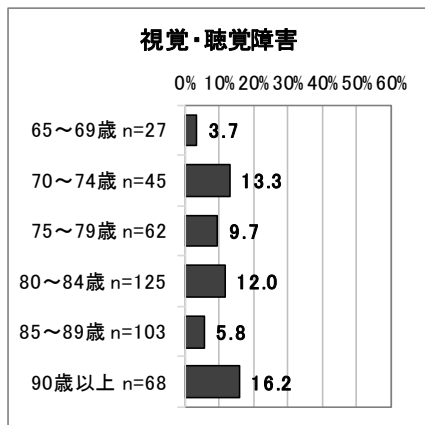
性別でみると、男性では、「高齢による衰弱」が30.4%で最も高く、次いで「心臓病」、「その他」がともに16.1%、「糖尿病」が13.1%となっています。女性では、「高齢による衰弱」が27.5%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が21.4%、「その他」が19.1%となっています。



年齢階級別でみると、介護・介助が必要になった主な原因について「その他」を除き、割合が高い上位2項目を列記しています。

- ・ 65～69歳：「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」18.5%、「糖尿病」14.8%
- ・ 70～74歳：「糖尿病」24.4%、「心臓病」20.0%
- ・ 75～79歳：「骨折・転倒」21.0%、「高齢による衰弱」19.4%
- ・ 80～84歳：「高齢による衰弱」21.6%、「脊椎損傷」15.2%
- ・ 85～89歳：「高齢による衰弱」40.8%、「骨折・転倒」19.4%
- ・ 90歳以上：「高齢による衰弱」50.0%、「骨折・転倒」19.1%



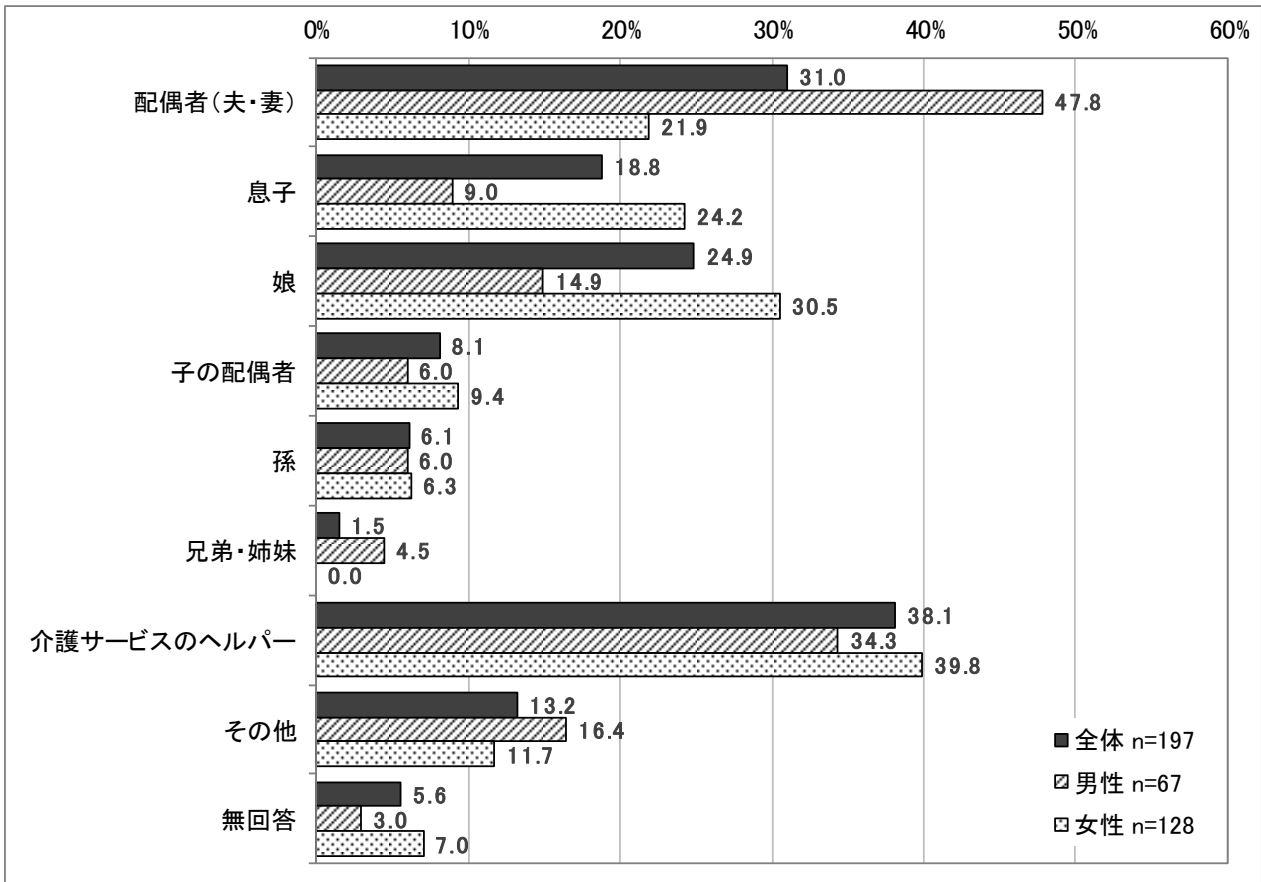


【Q2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

主に誰からの介護・介助を受けているかについては、全体では「介護サービスのヘルパー」が38.1%で最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が31.0%、「娘」が24.9%となっています。

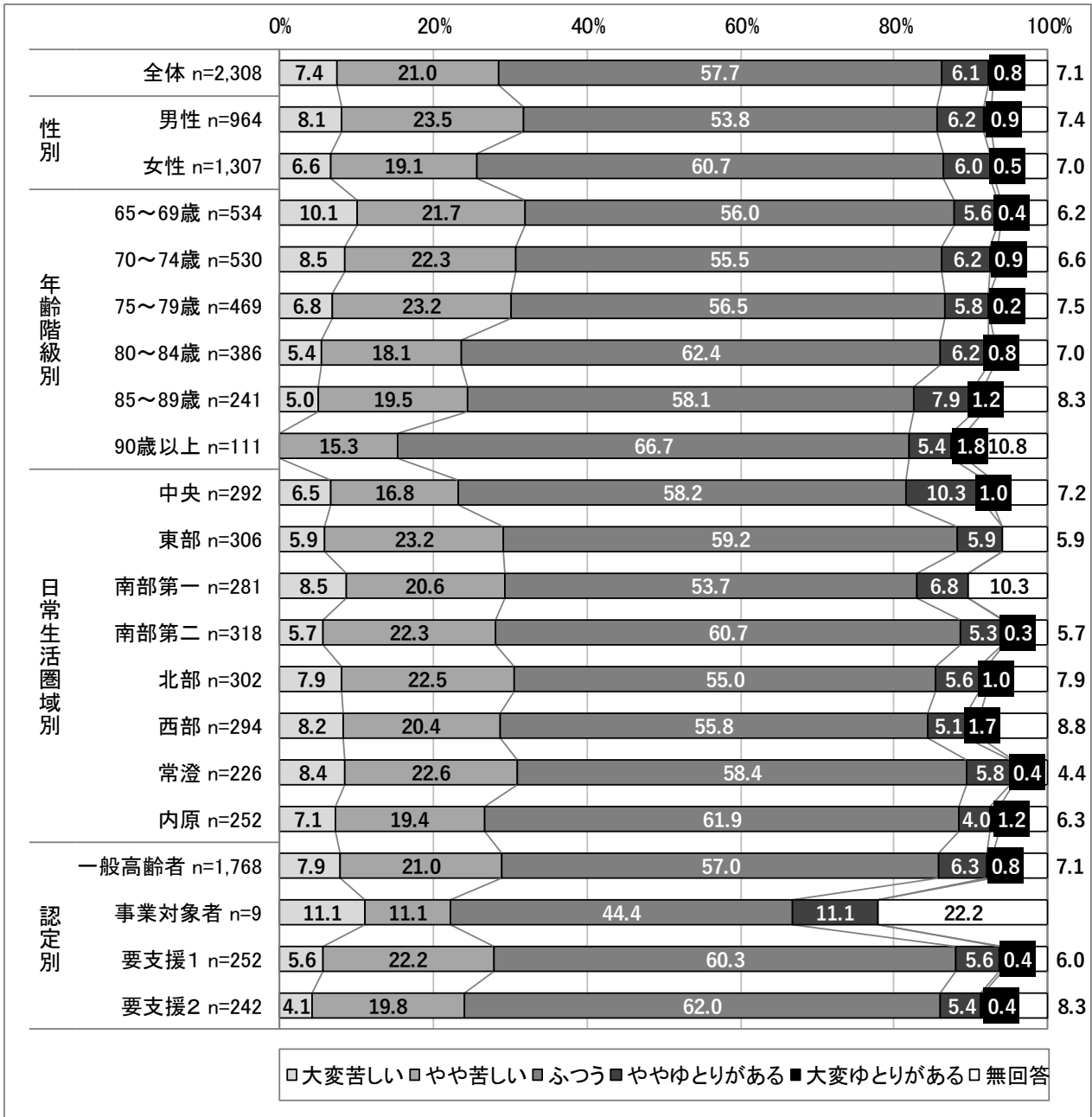
性別でみると、男性では、「配偶者（夫・妻）」が47.8%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が34.3%、「その他」が16.4%となっています。女性では、「介護サービスのヘルパー」が39.8%で最も高く、次いで「娘」が30.5%、「息子」が24.2%となっています。



Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つのみ）

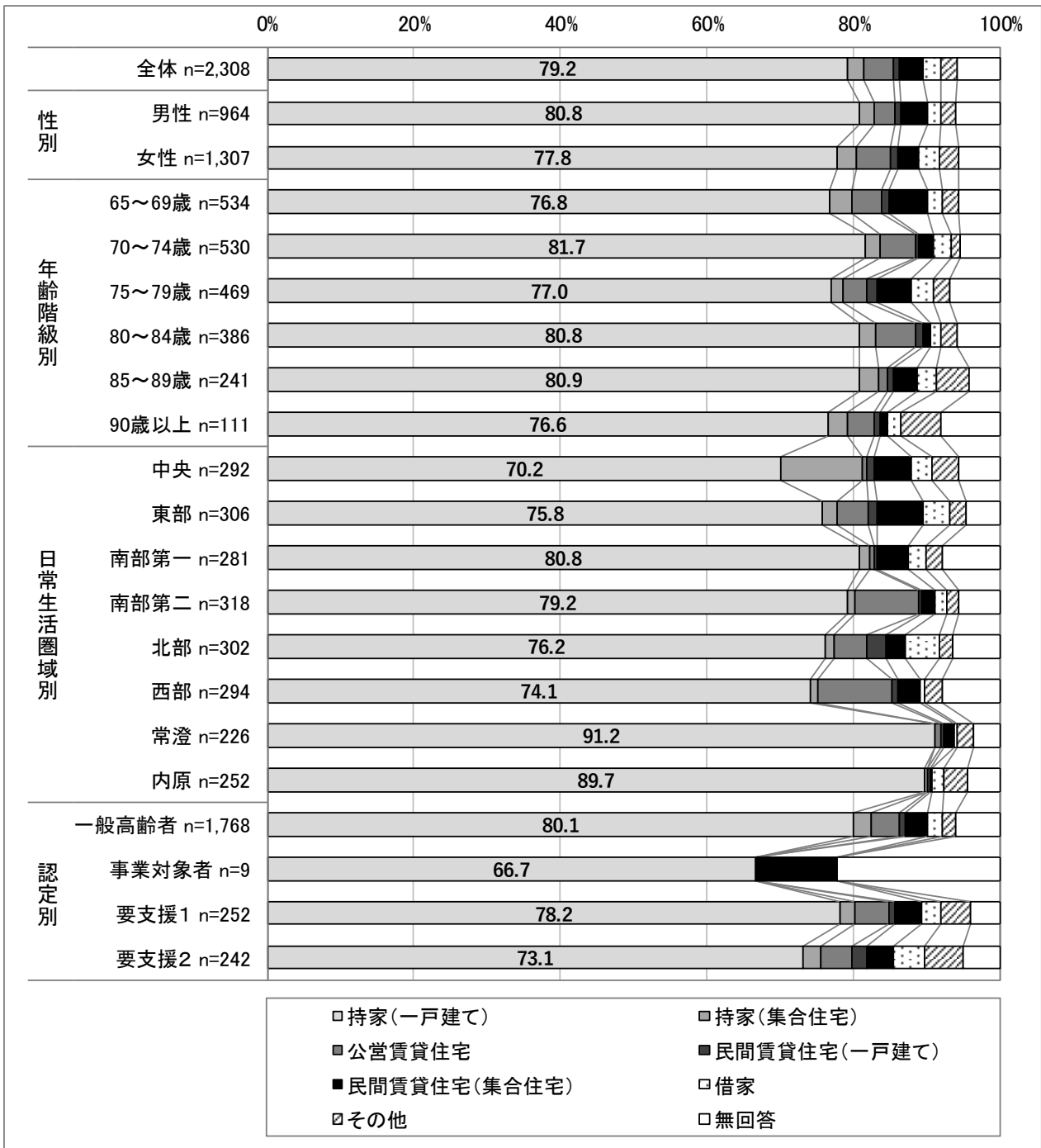
現在の暮らしの経済状況については、全体では「ふつう」が 57.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 21.0%、「大変苦しい」が 7.4%、「ややゆとりがある」が 6.1%となっています。

年齢階級別でみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は、65～69歳、70～74歳、75～79歳では約3割となっています。



Q4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つのみ）

住まいの種類については、全体では「持家（一戸建て）」が79.2%で最も高くなっています。属性別でも、すべての属性で「持家（一戸建て）」が最も高い割合となっています。



2. からだを動かすことについて

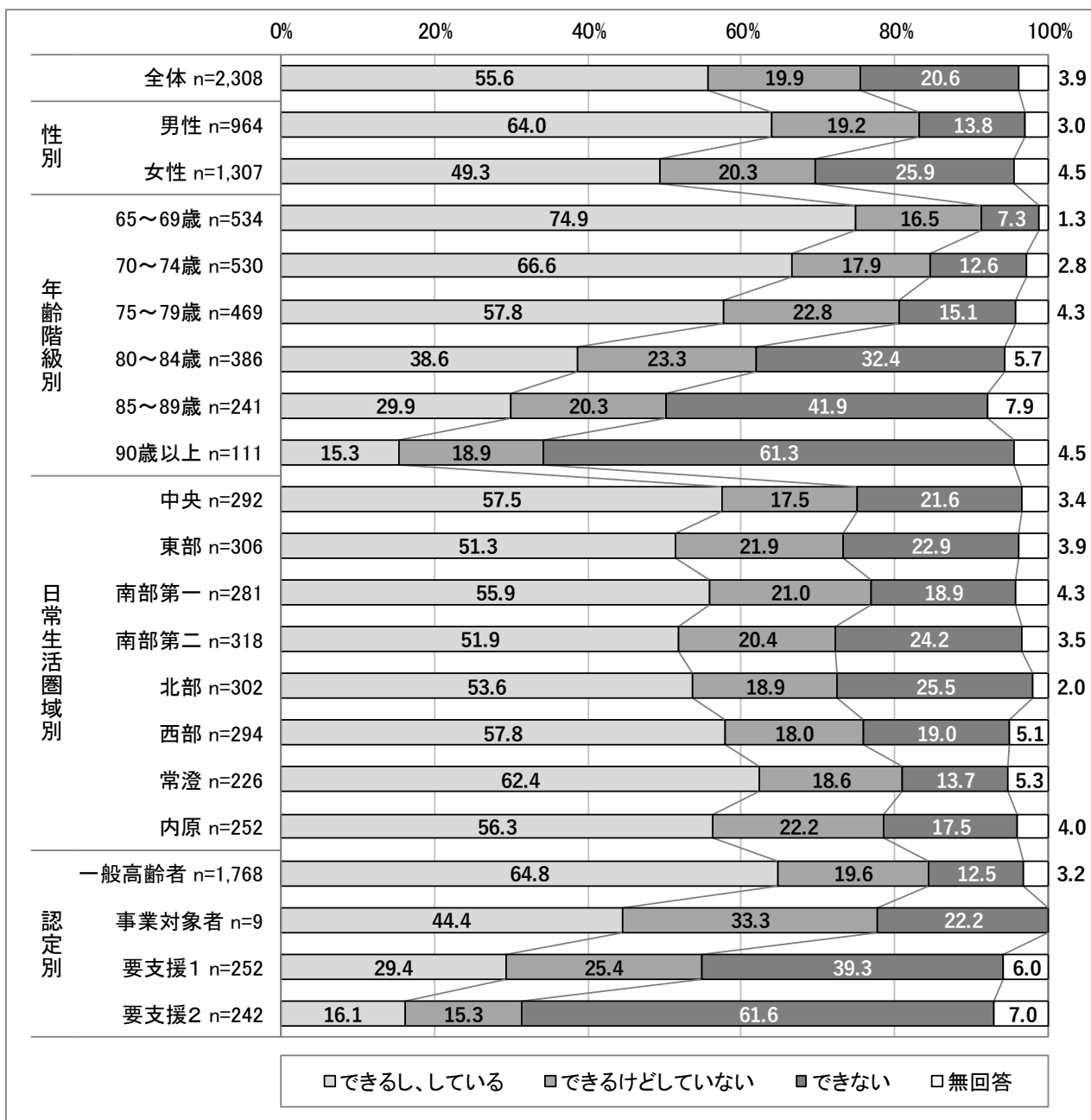
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つのみ）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、全体では「できるし、している」が55.6%で最も高く、次いで「できない」が20.6%、「できるけどしていない」が19.9%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が61.3%で最も高く、次いで85～89歳が41.9%、80～84歳が32.4%となっています。

日常生活圏域別でみると、南部第二及び北部で「できない」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



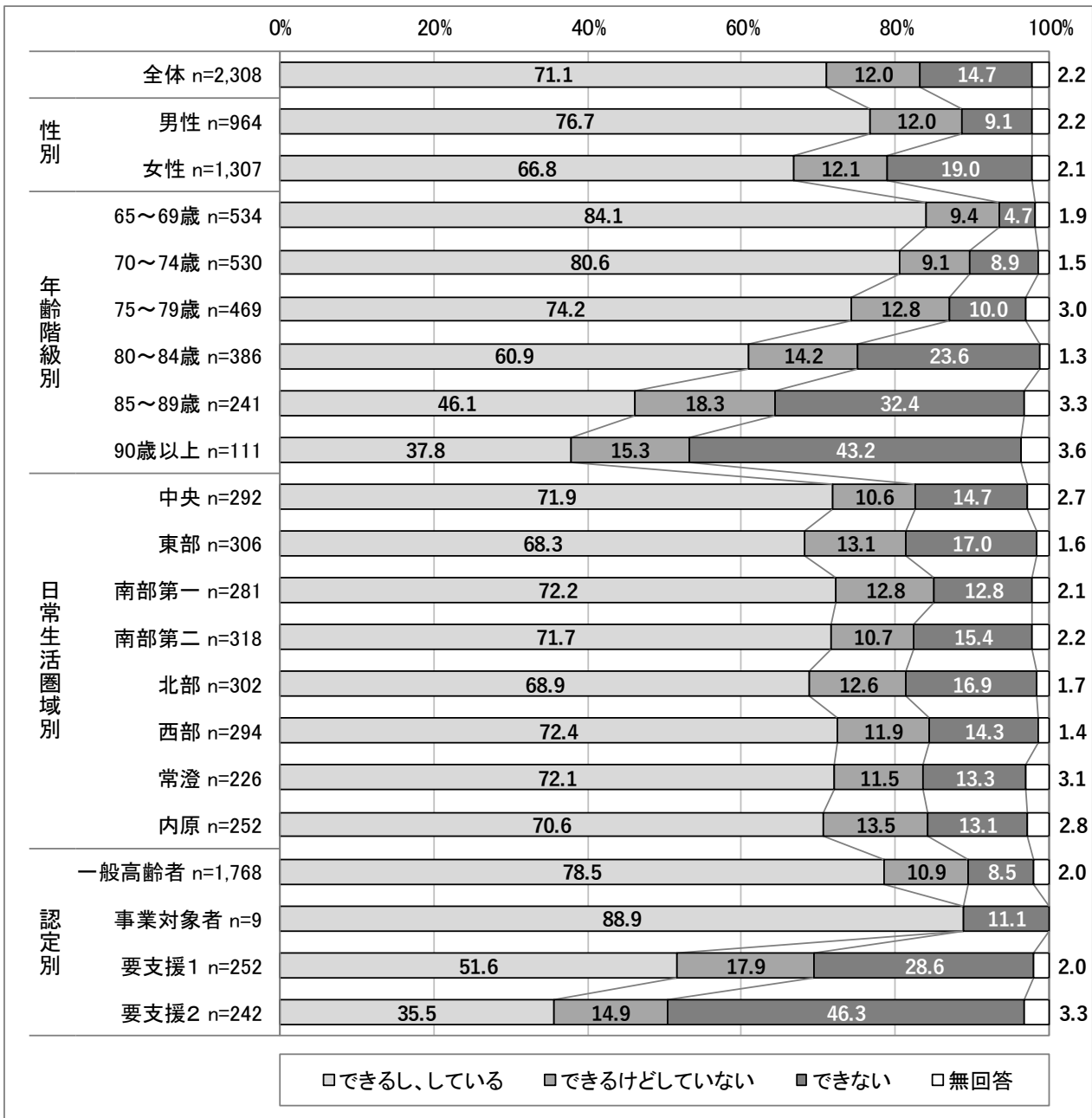
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、全体では「できるし、している」が71.1%で最も高く、次いで「できない」が14.7%、「できるけどしていない」が12.0%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が43.2%で最も高く、次いで85～89歳が32.4%、80～84歳が23.6%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部及び北部で「できない」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



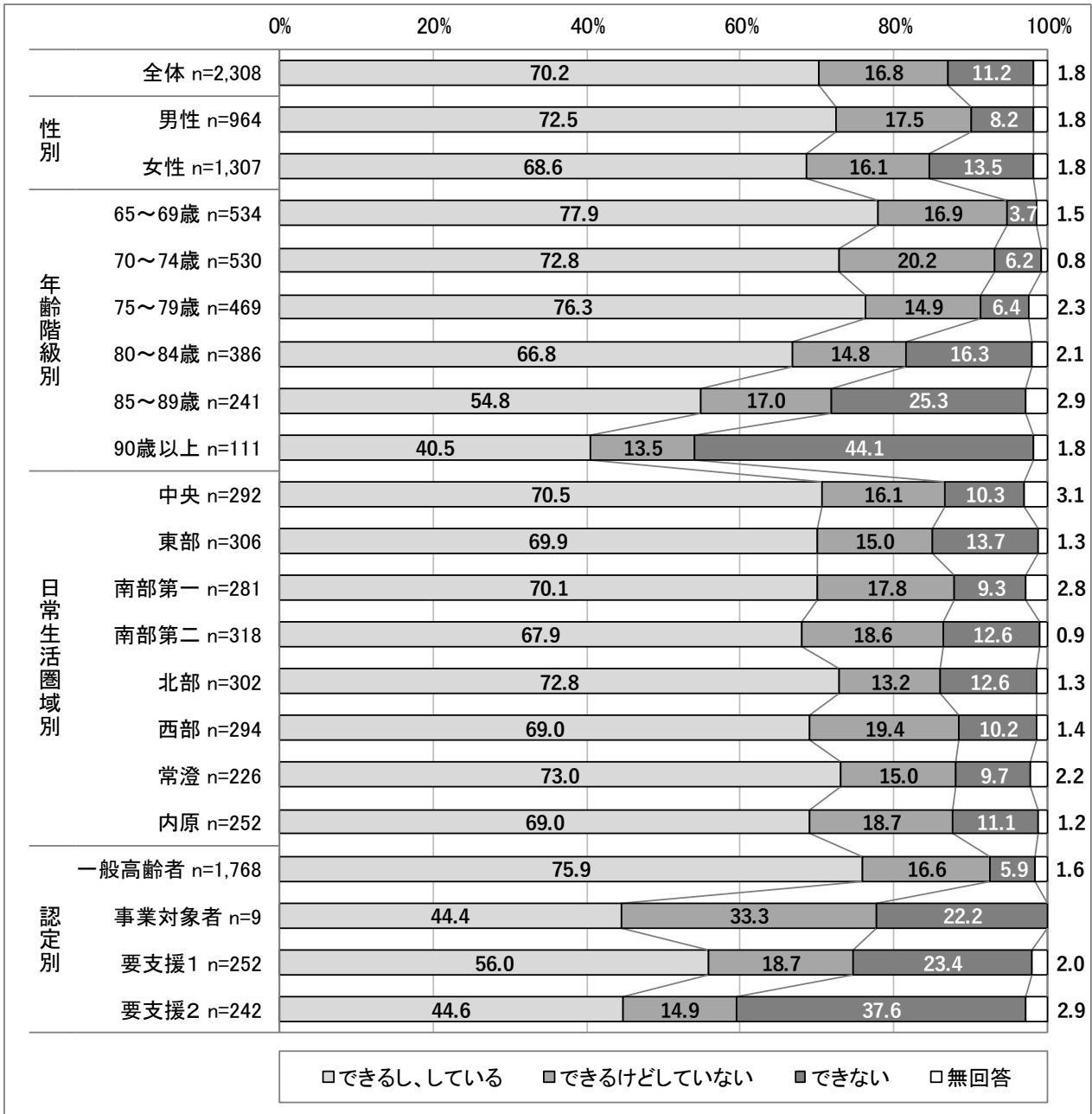
Q3. 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）

15分位続けて歩いているかについては、全体では「できるし、している」が70.2%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.8%、「できない」が11.2%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が44.1%で最も高く、次いで85～89歳が25.3%、80～84歳が16.3%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部で「できない」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



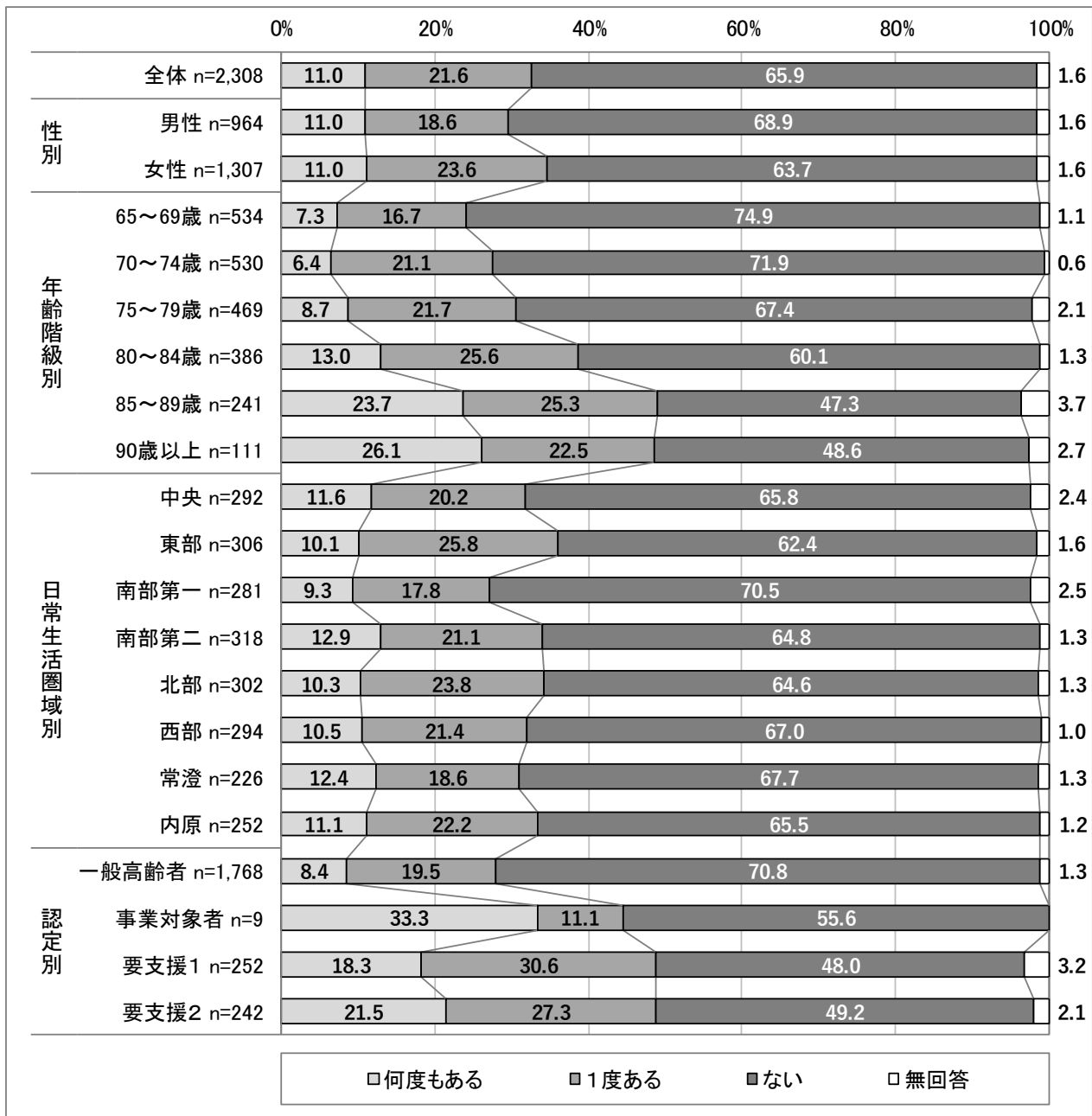
Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）

過去1年間に転んだ経験があるかについては、全体では「ない」が65.9%で最も高く、次いで「1度ある」が21.6%、「何度もある」が11.0%となっています。

性別でみると、「1度ある」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「何度もある」は、90歳以上が26.1%で最も高く、次いで85～89歳が23.7%、75～79歳が13.0%となっています。

日常生活圏域別でみると、南部第二及び常澄で「何度もある」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



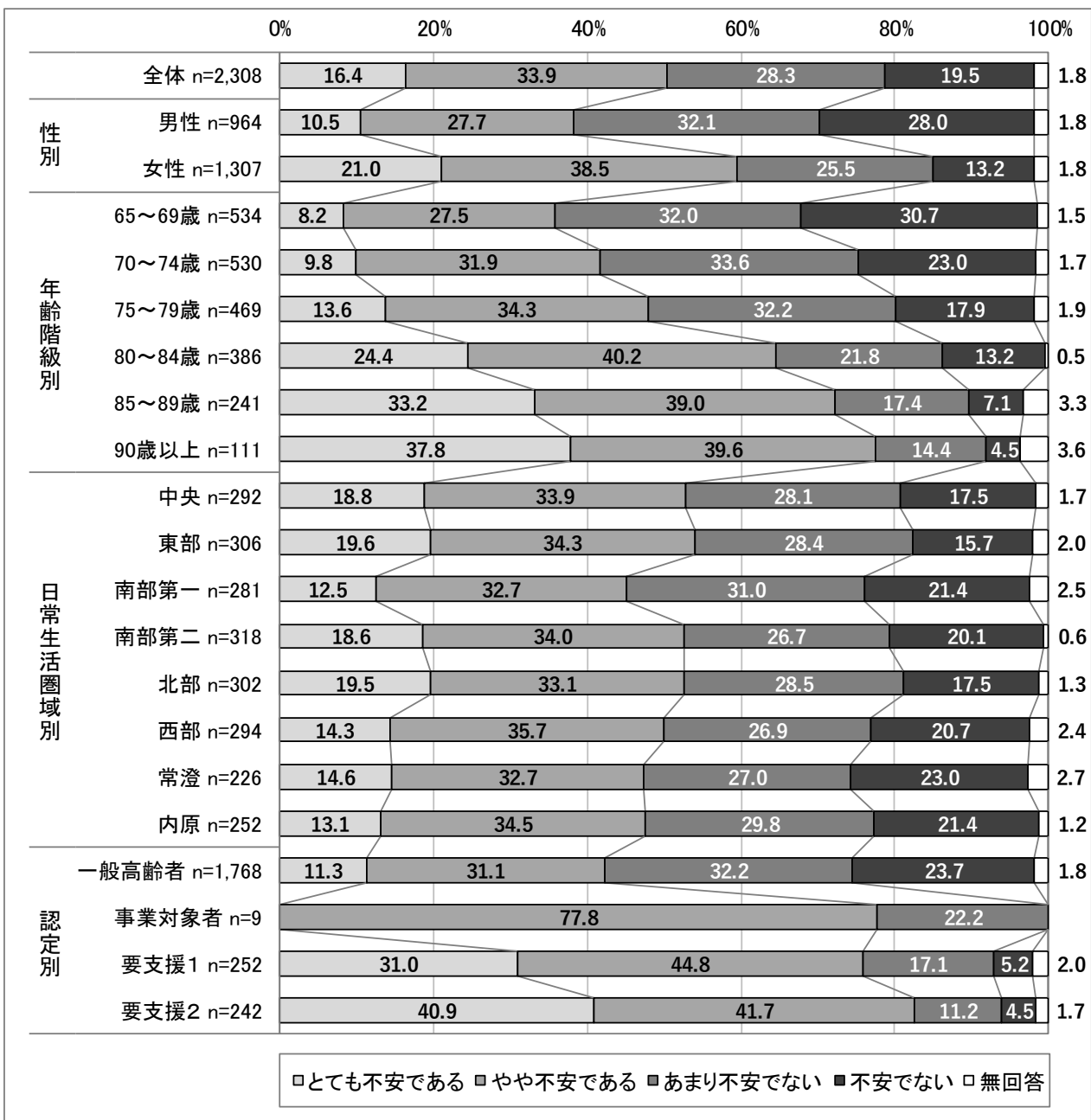
Q5. 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）

転倒に対する不安は大きいかについては、全体では「やや不安である」が 33.9%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が 28.3%、「不安でない」が 19.5%、「とても不安である」が 16.4%となっています。

性別でみると、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』は、男性に比べ女性のほうが大きく上回っています。

年齢階級別でみると、『不安である』は、90歳以上が 77.4%で最も高く、次いで 85～89歳が 72.2%、80～84歳が 64.6%となっています。

日常生活圏域別でみると、中央、東部、南部第二、北部で『不安である』の割合が5割を超えています。



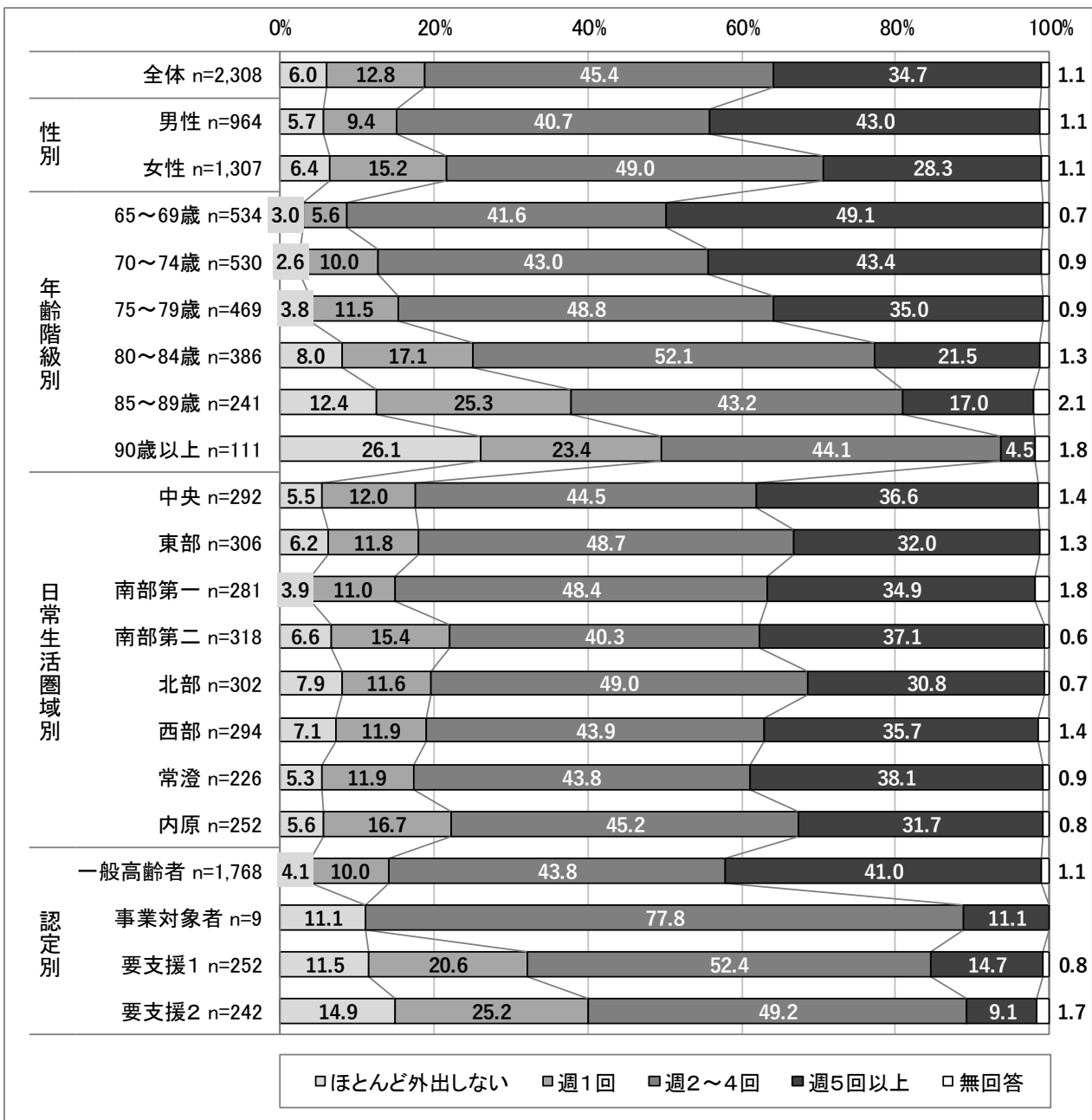
Q6. 週に1回以上は外出していますか（1つのみ）

1週間の外出頻度については、全体では「週2～4回」が45.4%で最も高く、次いで「週5回以上」が34.7%、「週1回」が12.8%、「ほとんど外出しない」が6.0%となっています。

性別でみると、「ほとんど外出しない」「週1回」の合計値は、男性が15.1%、女性が21.6%で、女性が6.5ポイント上回っています。

年齢階級別でみると、「ほとんど外出しない」は、90歳以上が26.1%で最も高く、次いで85～89歳が12.4%、80～84歳が8.0%となっています。

日常生活圏域別でみると、北部及び西部で「ほとんど外出しない」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



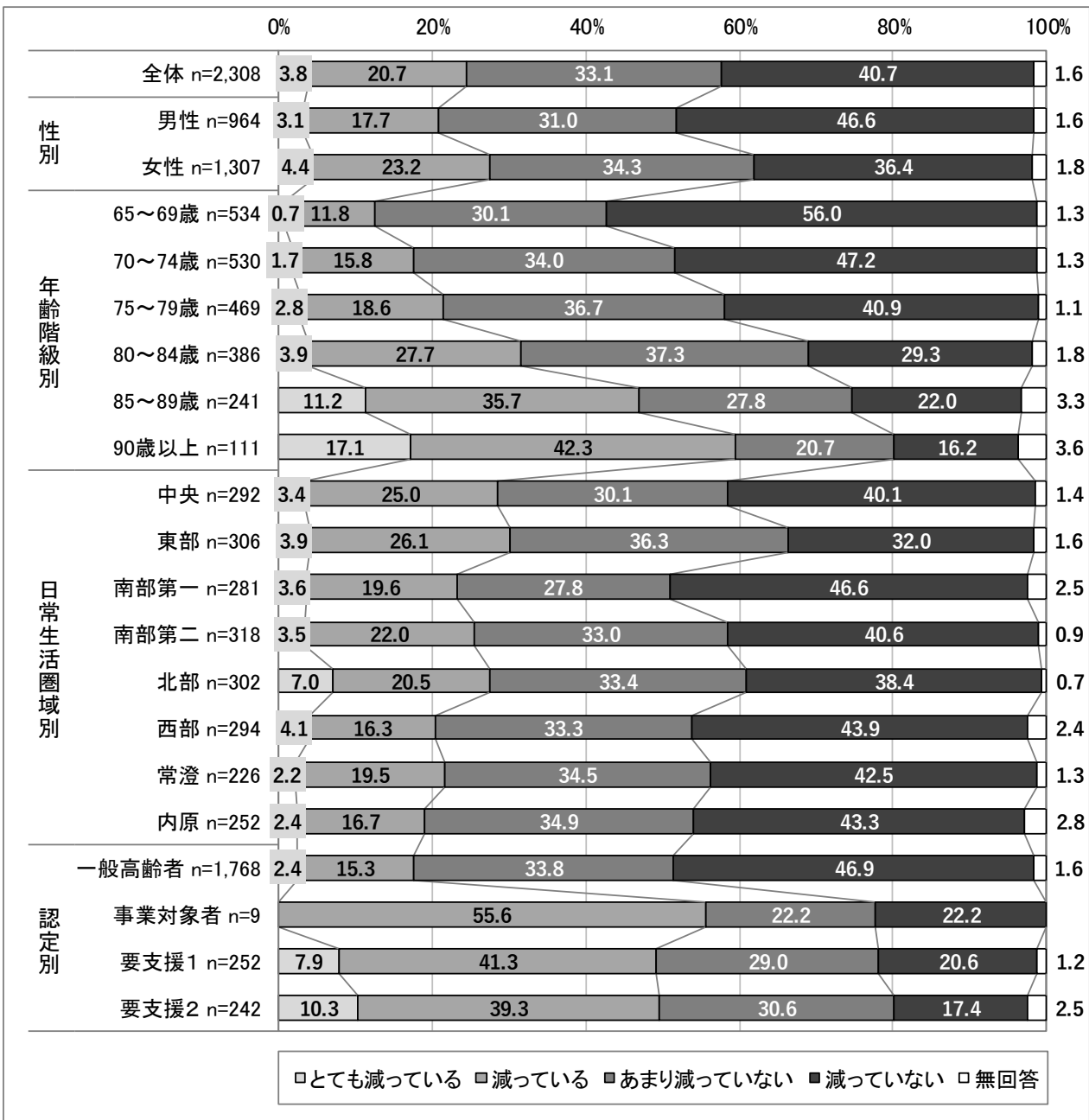
Q7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つのみ）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、全体では「減っていない」が40.7%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が33.1%、「減っている」が20.7%、「とても減っている」が3.8%となっています。

性別でみると、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『減っている』は、90歳以上が59.4%で最も高く、次いで85～89歳が46.9%、80～84歳が31.6%となっています。

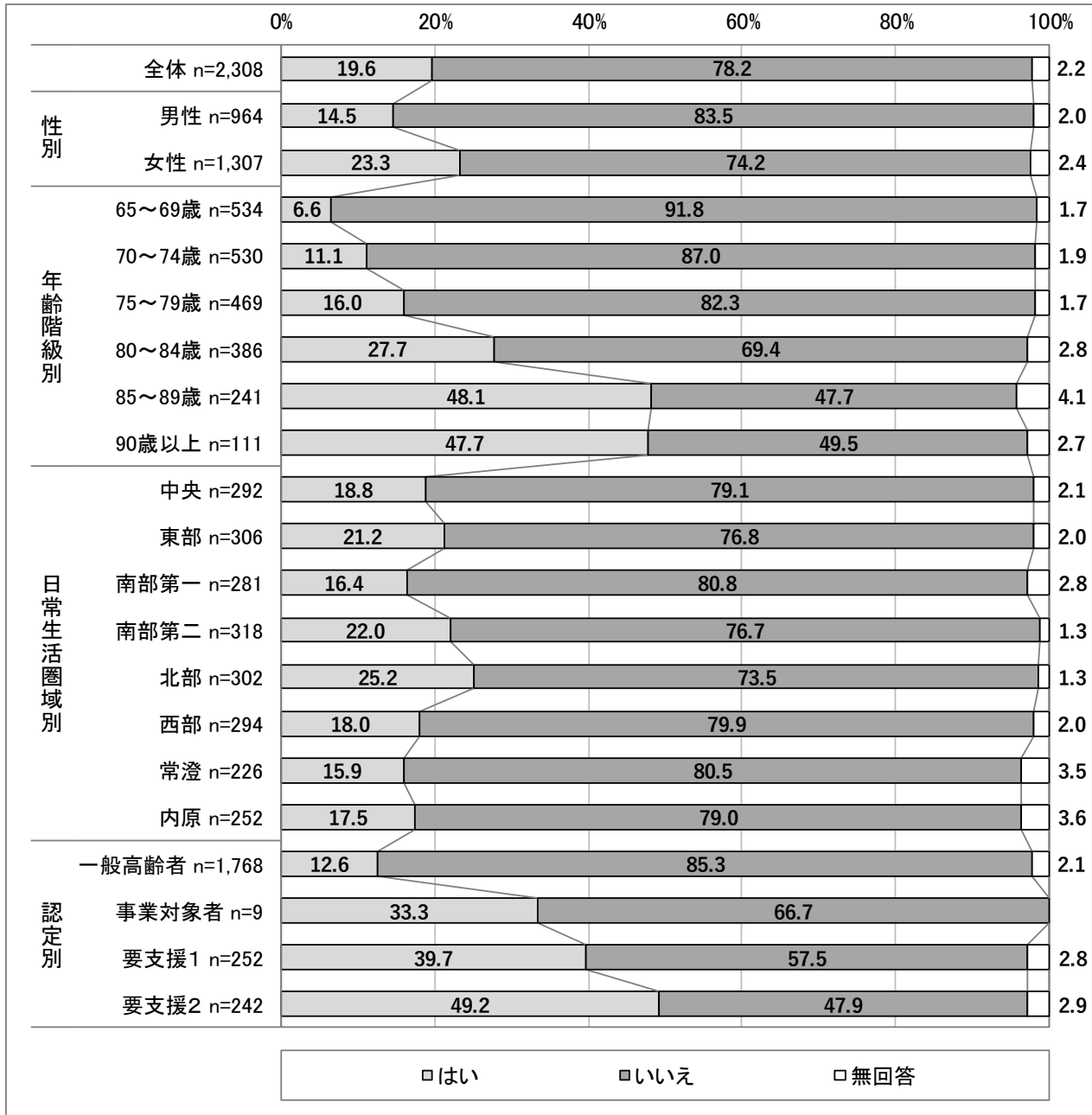
日常生活圏域別でみると、中央、東部、北部で『減っている』の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



Q8. 外出を控えていますか（1つのみ）

外出を控えているかについては、全体では「はい」が19.6%、「いいえ」が78.2%となっています。
性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が48.1%で最も高く、次いで90歳以上が47.7%、80～84歳が27.7%となっています。

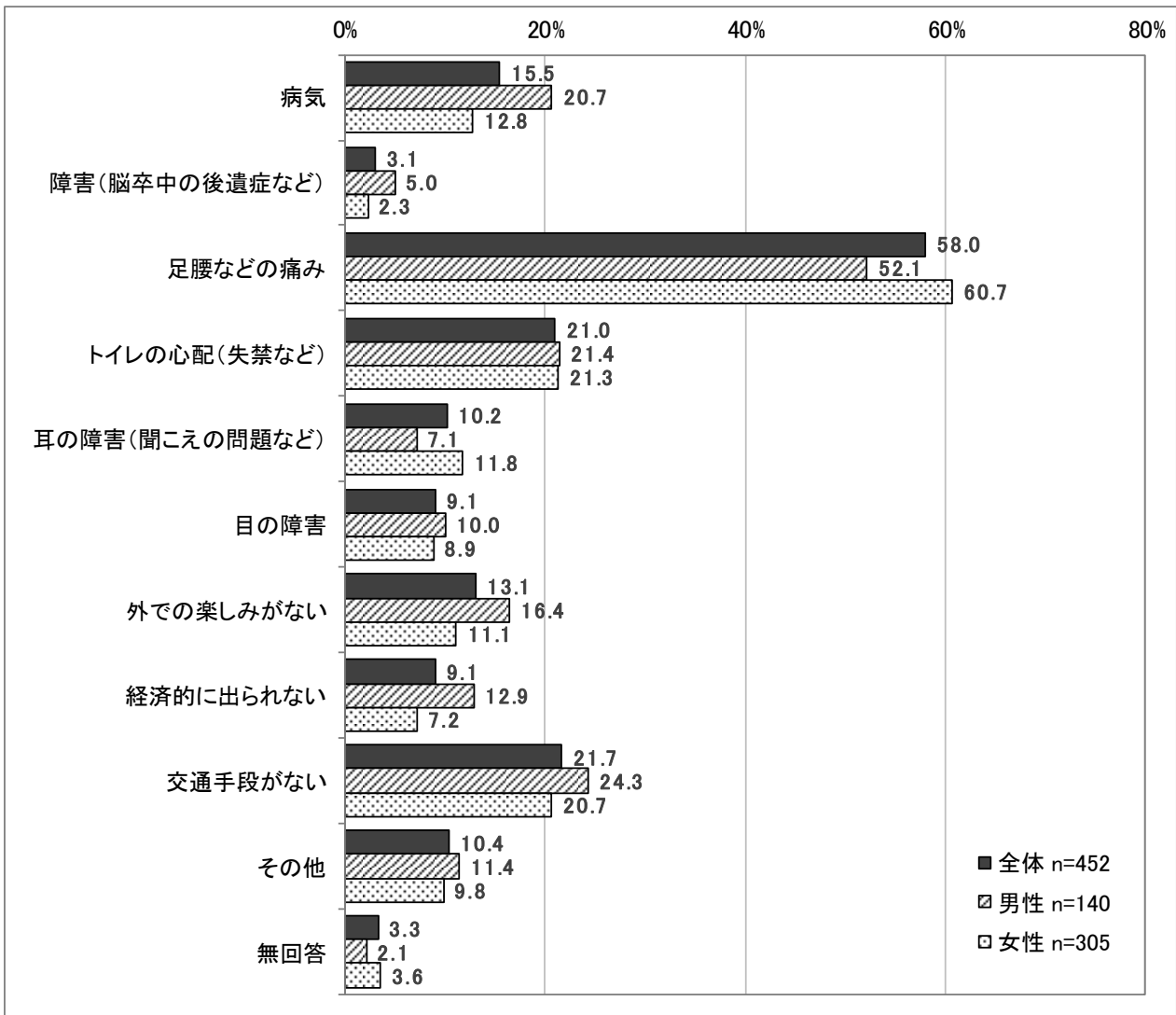


【Q8で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

①. 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

外出を控えている理由については、全体では「足腰などの痛み」が 58.0%で最も高く、次いで「交通手段がない」が 21.7%、「トイレの心配 (失禁など)」が 21.0%となっています。

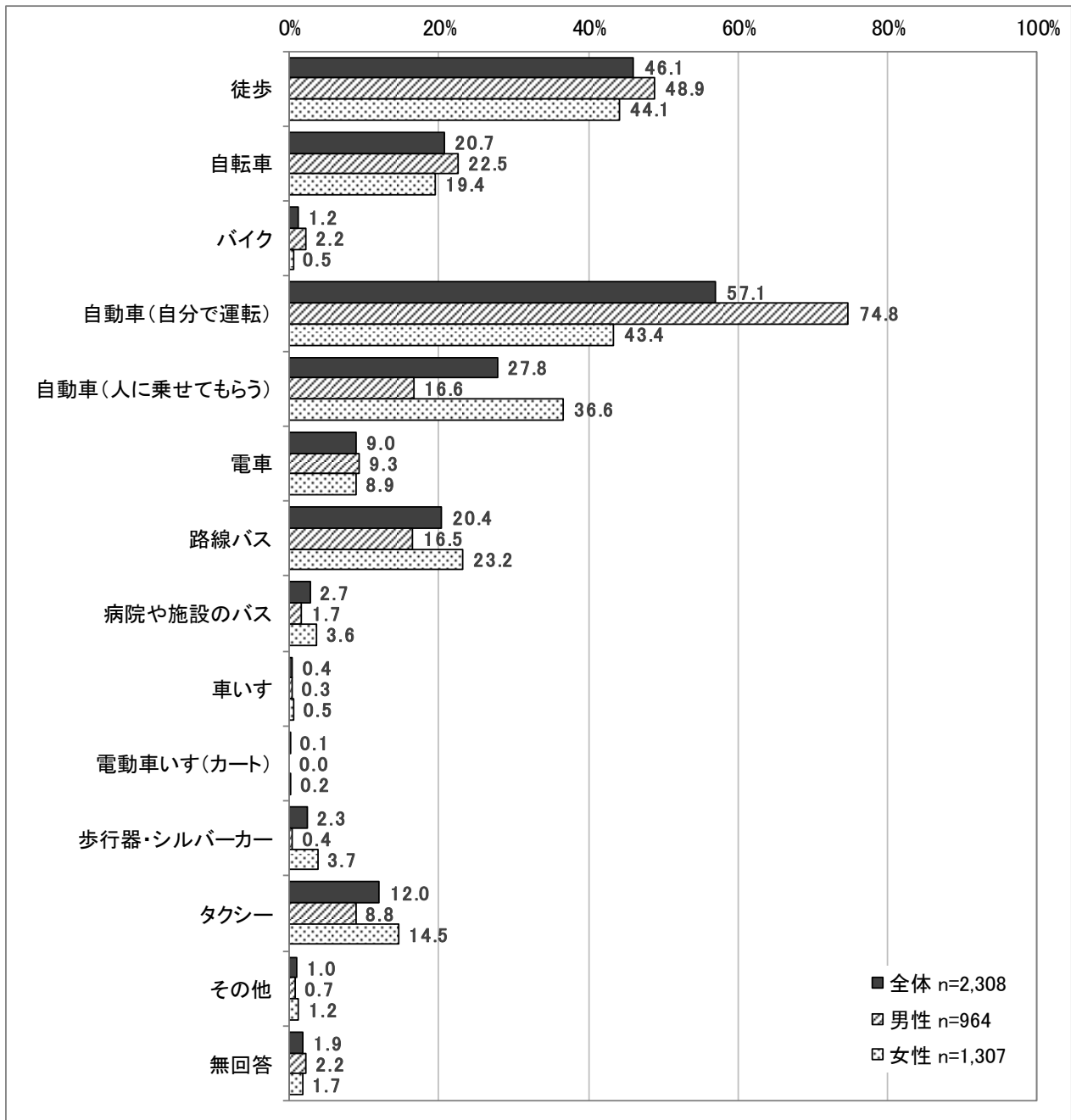
性別でみると、男性では、「足腰などの痛み」が 52.1%で最も高く、次いで「交通手段がない」が 24.3%、「トイレの心配 (失禁など)」が 21.4%となっています。女性では、「足腰などの痛み」が 60.7%で最も高く、次いで「トイレの心配 (失禁など)」が 21.3%、「交通手段がない」が 20.7%となっています。



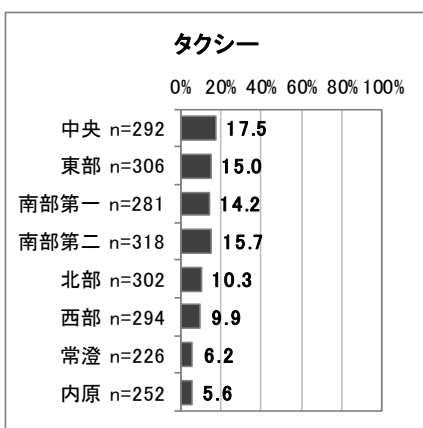
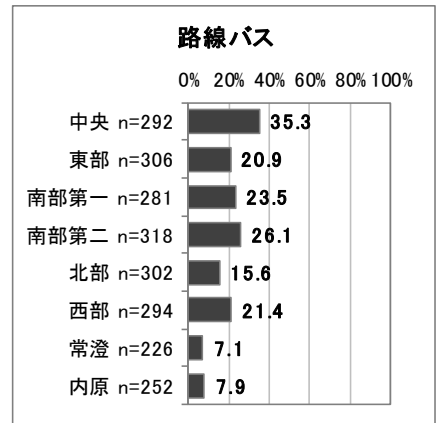
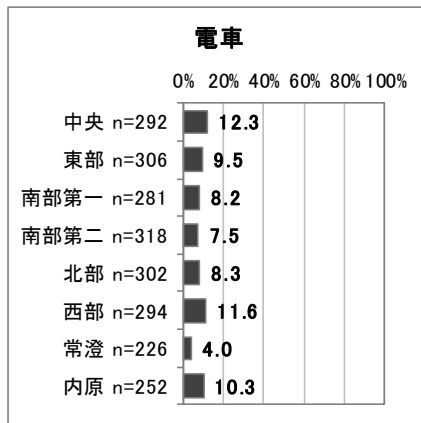
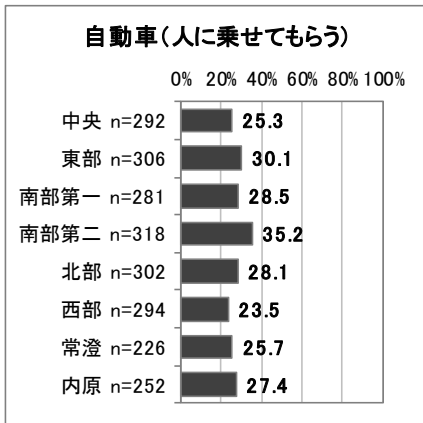
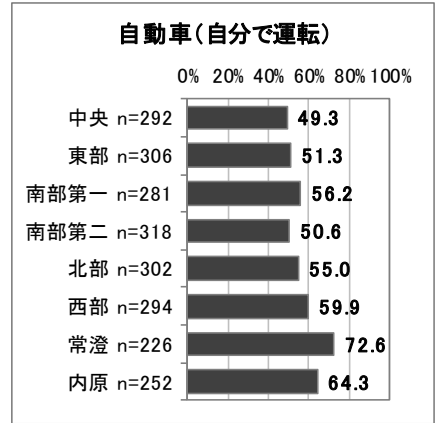
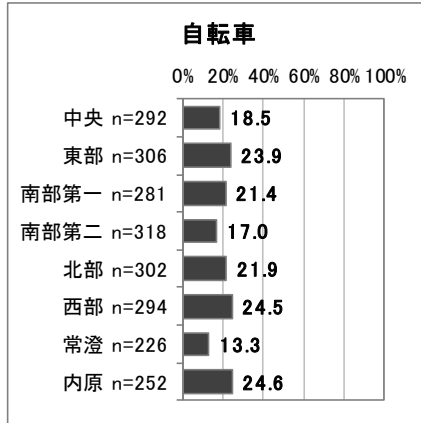
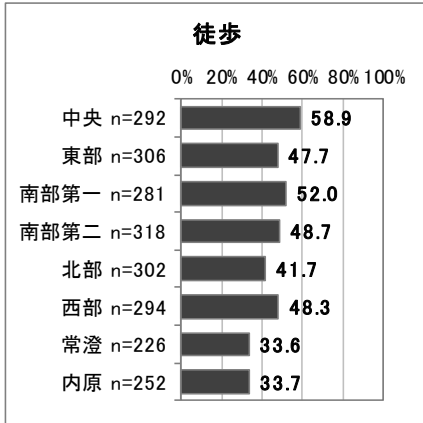
Q9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

外出する際の移動手段については、全体では「自動車 (自分で運転)」が 57.1% で最も高く、次いで「徒歩」が 46.1%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が 27.8% となっています。

性別で見ると、男性では、「自動車 (自分で運転)」が 74.8% で最も高く、次いで「徒歩」が 48.9%、「自転車」が 22.5% となっています。女性では、「徒歩」が 44.1% で最も高く、次いで「自動車 (自分で運転)」が 43.4%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が 36.6% となっています。



外出する際の“主要”な移動手段を日常生活圏域別でみると、「徒歩」は、中央が58.9%で最も高く、次いで南部第一が52.0%となっています。「自動車（自分で運転）」では、常澄が72.6%で最も高く、次いで内原が64.3%となっています。「自動車（人に乗せてもらう）」では、南部第二が35.2%で最も高く、次いで東部が30.1%となっています。「路線バス」では、中央が35.3%で最も高く、次いで南部第二が26.1%となっています。

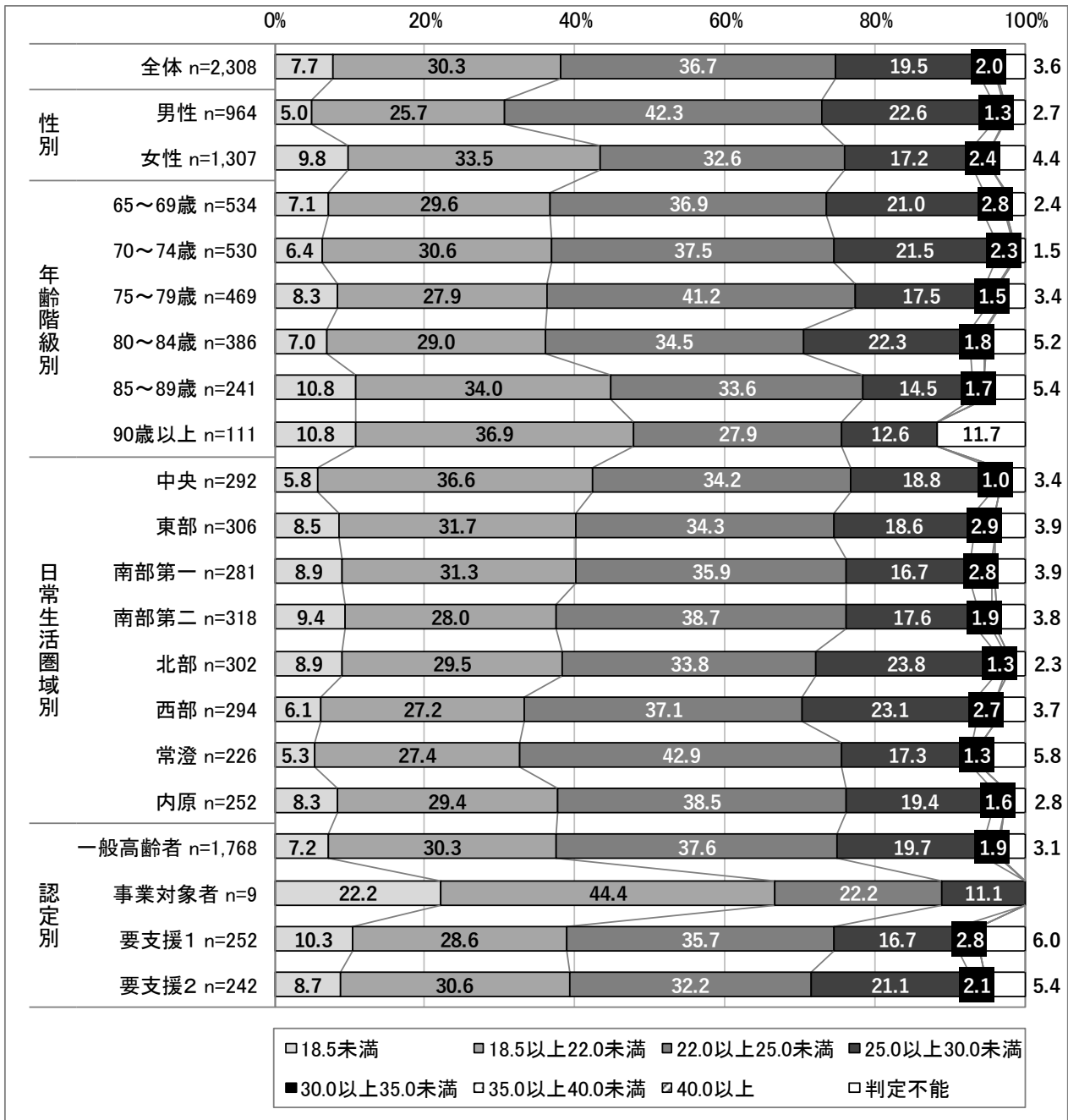


3. 食べることについて

Q1. 身長・体重

身長・体重から算出されるBMIについてみると、全体では「22.0以上25.0未満」が36.7%で最も高く、次いで「18.5以上22.0未満」が30.3%、「25.0以上30.0未満」が19.5%となっています。

年齢階級別でみると、「25.0以上30.0未満」は、80～84歳が22.3%で最も高く、次いで70～74歳が21.5%、65～69歳が21.0%となっています。



※BMI = 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))

18.5未満	18.5以上25.0未満	25.0以上30.0未満	30.0以上35.0未満	35.0以上40.0未満	40.0以上
低体重	普通体重	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度

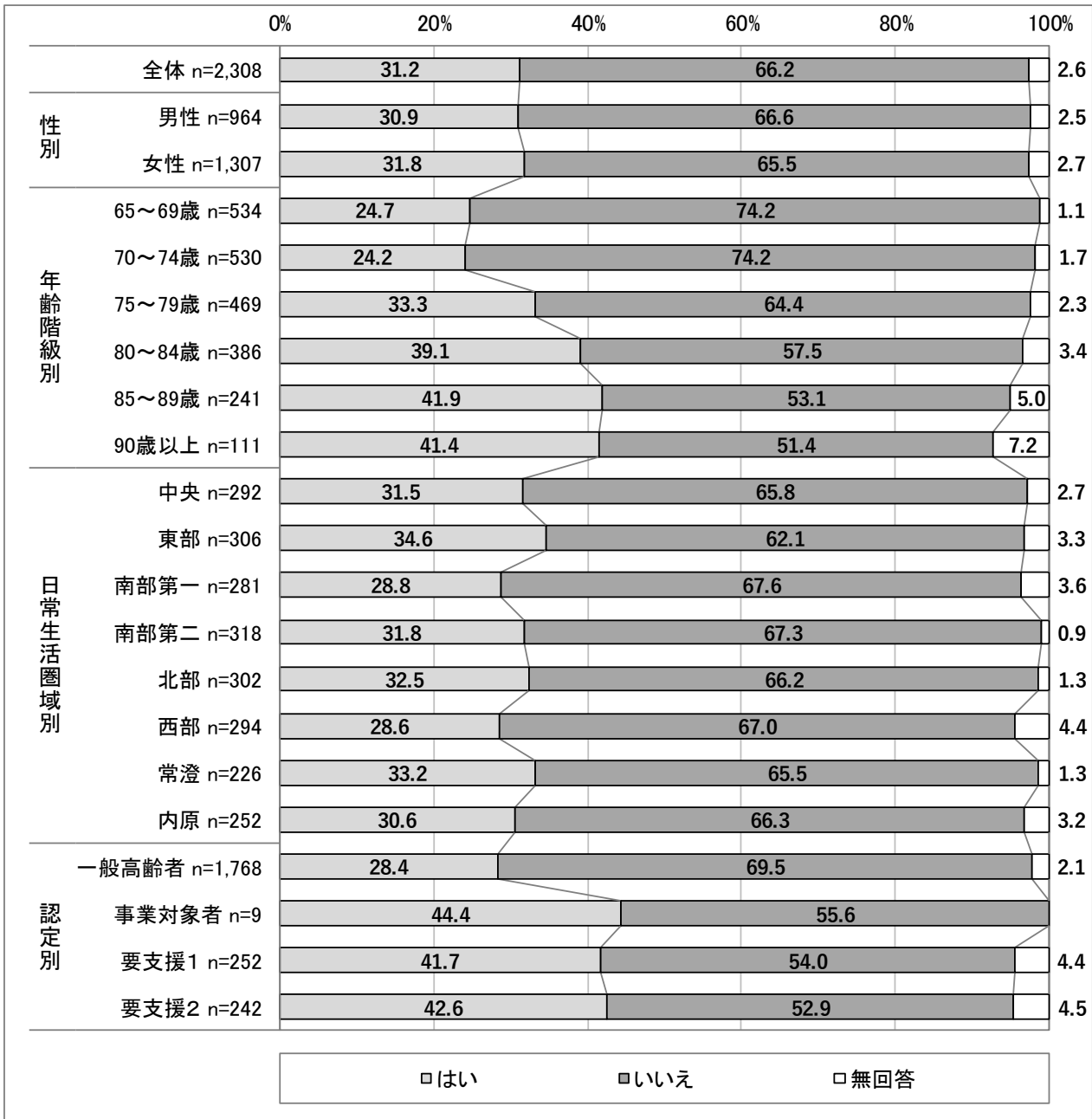
判定：日本肥満学会より

Q2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つのみ）

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、全体では「はい」が 31.2%、「いいえ」が 66.2%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が 41.9%で最も高く、次いで90歳以上が 41.4%、80～84歳が 39.1%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

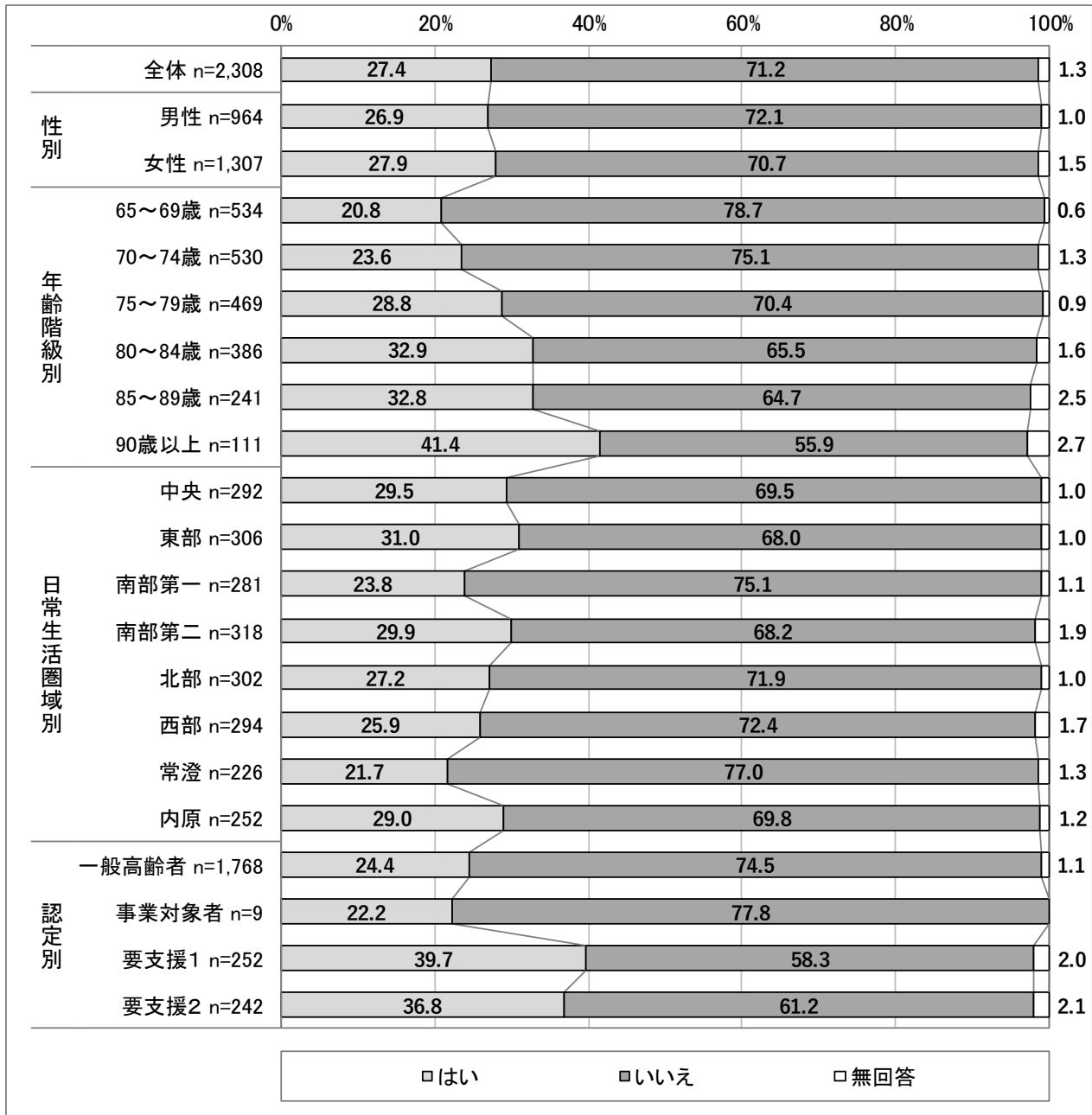


Q3. お茶や汁物等でむせることがありますか（1つのみ）

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、全体では「はい」が27.4%、「いいえ」が71.2%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が41.4%で最も高く、次いで80～84歳が32.9%、85～89歳が32.8%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

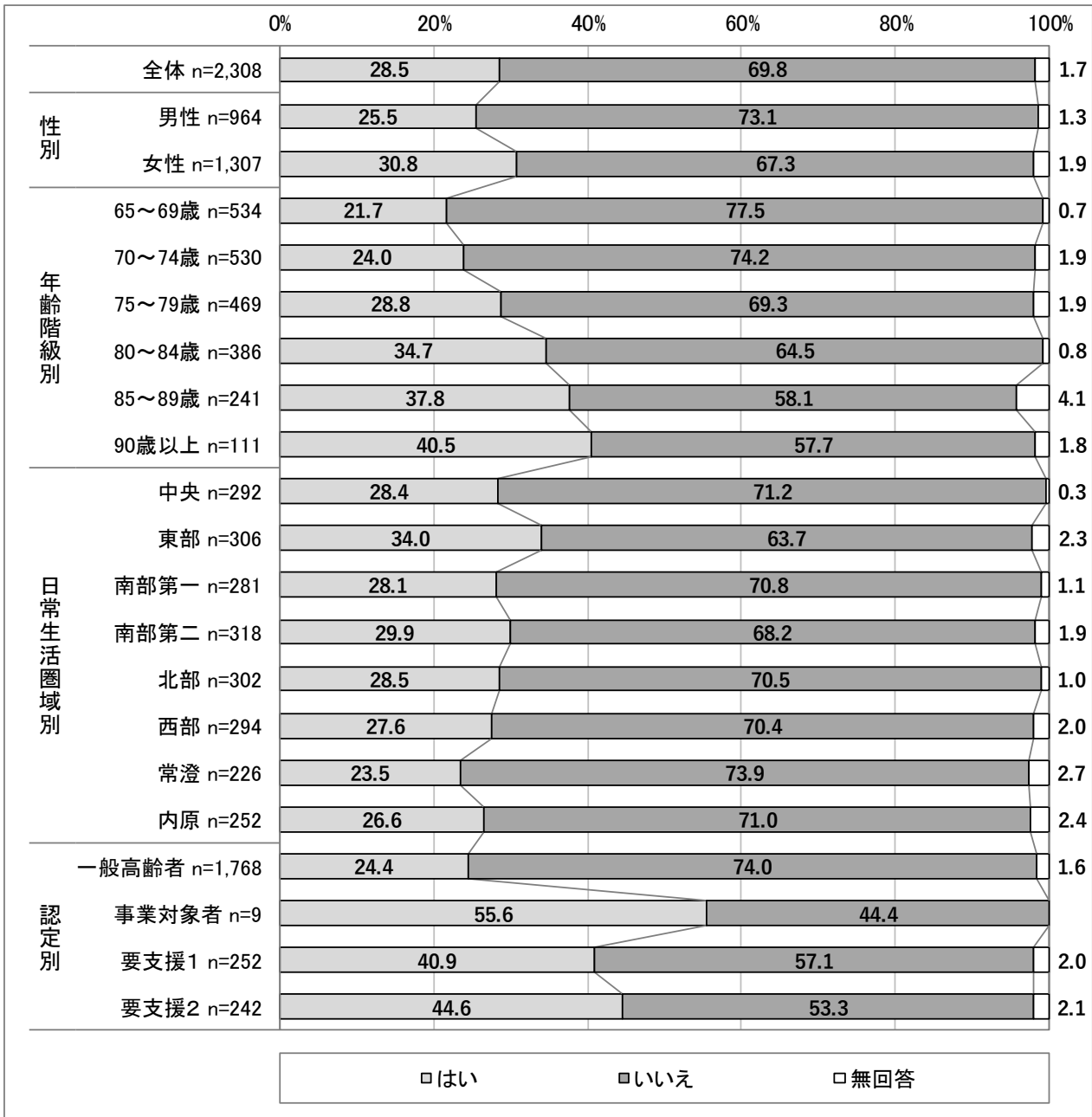


Q4. 口の渇きが気になりますか（1つのみ）

口の渇きが気になるかについては、全体では「はい」が 28.5%、「いいえ」が 69.8%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が 40.5%で最も高く、次いで 85～89歳が 37.8%、80～84歳が 34.7%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



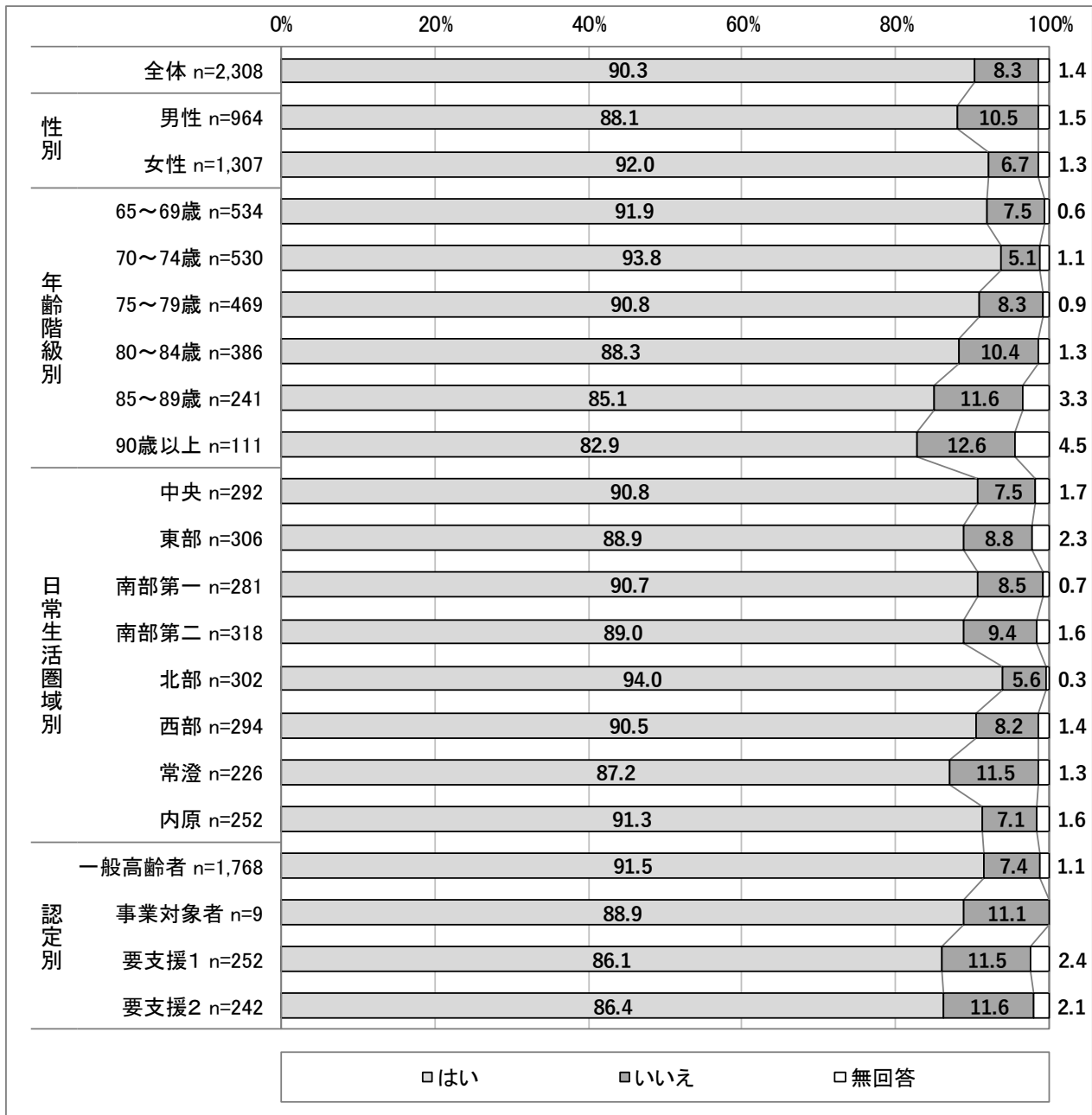
Q5. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つのみ）

歯磨きを毎日しているかについては、全体では「はい」が90.3%、「いいえ」が8.3%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が12.6%で最も高く、次いで85～89歳が11.6%、80～84歳が10.4%となっています。

日常生活圏域別でみると、常澄で「いいえ」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

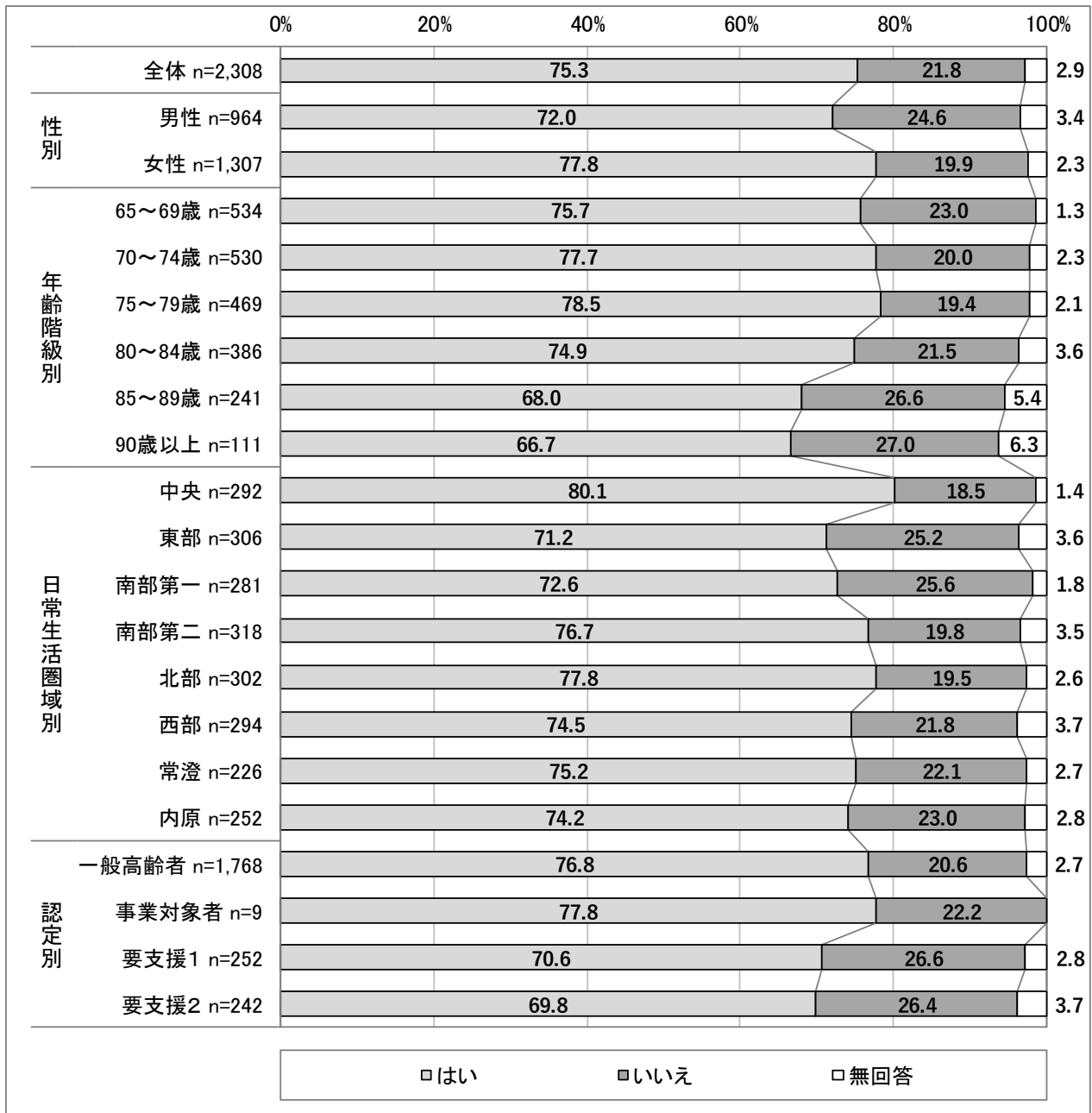


Q6. 噛み合わせは良いですか（1つのみ）

噛み合わせは良いかについては、全体では「はい」が75.3%、「いいえ」が21.8%となっています。
性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が27.0%で最も高く、次いで85～89歳が26.6%、65～69歳が23.0%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部及び南部第一で「いいえ」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

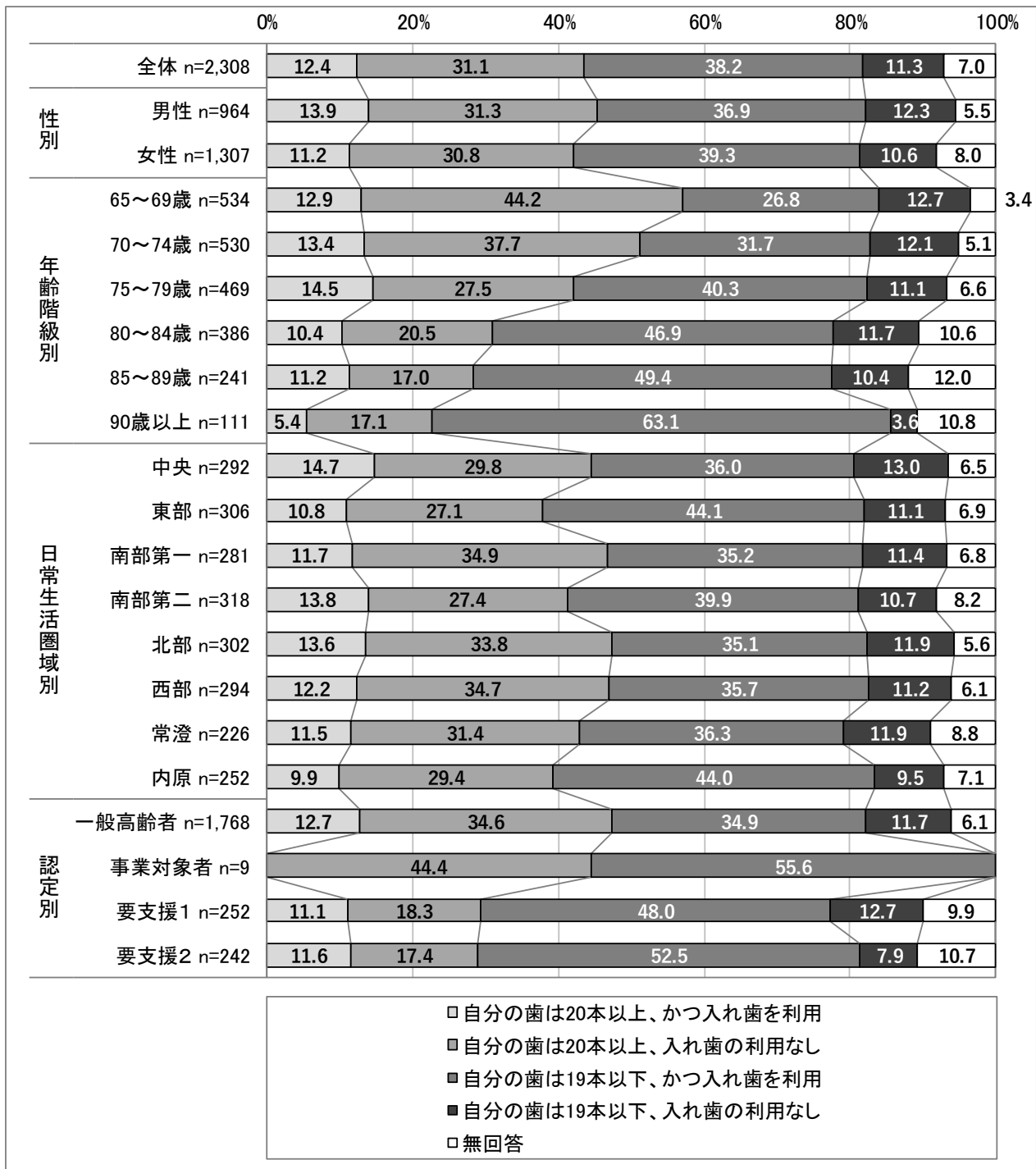


Q7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つのみ)

歯の数と入れ歯の利用状況については、全体では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.2%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が12.4%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.3%となっています。

年齢階級別でみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は、90歳以上が63.1%で最も高く、次いで85～89歳が49.4%、80～84歳が46.9%となっています。

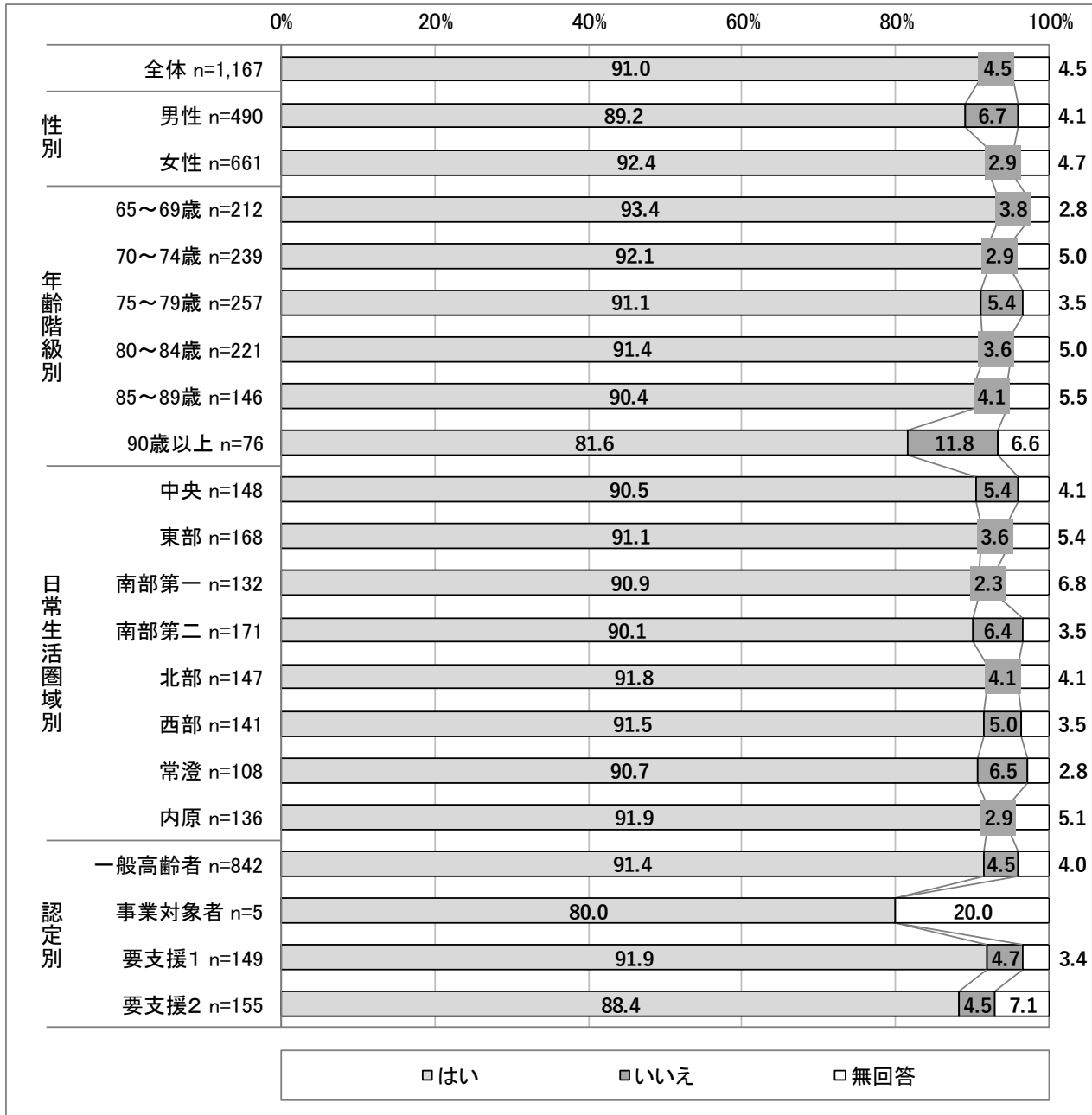
日常生活圏域別でみると、東部及び内原で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



【Q7で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

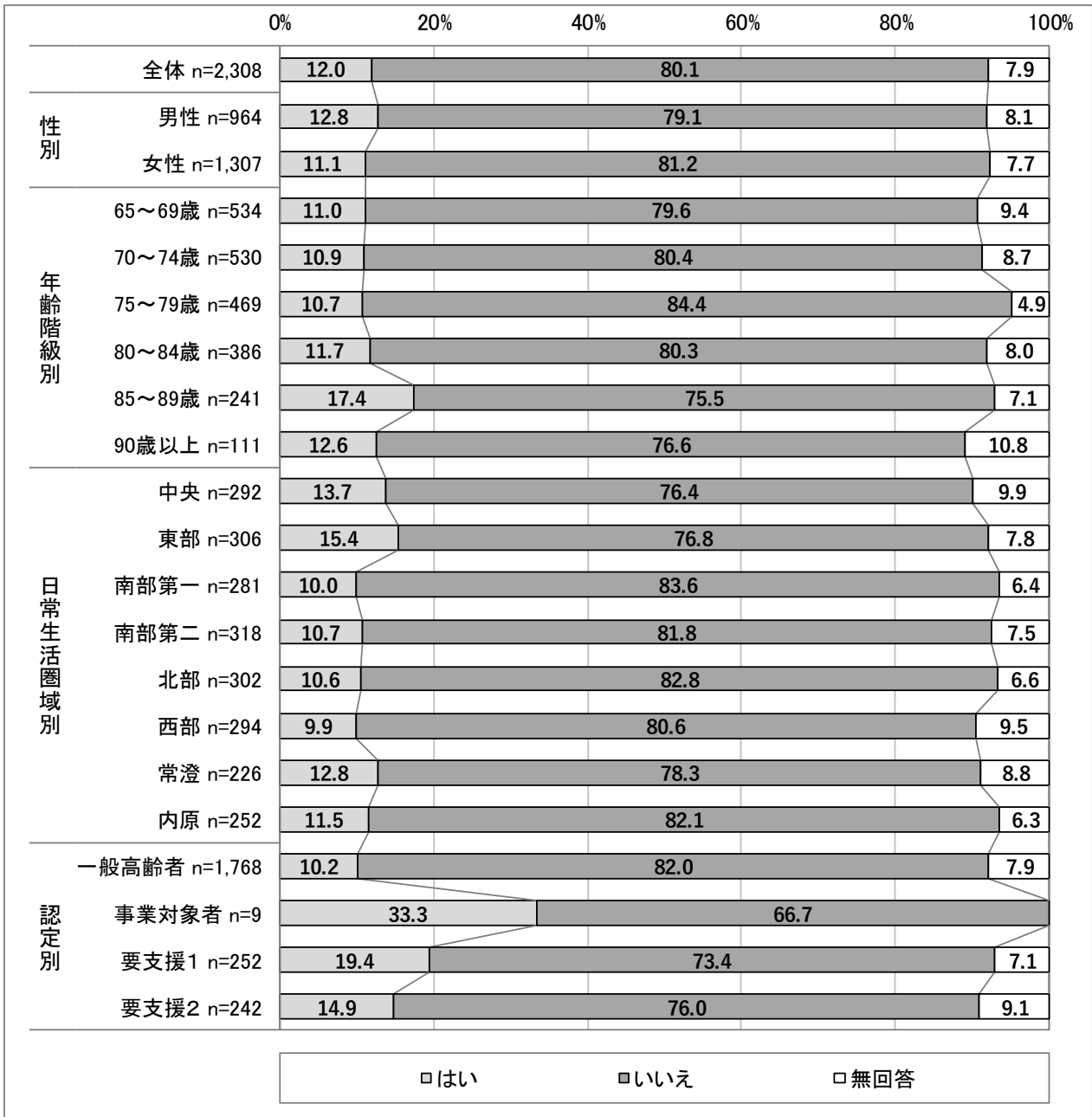
①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つのみ）

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、全体では「はい」が91.0%、「いいえ」が4.5%となっています。



Q8. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つのみ）

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、全体では「はい」が12.0%、「いいえ」が80.1%となっています。

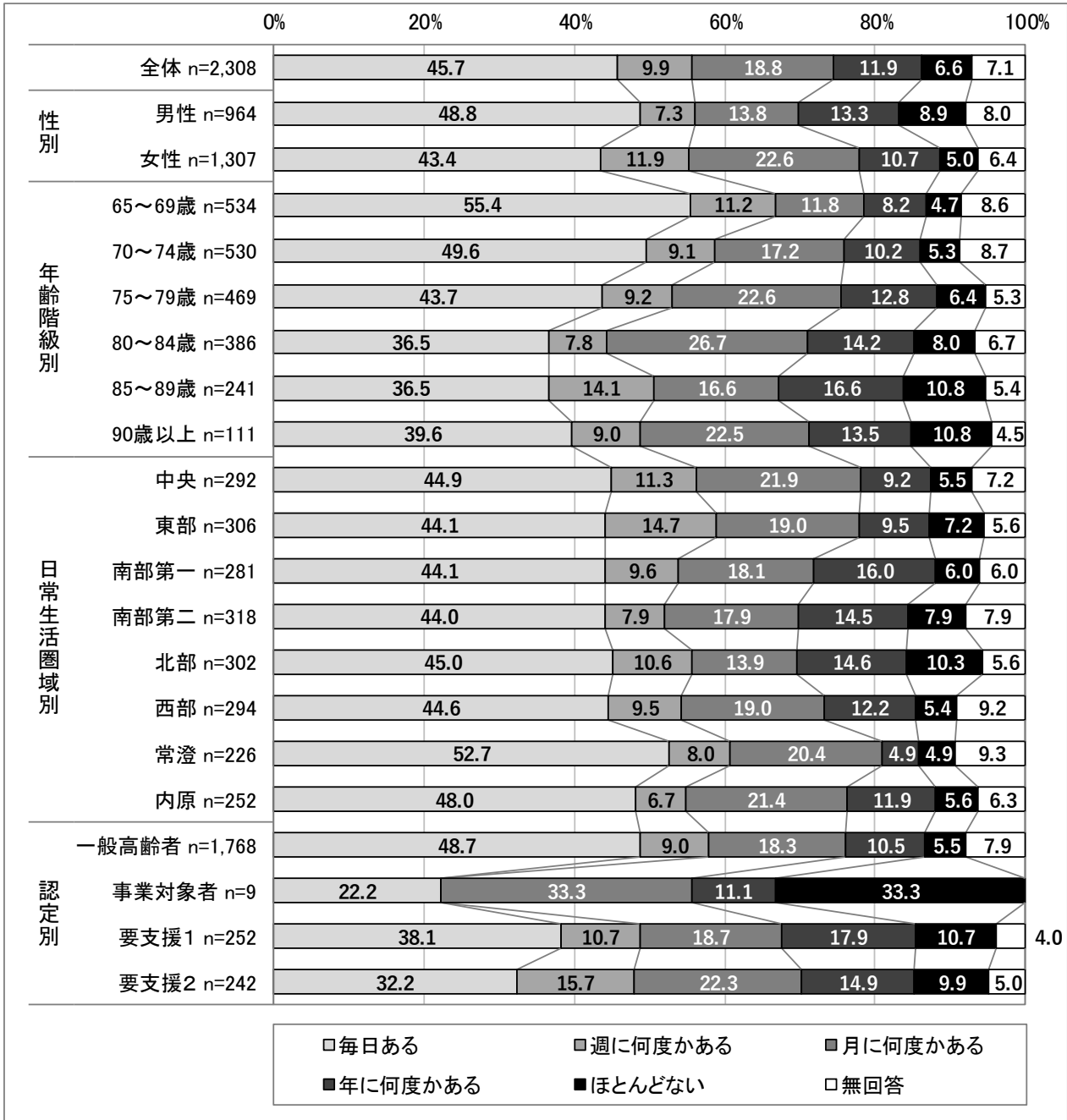


Q9. どなたかと食事をとにもする機会がありますか（1つのみ）

誰かと食事をとにもする機会については、全体では「毎日ある」が45.7%で最も高く、次いで「月に何度かある」が18.8%、「年に何度かある」が11.9%となっています。

年齢階級別でみると、「年に何度かある」と「ほとんどない」を合わせた『あまりない』は、85～89歳が27.4%で最も高く、次いで90歳以上が24.3%、80～84歳が22.2%となっています。

日常生活圏域別でみると、南部第二及び北部で『あまりない』の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



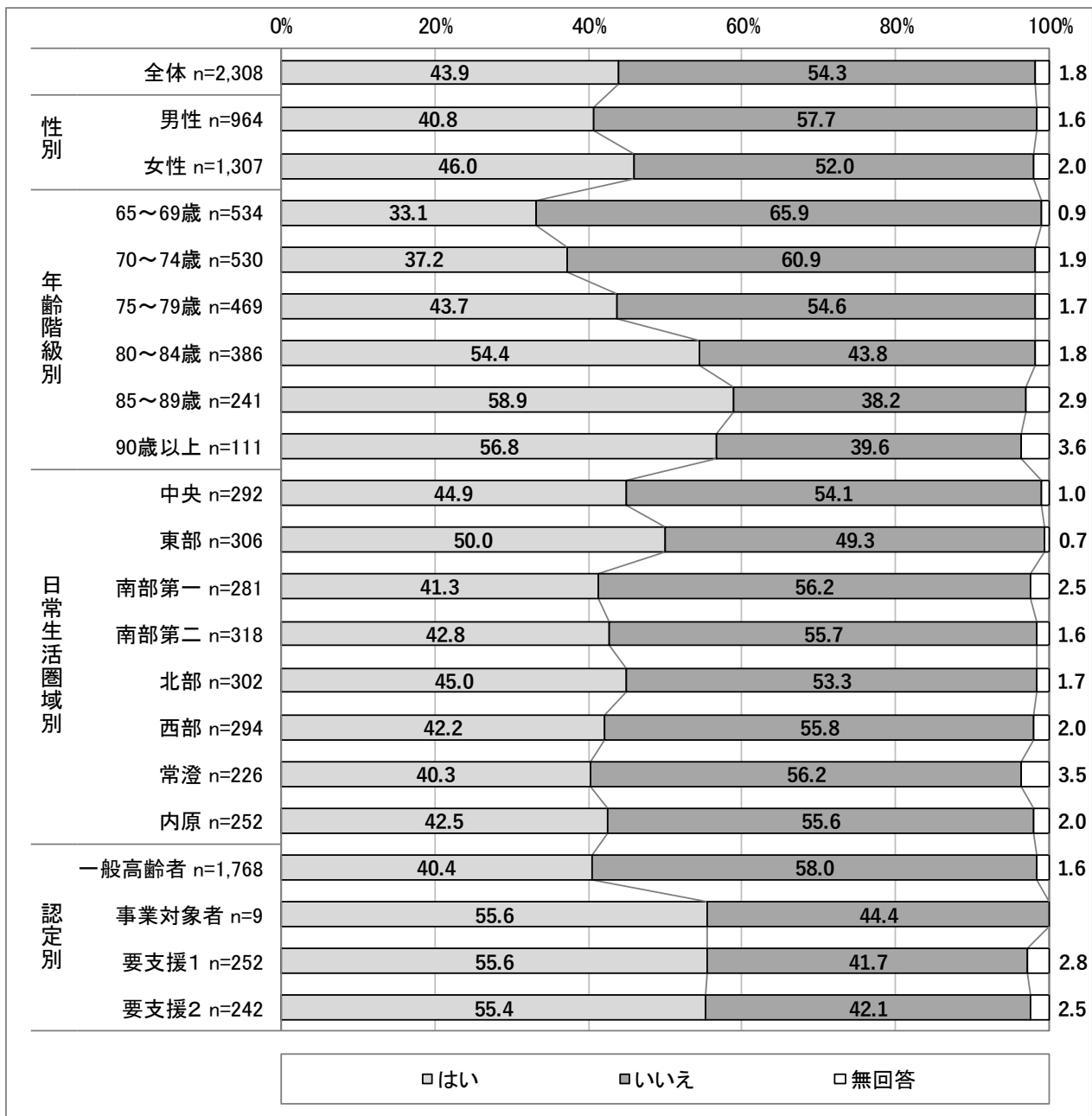
4. 毎日の生活について

Q1. 物忘れが多いと感じますか（1つのみ）

物忘れが多いと感じるかについては、全体では「はい」が43.9%、「いいえ」が54.3%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が58.9%で最も高く、次いで90歳以上が56.8%、80～84歳が54.4%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

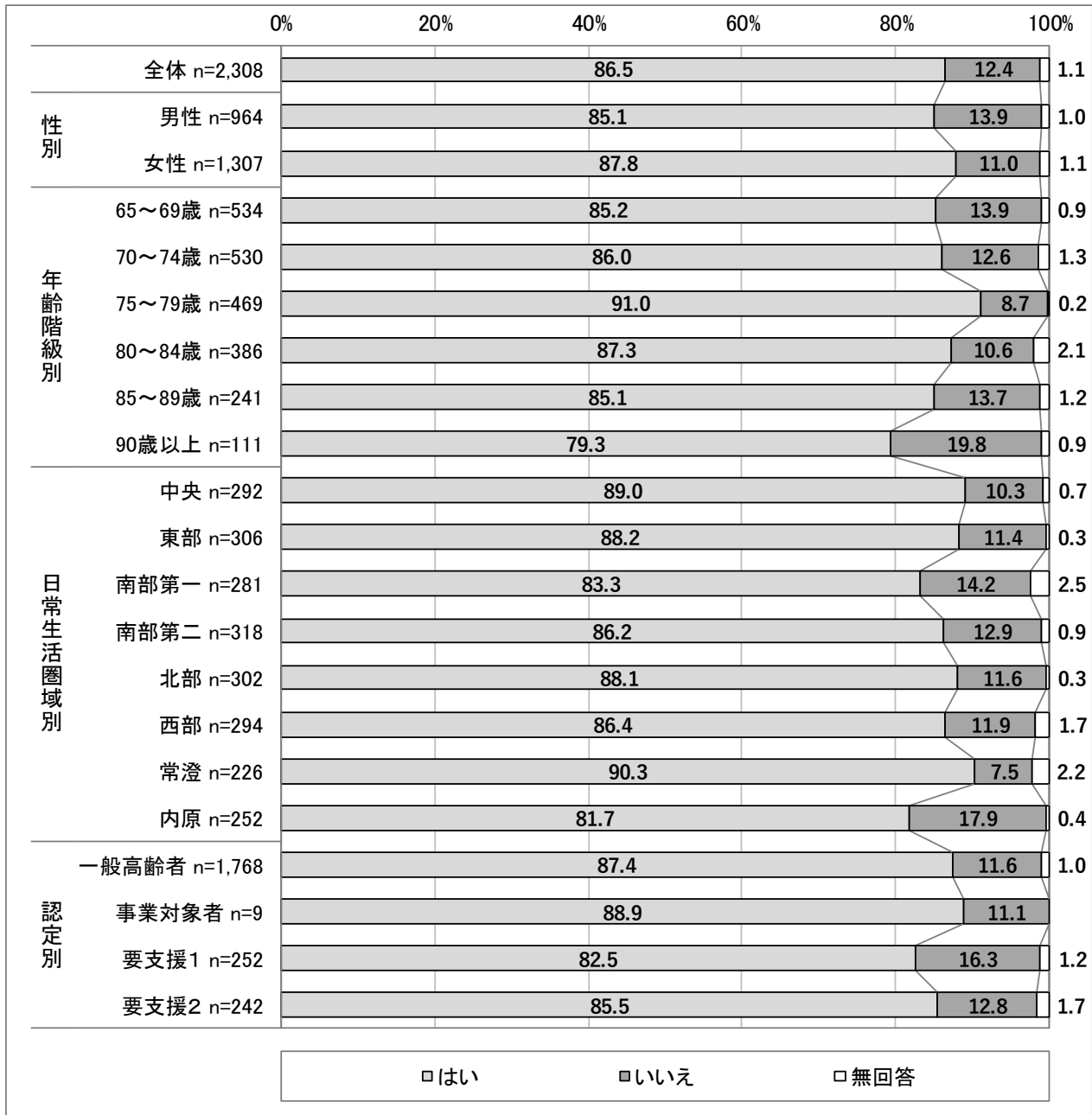


Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つのみ）

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、全体では「はい」が86.5%、「いいえ」が12.4%となっています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が19.8%で最も高く、次いで65～69歳が13.9%、85～89歳が13.7%となっています。

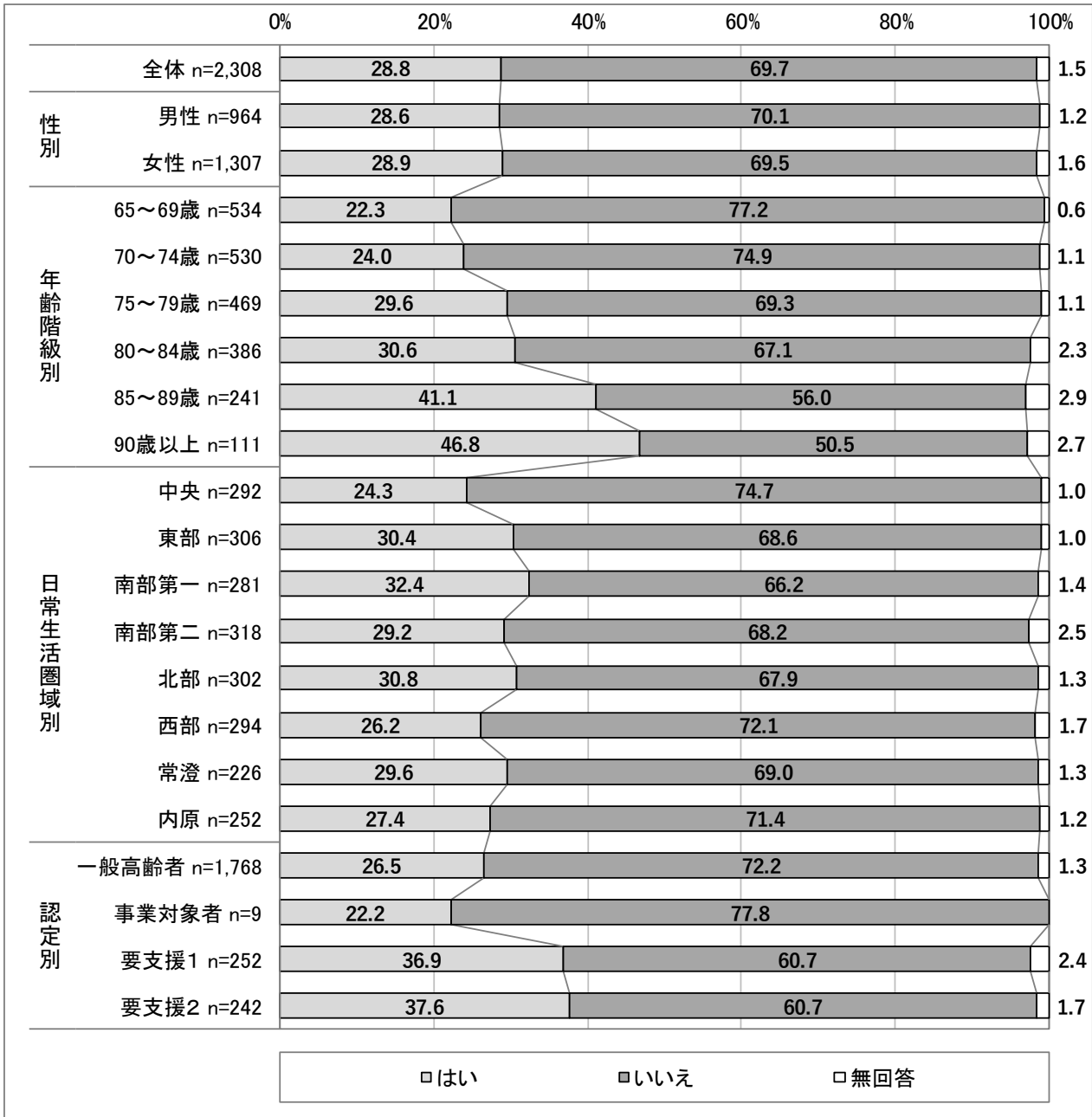
日常生活圏域別でみると、内原で「いいえ」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



Q3. 今日が何月何日かわからないときがありますか（1つのみ）

今日が何月何日かわからないときがあるかについては、全体では「はい」が 28.8%、「いいえ」が 69.7%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が 46.8%で最も高く、次いで 85～89歳が 41.1%、80～84歳が 30.6%となっています。

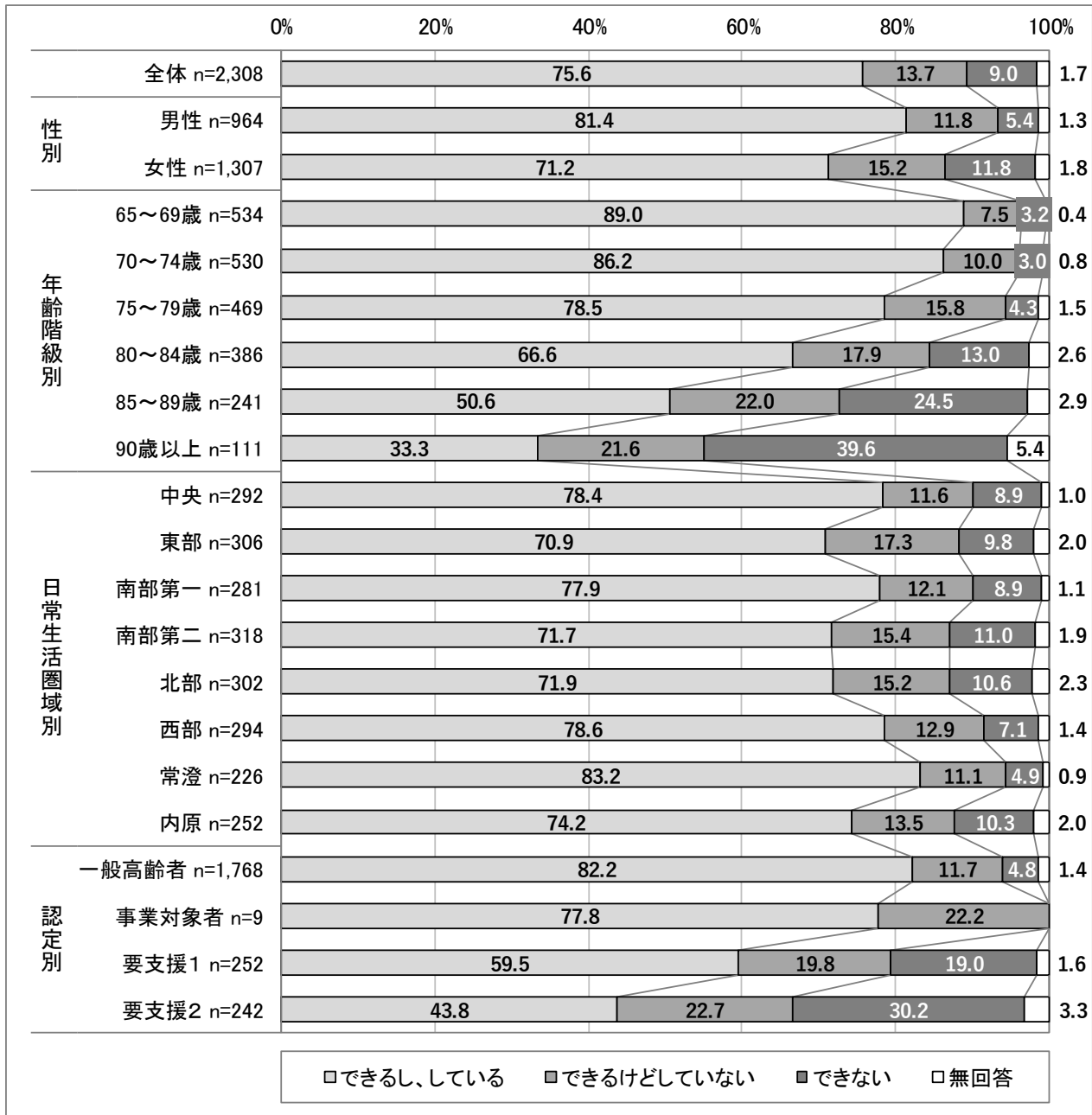


Q4. バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ）

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、全体では「できるし、している」が75.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が9.0%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が39.6%で最も高く、次いで85～89歳が24.5%、80～84歳が13.0%となっています。

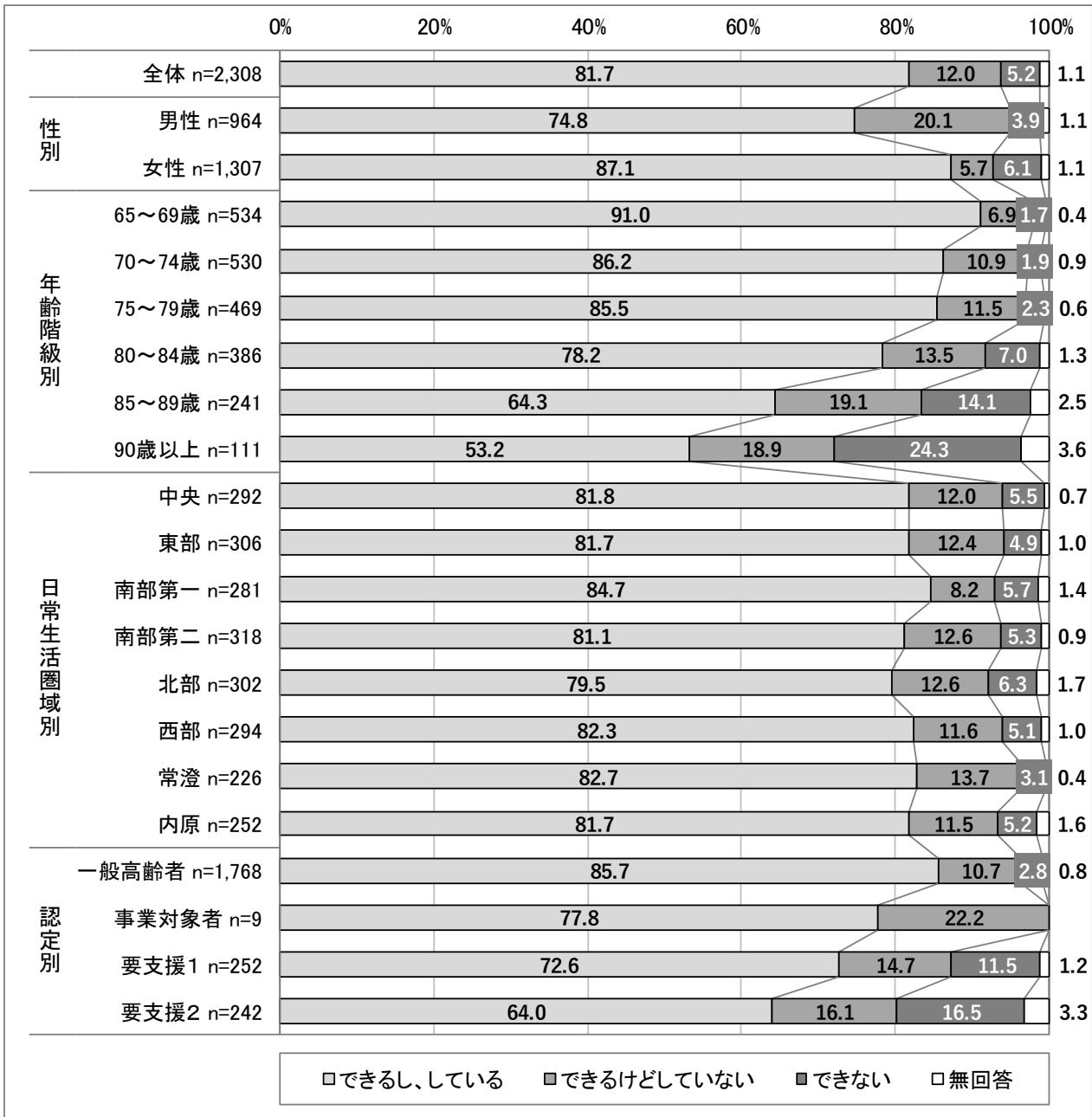


Q5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（1つのみ）

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、全体では「できるし、している」が81.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が5.2%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が24.3%で最も高く、次いで80～84歳が14.1%、85～89歳が7.0%となっています。

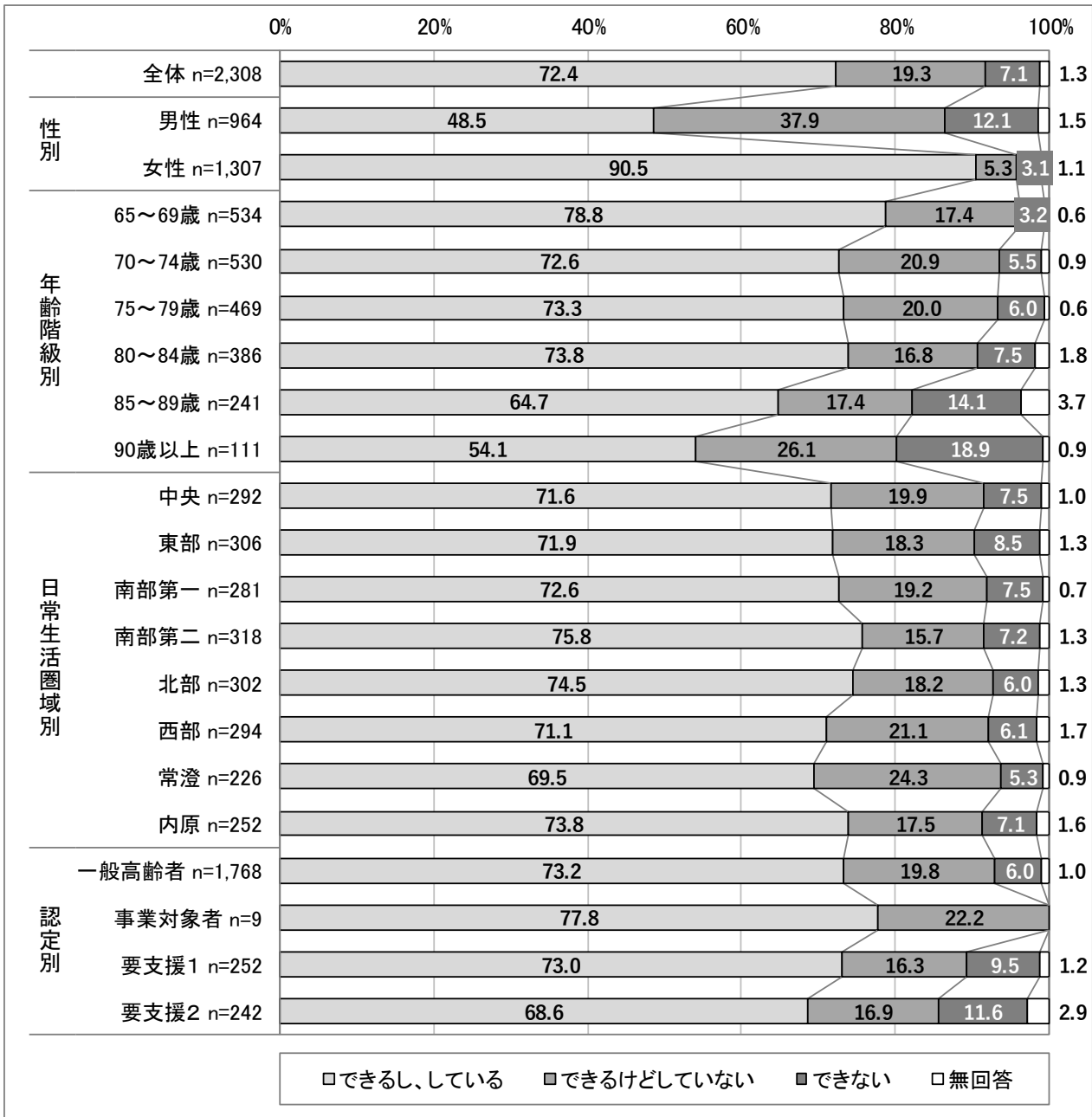


Q6. 自分で食事の用意をしていますか（1つのみ）

自分で食事の用意をしているかについては、全体では「できるし、している」が72.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.3%、「できない」が7.1%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが大きく上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が18.9%で最も高く、次いで85～89歳が14.1%、80～84歳が7.5%となっています。

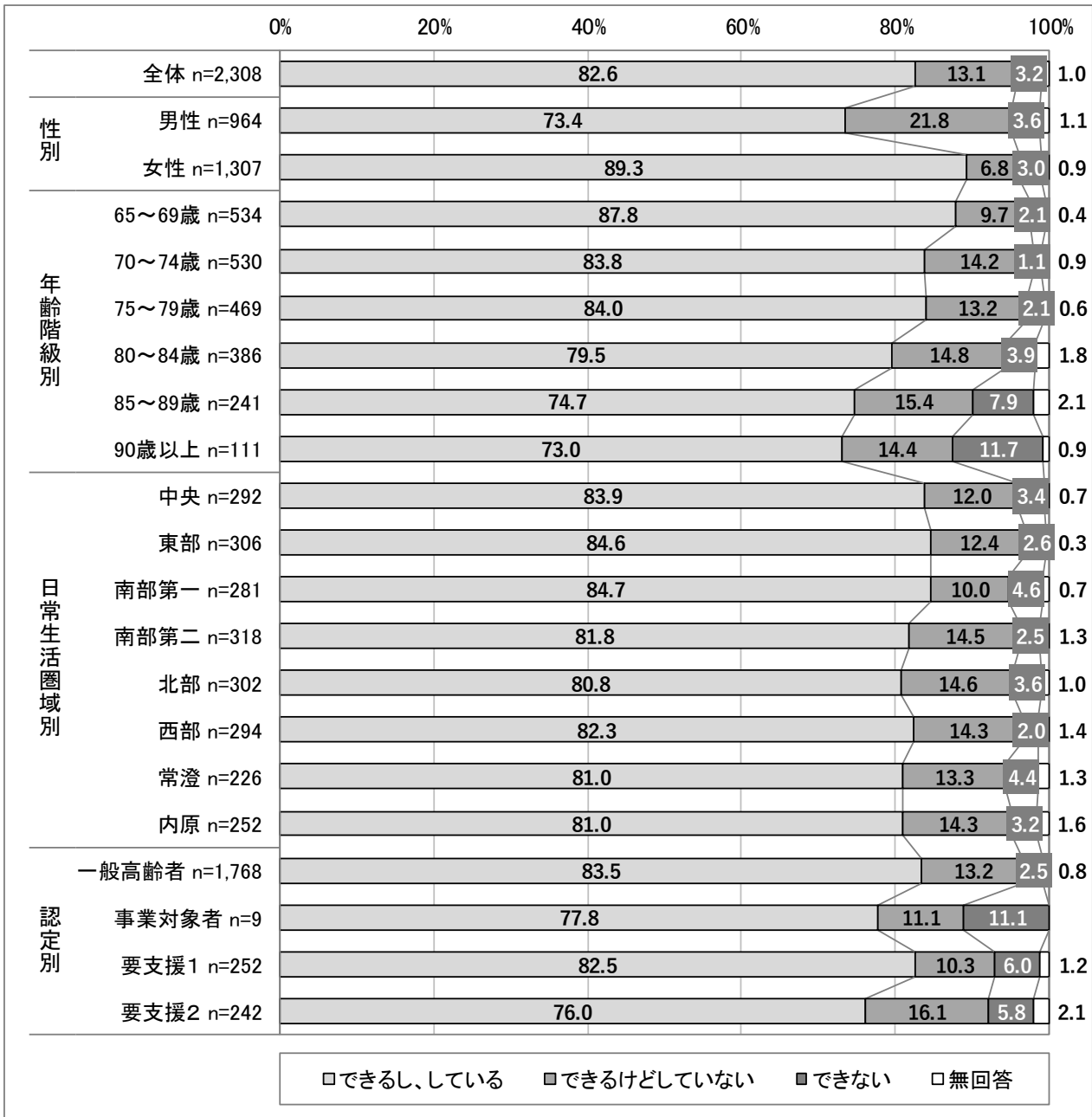


Q7. 自分で請求書の支払いをしていますか（1つのみ）

自分で請求書の支払いをしているかについては、全体では「できるし、している」が82.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が3.2%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が11.7%で最も高く、次いで85～89歳が7.9%、80～84歳が3.9%となっています。

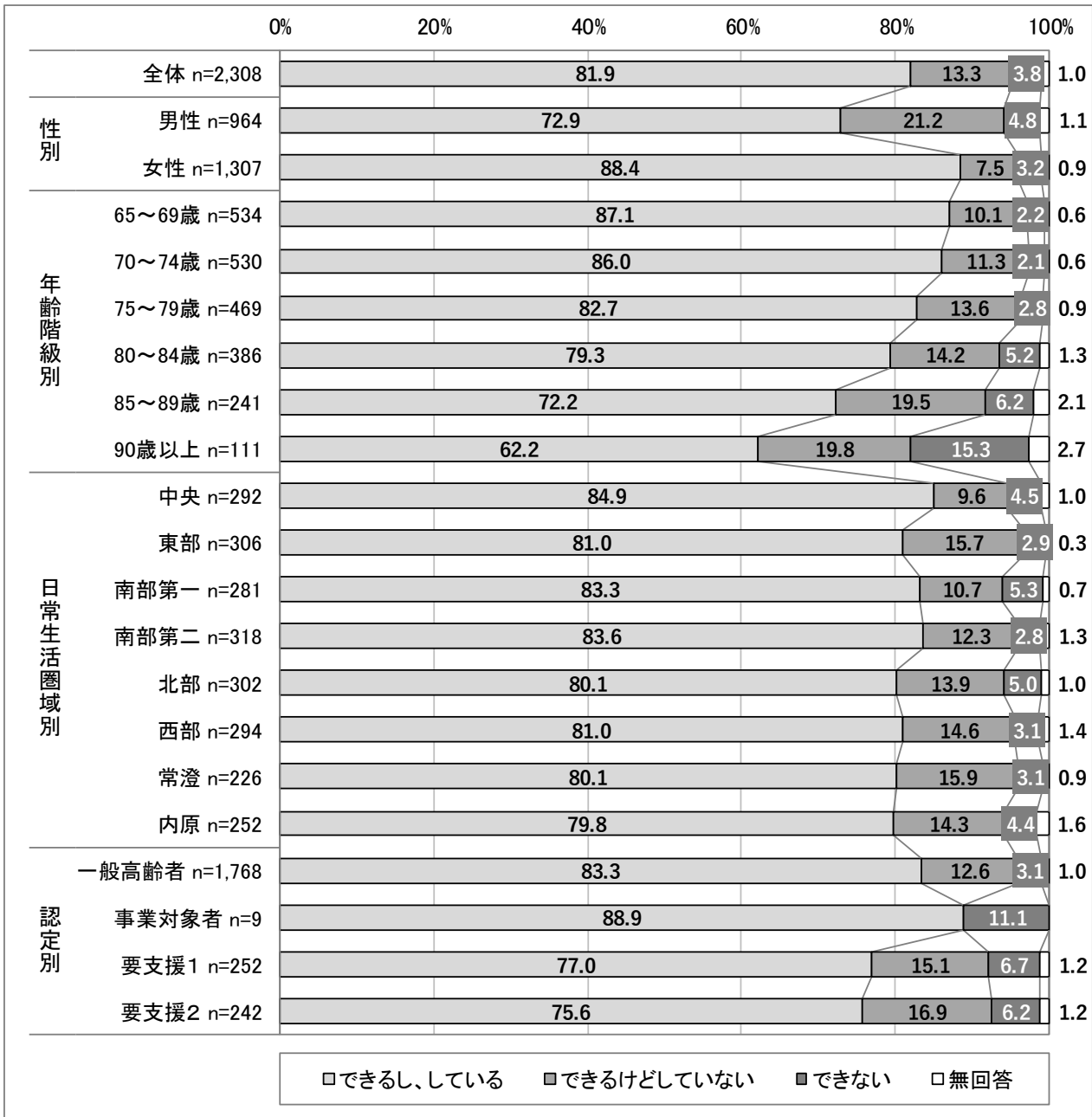


Q8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つのみ）

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、全体では「できるし、している」が81.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.3%、「できない」が3.8%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

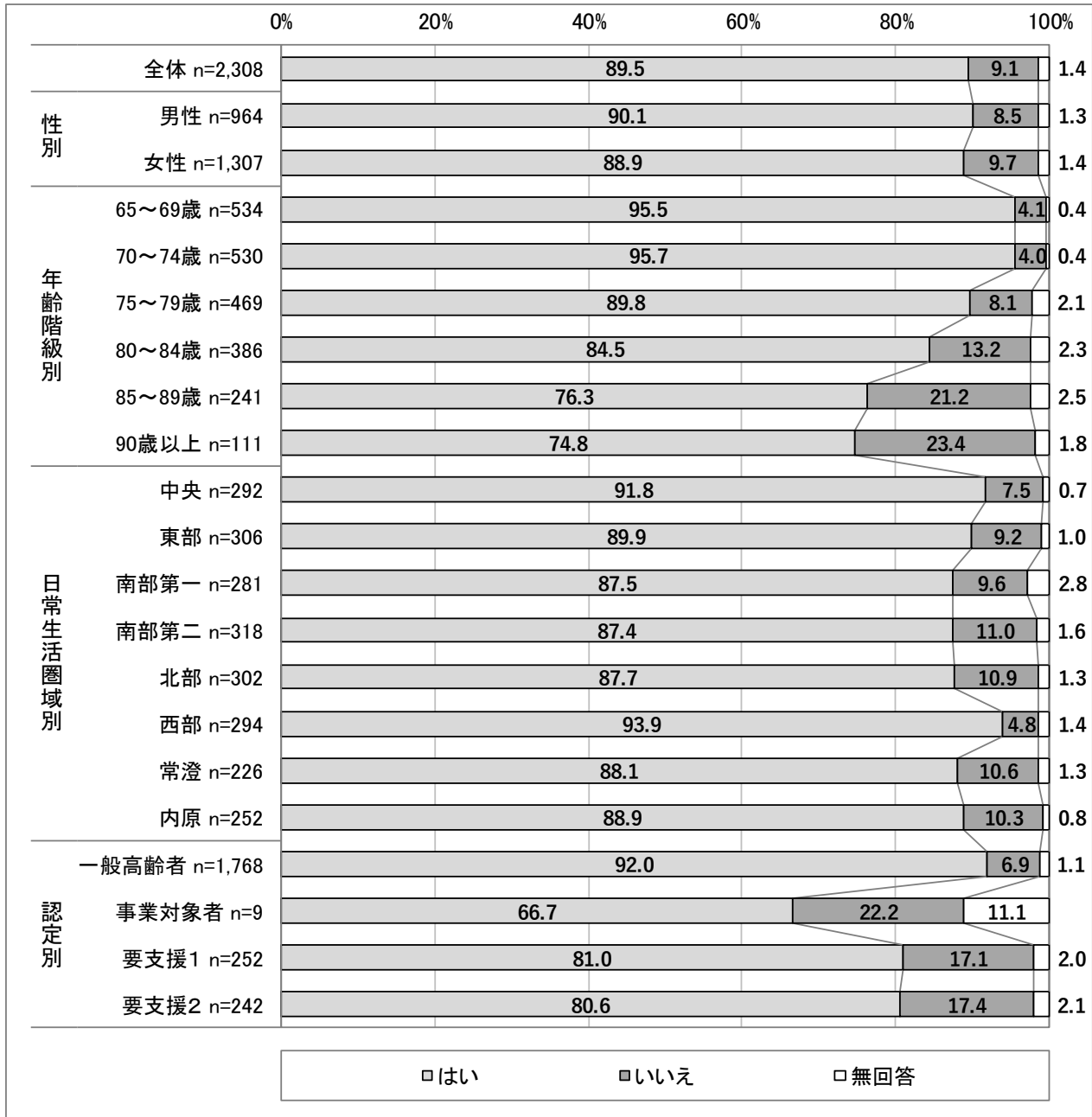
年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が15.3%で最も高く、次いで85～89歳が6.2%、80～84歳が5.2%となっています。



Q9. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つのみ）

年金などの書類が書けるかについては、全体では「はい」が89.5%、「いいえ」が9.1%となっています。

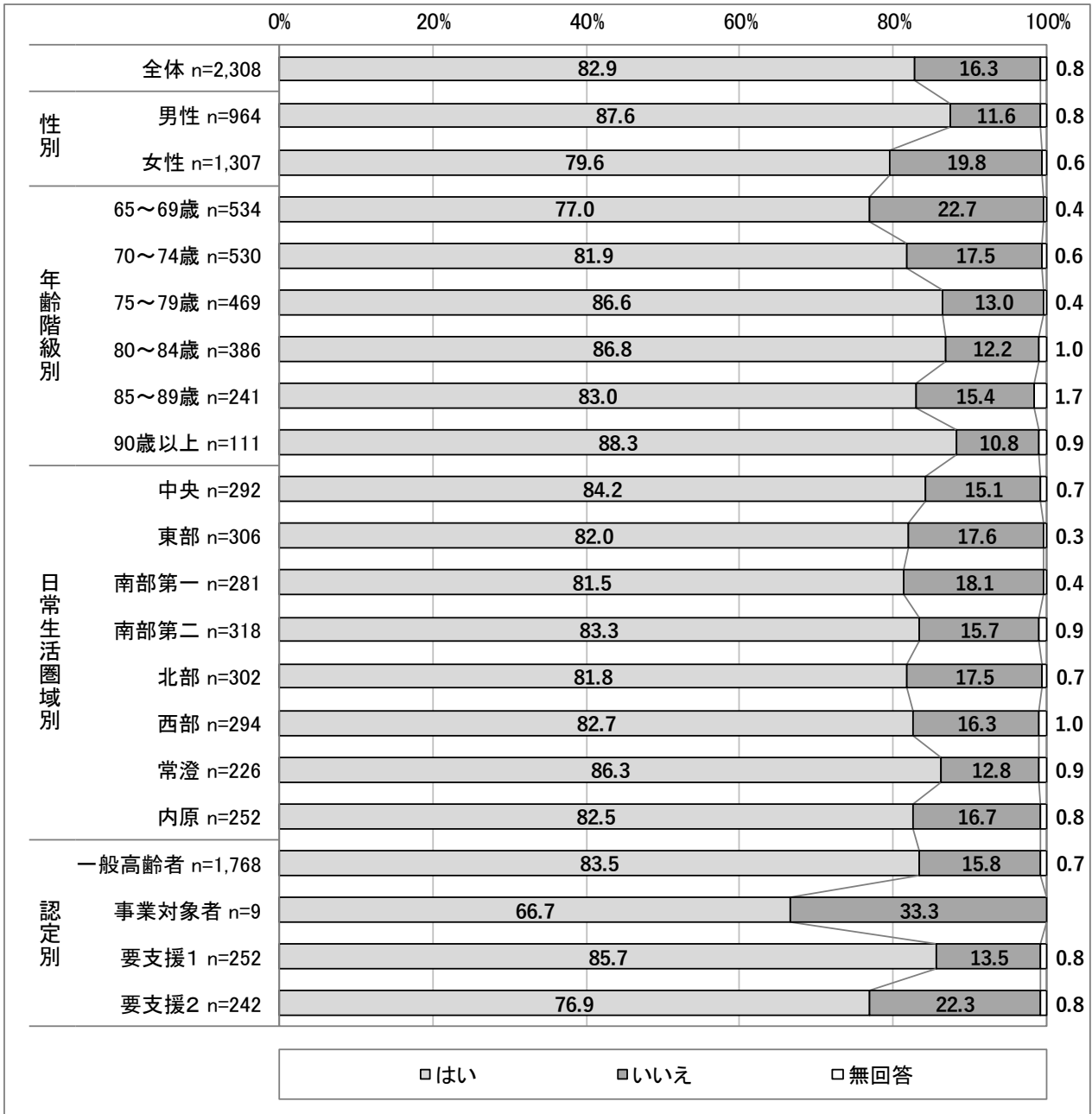
年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が23.4%で最も高く、次いで85～89歳が21.2%、80～84歳が13.2%となっています。



Q10. 新聞を読んでいますか（1つのみ）

新聞を読んでいるかについては、全体では「はい」が82.9%、「いいえ」が16.3%となっています。
性別でみると、「いいえ」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、65～69歳が22.7%で最も高く、次いで70～74歳が17.5%、85～89歳が15.4%となっています。

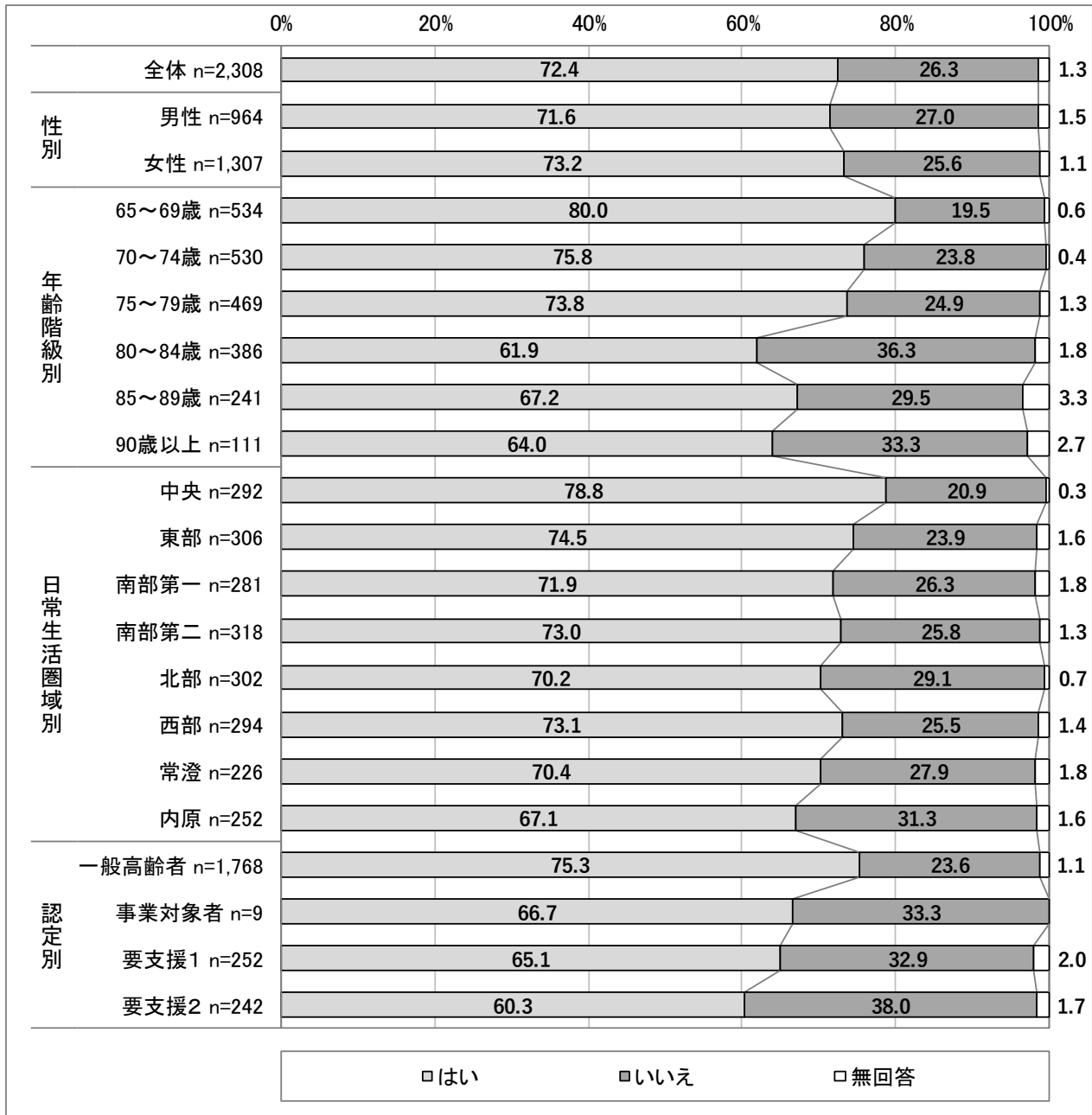


Q11. 本や雑誌を読んでいますか（1つのみ）

本や雑誌を読んでいるかについては、全体では「はい」が72.4%、「いいえ」が26.3%となっています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、80～84歳が36.3%で最も高く、次いで90歳以上が33.3%、85～89歳が29.5%となっています。

日常生活圏域別でみると、内原で「いいえ」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



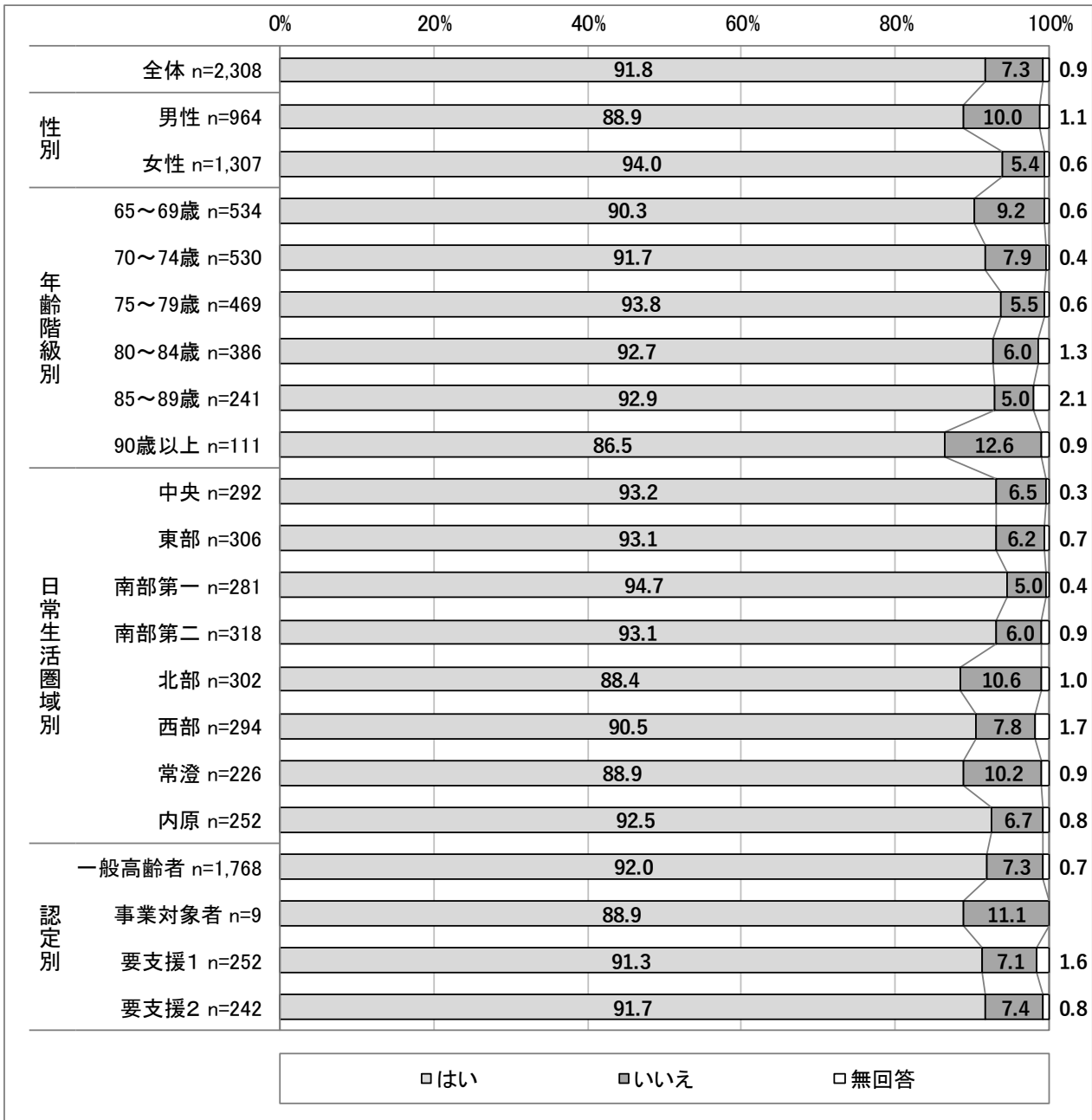
Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つのみ）

健康についての記事や番組に関心があるかについては、全体では「はい」が91.8%、「いいえ」が7.3%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が12.6%で最も高く、次いで65～69歳が9.2%、70～74歳が7.9%となっています。

日常生活圏域別でみると、北部及び常澄で「いいえ」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

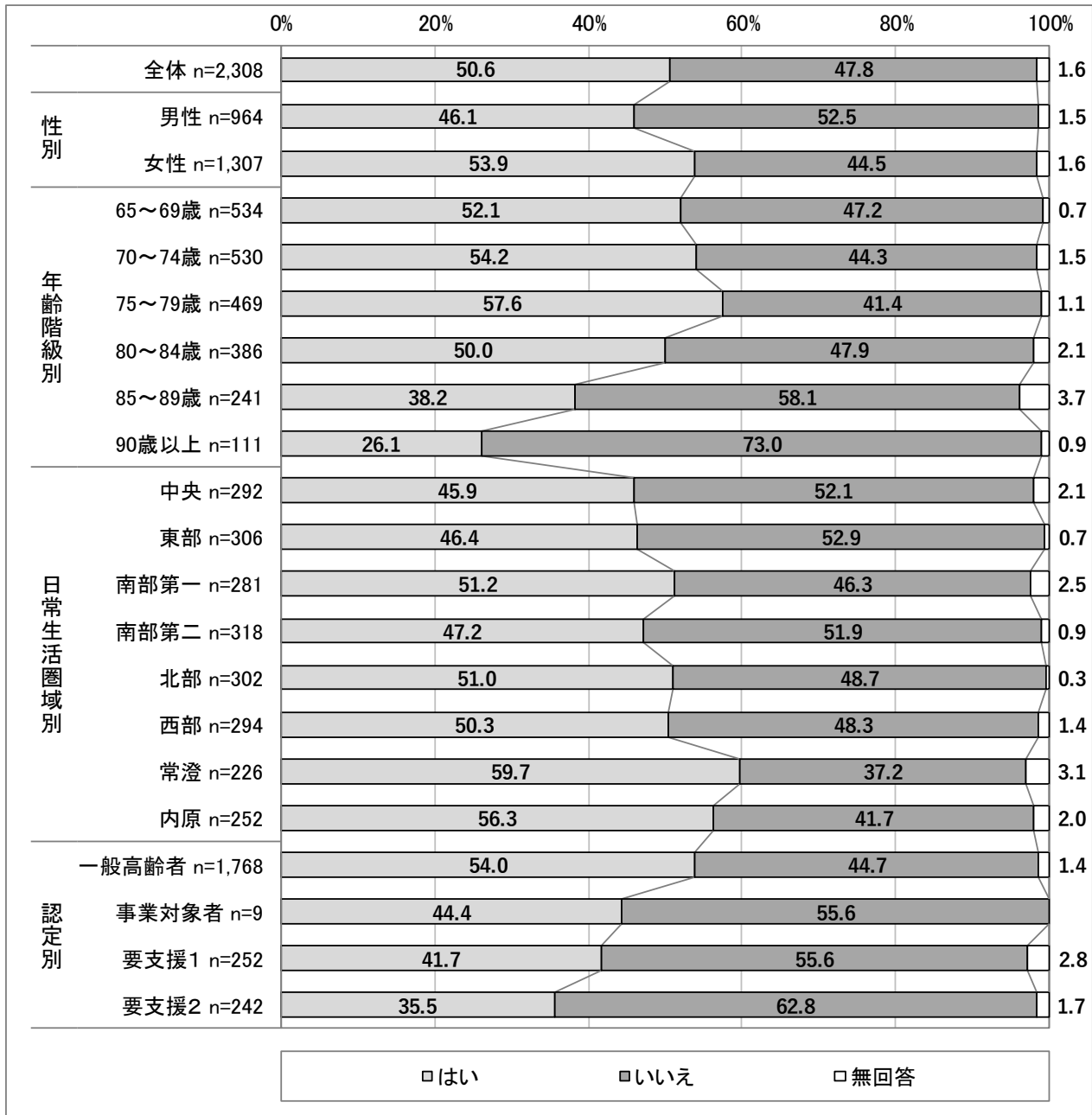


Q13. 友人の家を訪ねていますか（1つのみ）

友人の家を訪ねているかについては、全体では「はい」が50.6%、「いいえ」が47.8%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が73.0%で最も高く、次いで85～89歳が58.1%、80～84歳が47.9%となっています。

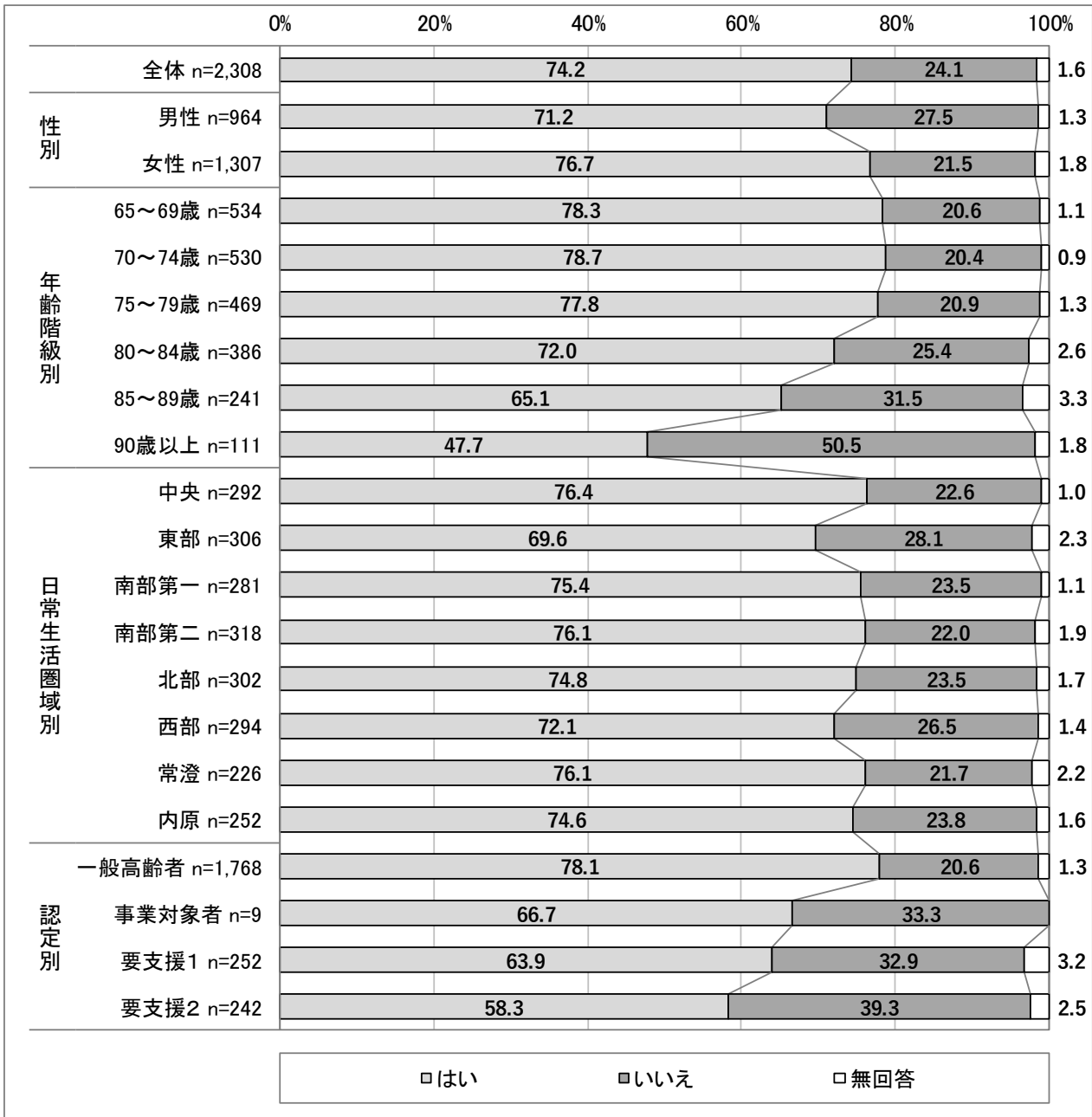


Q14. 家族や友人の相談にのっていますか（1つのみ）

家族や友人の相談にのっているかについては、全体では「はい」が74.2%、「いいえ」が24.1%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

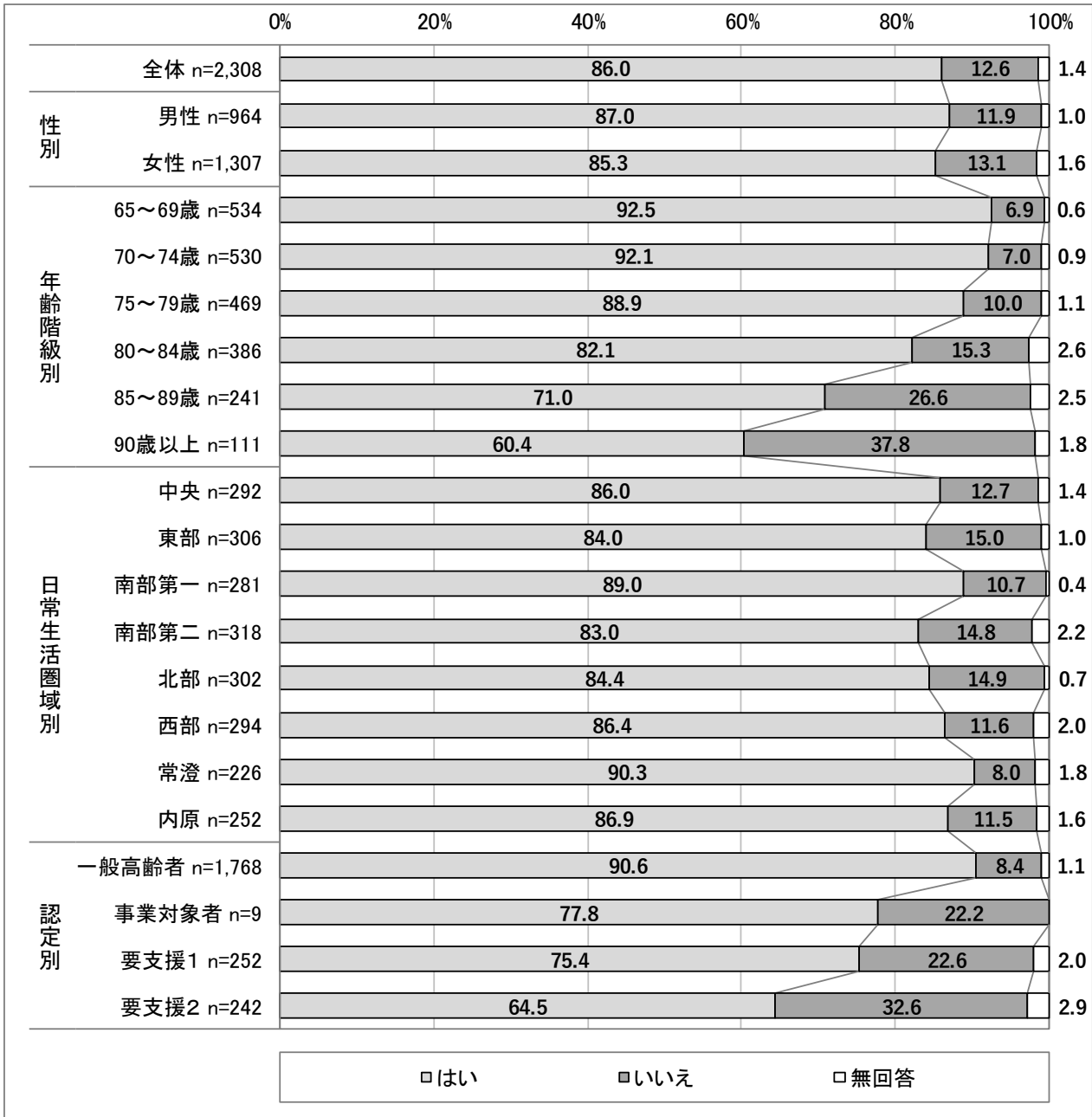
年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が50.5%で最も高く、次いで85～89歳が31.5%、80～84歳が25.4%となっています。



Q15. 病人を見舞うことができますか（1つのみ）

病人を見舞うことができるかについては、全体では「はい」が86.0%、「いいえ」が12.6%となっています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が37.8%で最も高く、次いで85～89歳が26.6%、80～84歳が15.3%となっています。

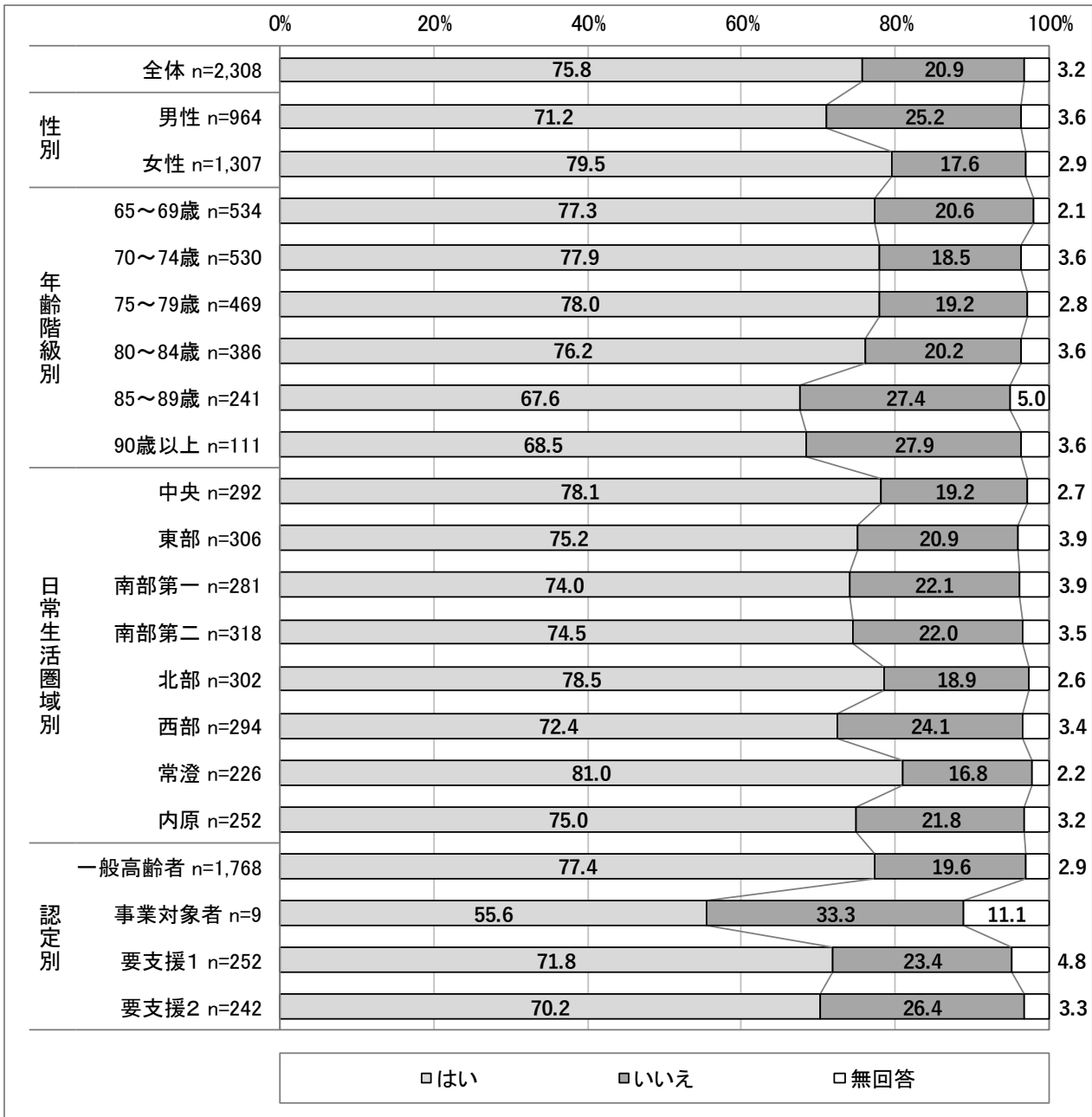


Q16. 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つのみ）

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、全体では「はい」が 75.8%、「いいえ」が 20.9%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

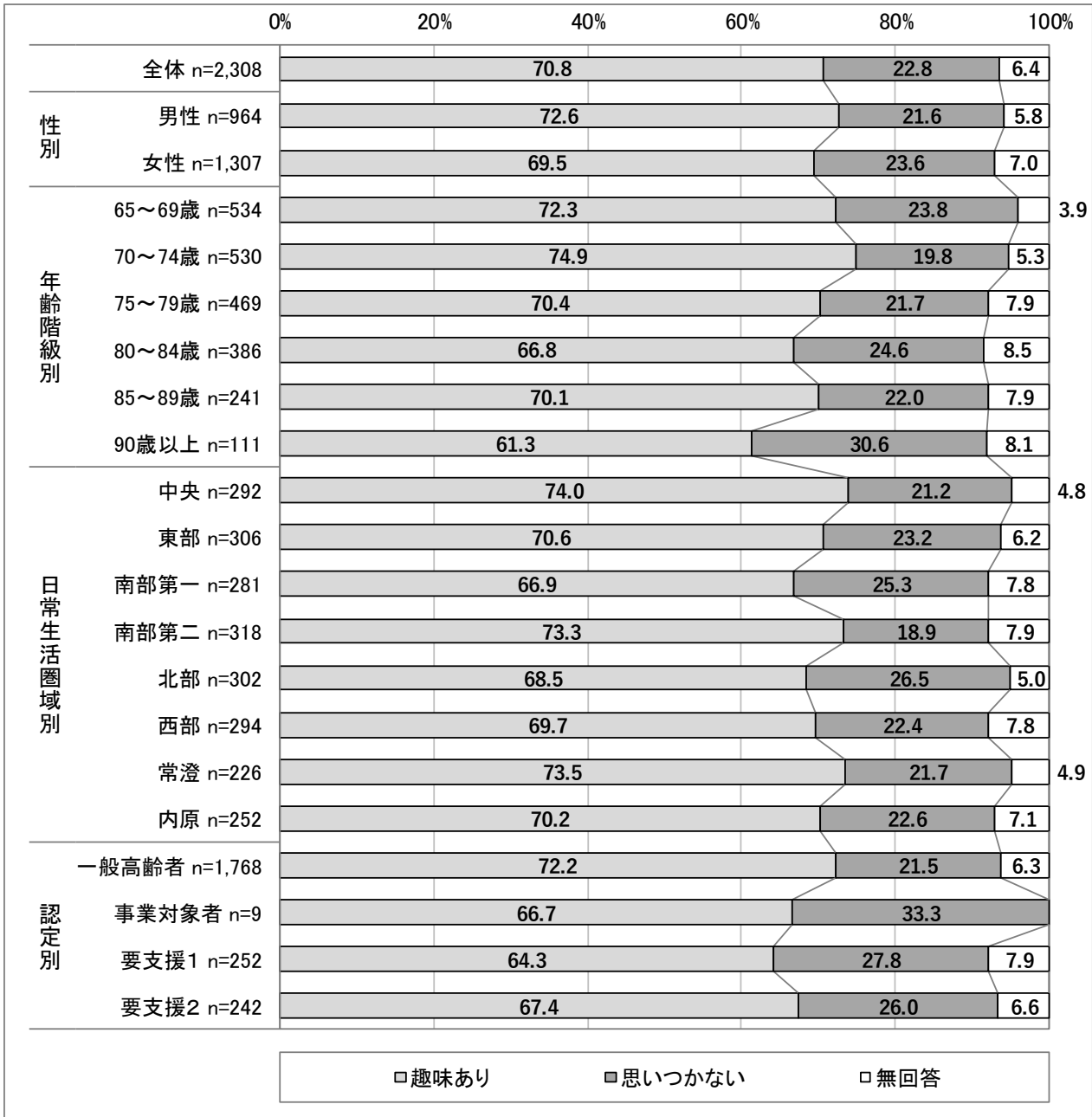
年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が 27.9%で最も高く、次いで 85～89歳が 27.4%、65～69歳が 20.6%となっています。



Q17. 趣味はありますか（1つのみ）

趣味はあるかについては、全体では「趣味あり」が70.8%、「思いつかない」が22.8%で、「趣味あり」が48.0ポイント上回っています。

年齢階級別でみると、「思いつかない」は、90歳以上が30.6%で最も高く、次いで80～84歳が24.6%、65～69歳が23.8%となっています。

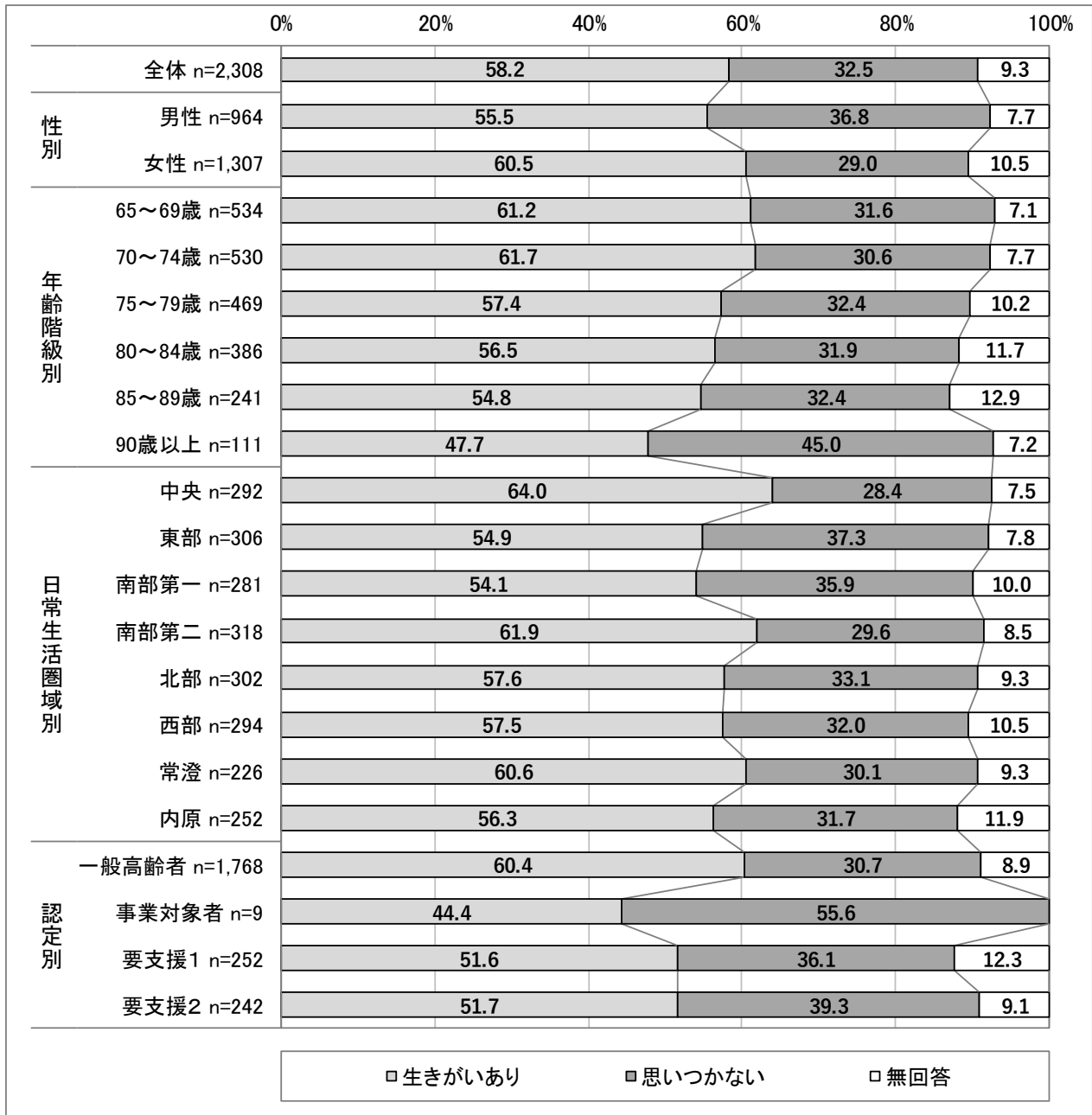


Q18. 生きがいがありますか（1つのみ）

生きがいがあるかについては、全体では「生きがいあり」が58.2%、「思いつかない」が32.5%で、「生きがいあり」が25.7ポイント上回っています。

性別でみると、「思いつかない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「思いつかない」は、90歳以上が45.0%で最も高く、次いで75～79歳、85～89歳がともに32.4%、80～84歳が31.9%となっています。



5. 地域での活動について

Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（それぞれに1つのみ）

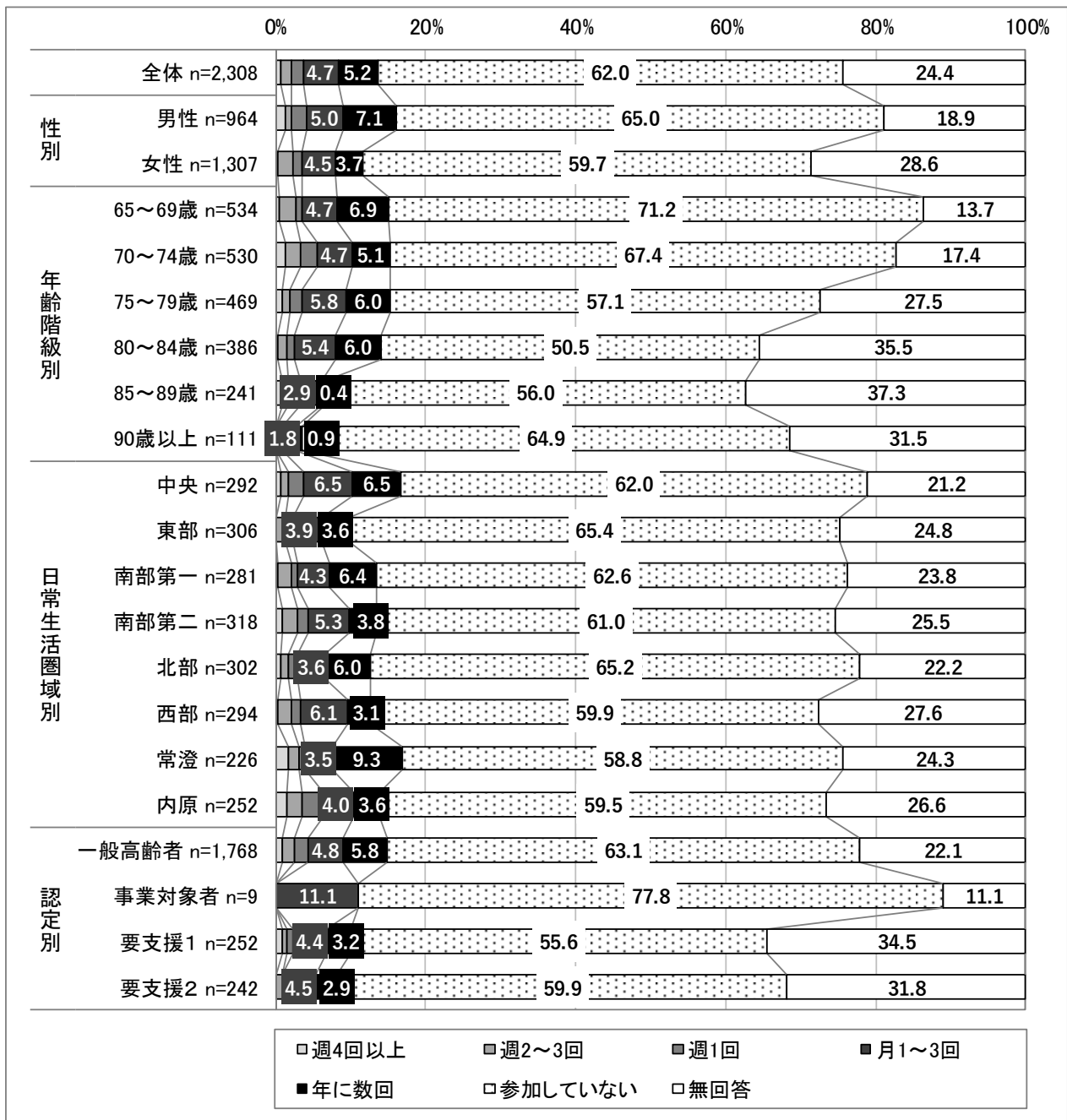
① ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、全体では「参加していない」が62.0%で最も高く、次いで「年に数回」が5.2%、「月1～3回」が4.7%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、75～79歳が最も高く、次いで70～74歳、65～69歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、中央、常澄が最も高くなっています。



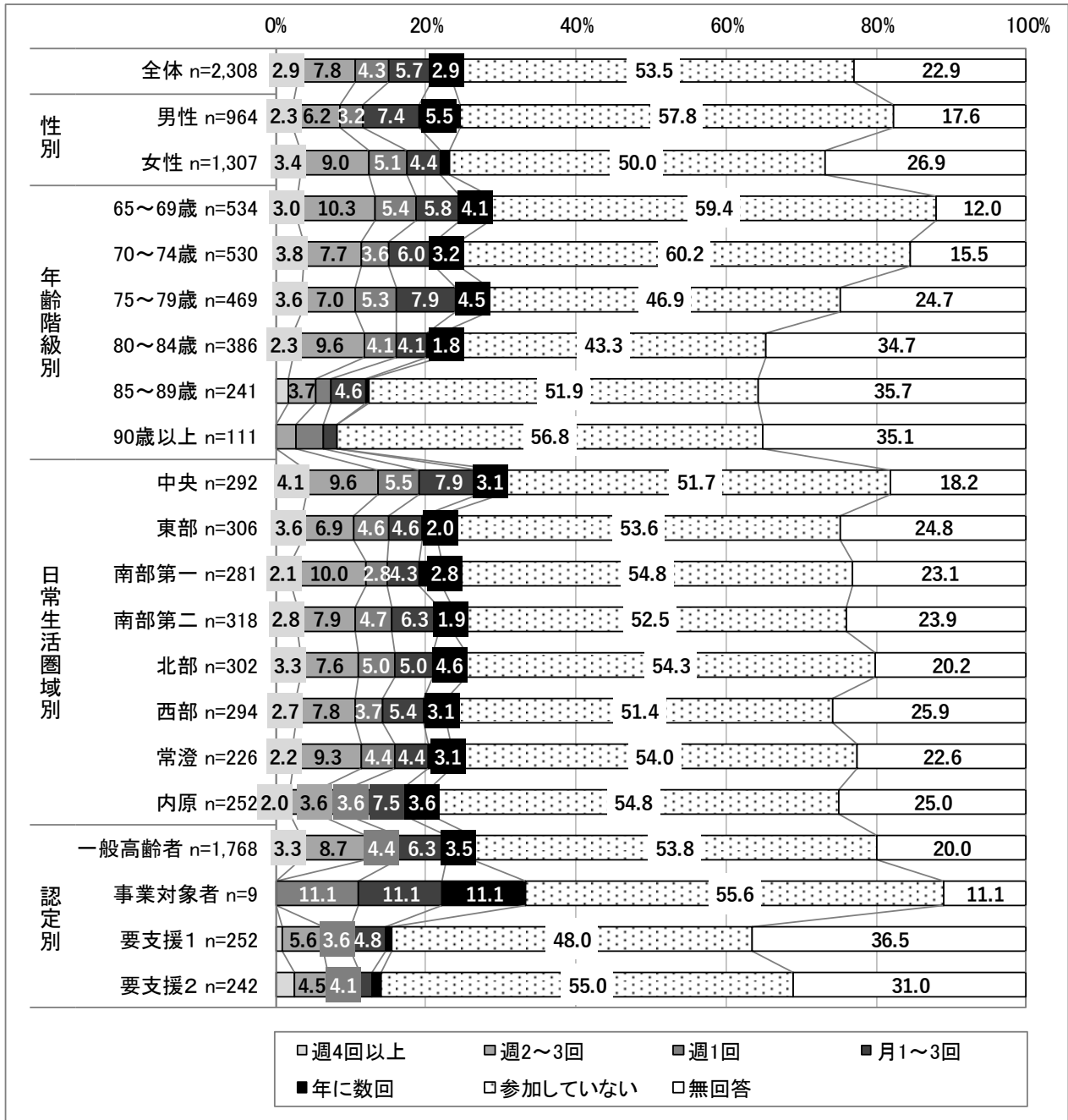
② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、全体では「参加していない」が53.5%で最も高く、次いで「週2～3回」が7.8%、「月1～3回」が5.7%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、65～69歳が最も高く、次いで75～79歳、70～74歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、中央が最も高くなっています。



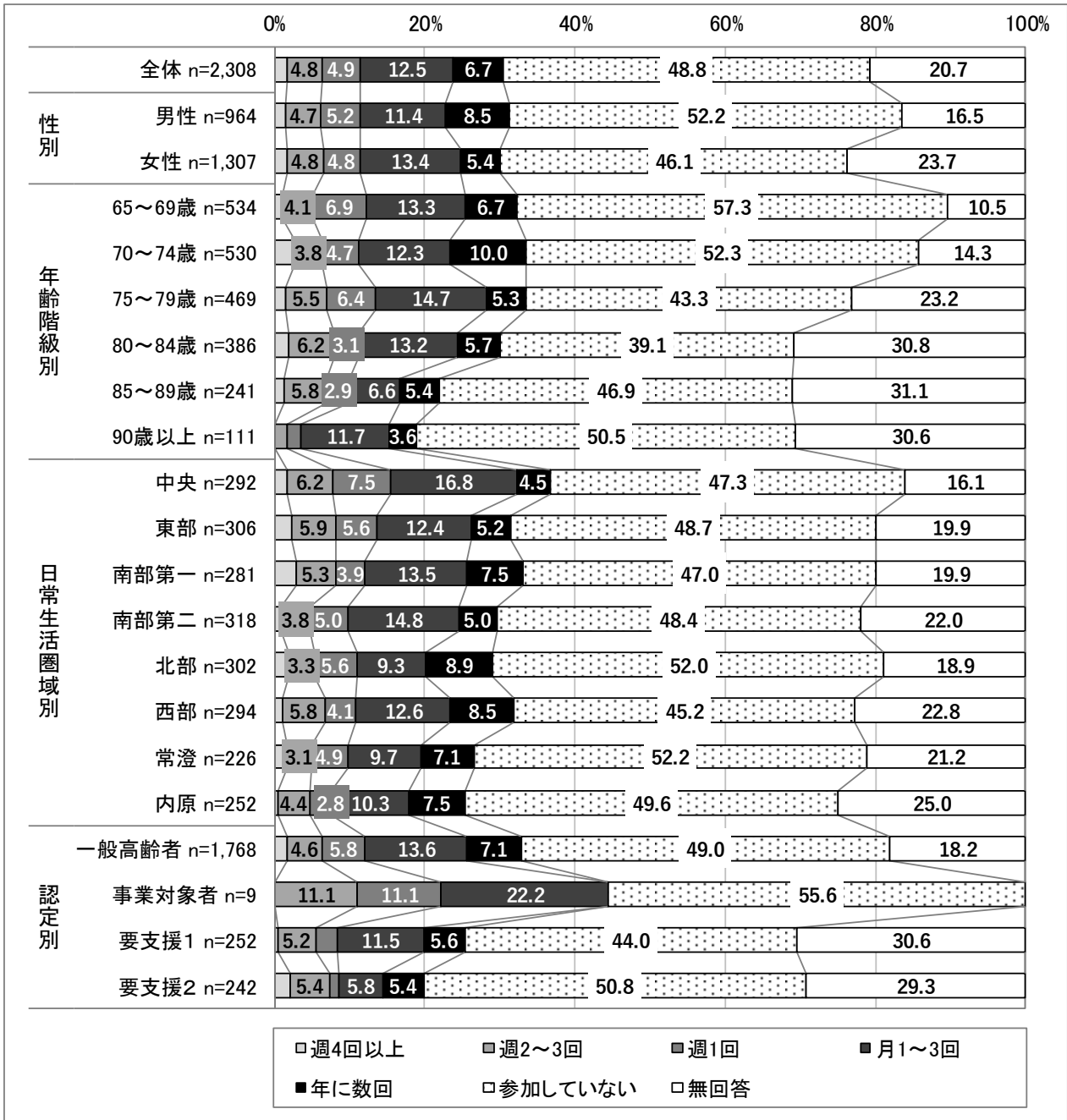
③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、全体では「参加していない」が48.8%で最も高く、次いで「月1～3回」が12.5%、「年に数回」が6.7%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、70～74歳、75～79歳が最も高く、次いで65～69歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、中央が最も高くなっています。



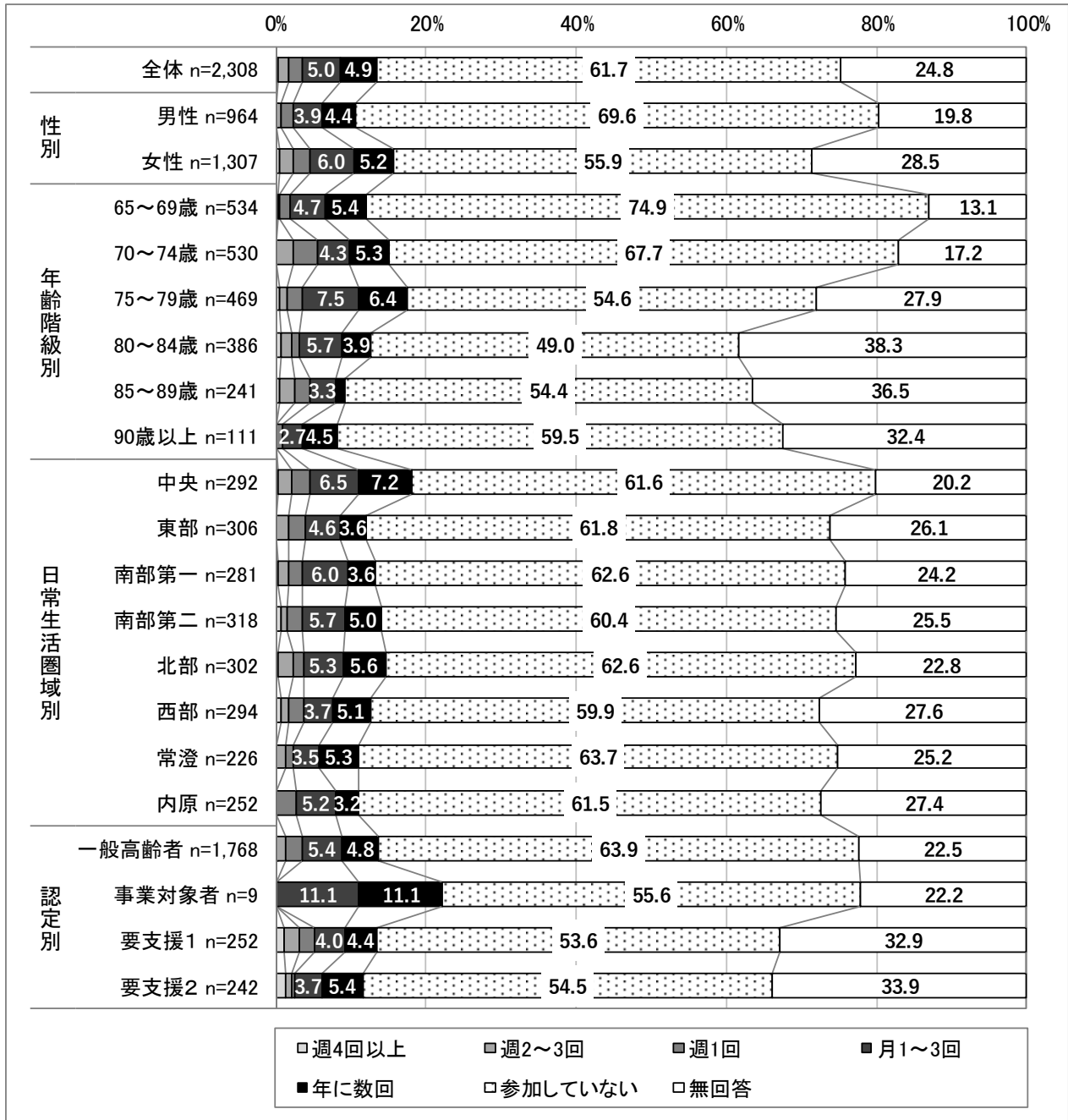
④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、全体では「参加していない」が61.7%で最も高く、次いで「月1～3回」が5.0%、「年に数回」が4.9%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、75～79歳が最も高く、次いで70～74歳、80～84歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、中央が最も高くなっています。



⑤ 介護予防のための通いの場

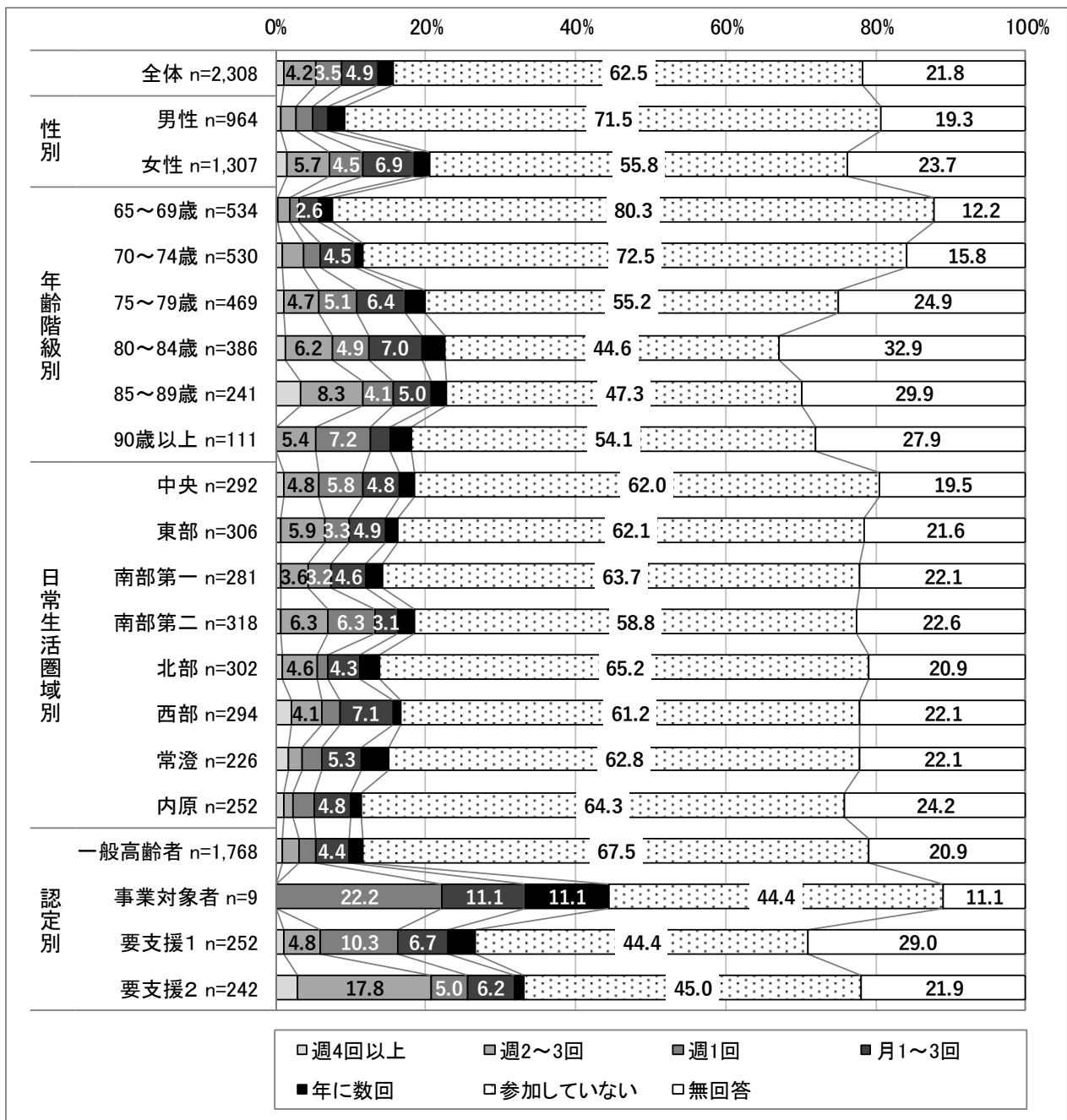
(元気アップ・ステップ運動、いきいき健康クラブ、脳の健康教室・エンジョイスクール、シルバーリハビリ体操など)

介護予防のための通いの場への参加状況については、全体では「参加していない」が62.5%で最も高く、次いで「月1～3回」が4.9%、「週2～3回」が4.2%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、85～89歳が最も高く、次いで80～84歳、75～79歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、中央、南部第二が最も高くなっています。



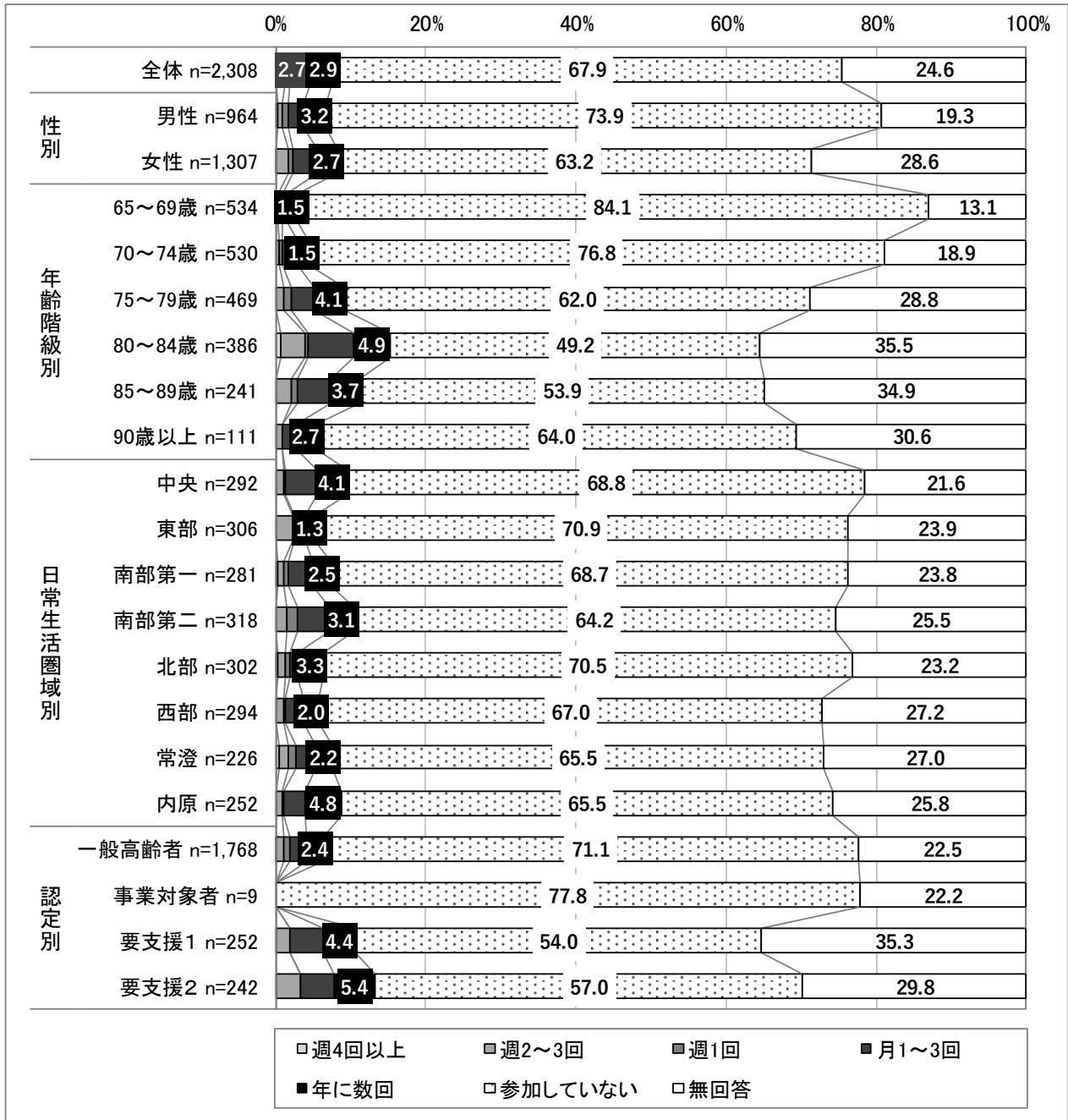
⑥ 高齢者クラブ

高齢者クラブへの参加状況については、全体では「参加していない」が67.9%で最も高く、次いで「年に数回」が2.9%、「月1～3回」が2.7%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、80～84歳が最も高く、次いで85～89歳、75～79歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、南部第二が最も高くなっています。



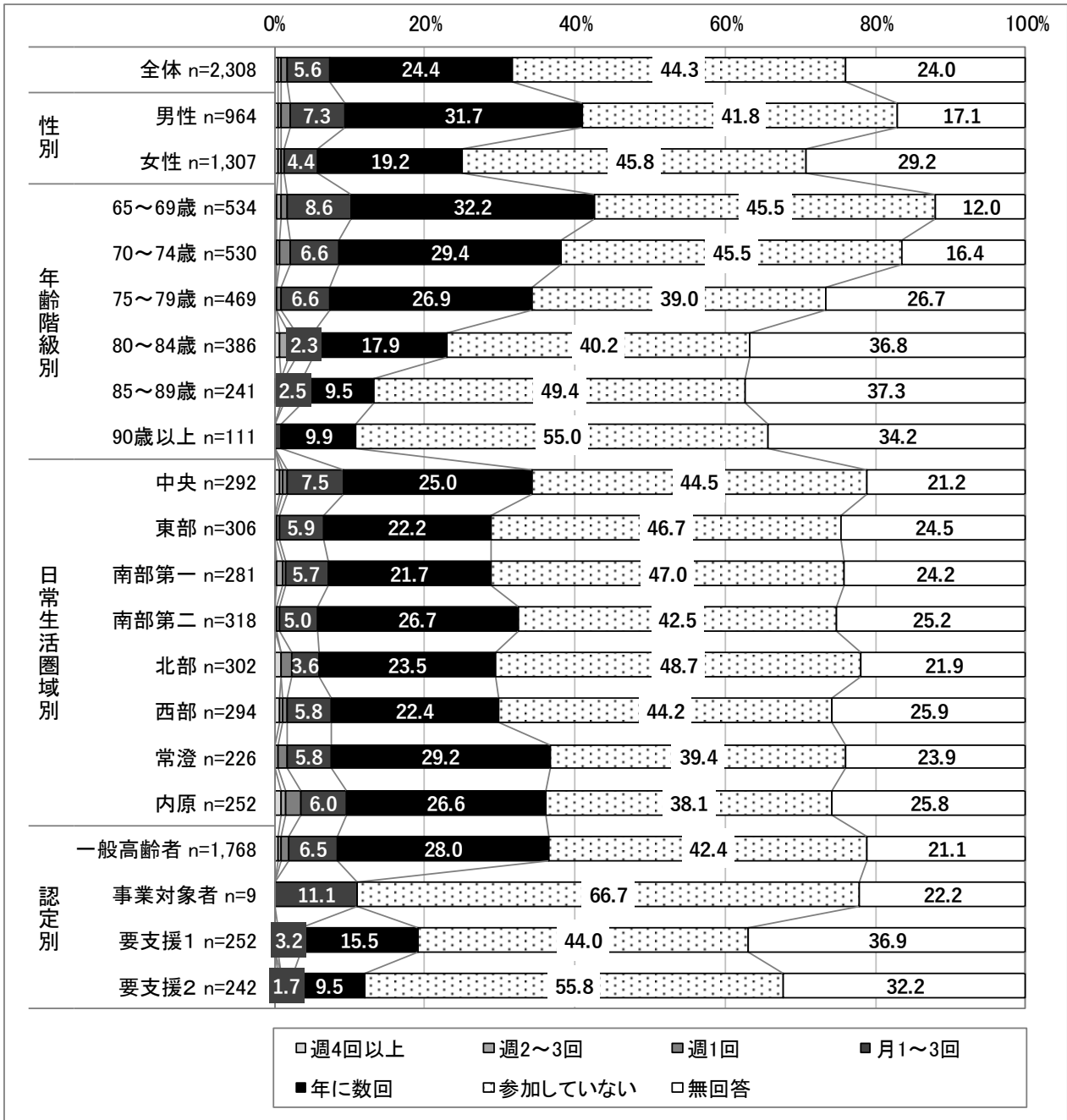
⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、全体では「参加していない」が44.3%で最も高く、次いで「年に数回」が24.4%、「月1～3回」が5.6%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、65～69歳が最も高く、次いで70～74歳、75～79歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、常澄が最も高くなっています。



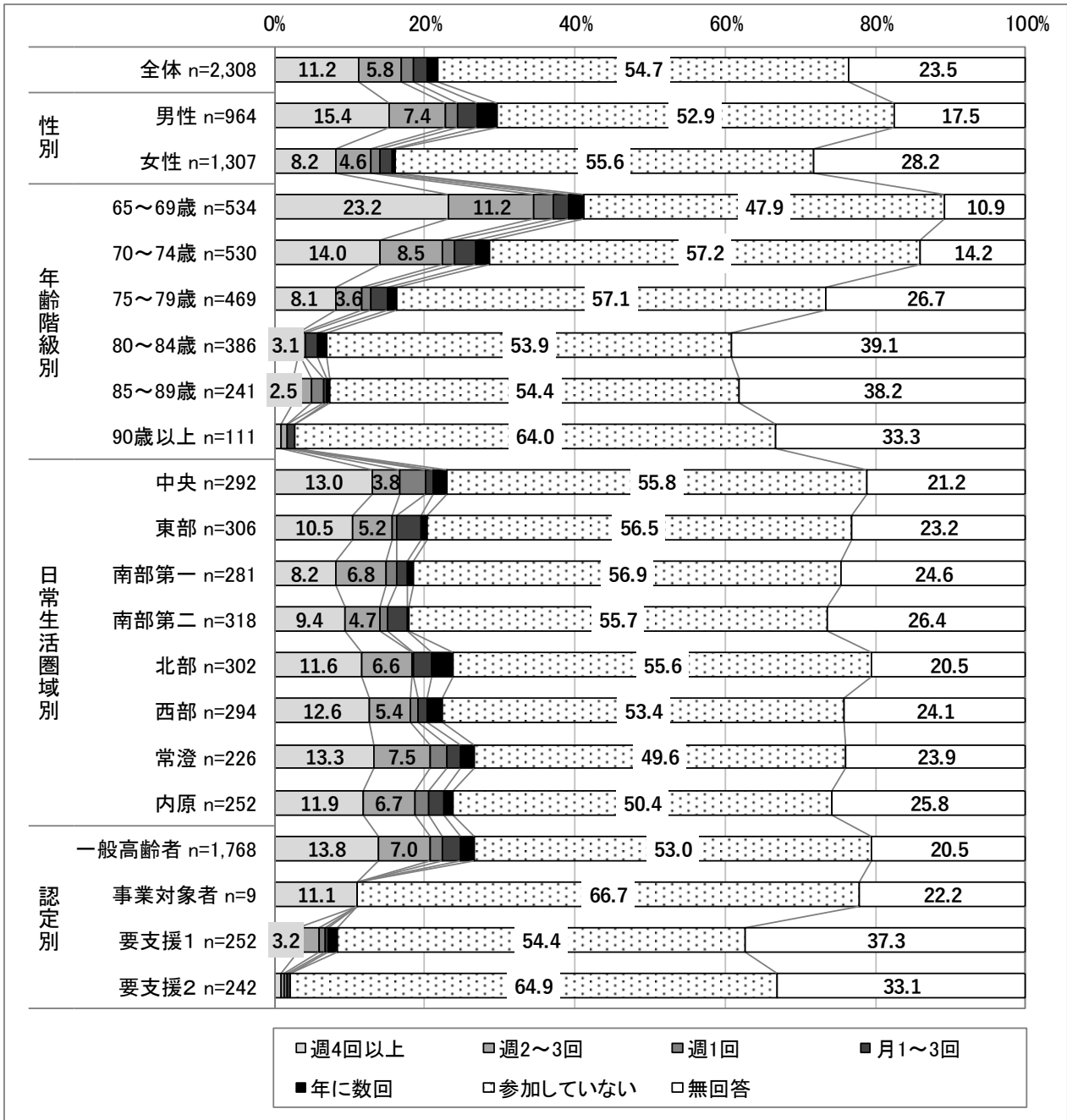
⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況については、全体では「参加していない」が54.7%で最も高く、次いで「週4回以上」が11.2%、「週2～3回」が5.8%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合わせた『参加している』は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『参加している』の割合は、65～69歳が最も高く、次いで70～74歳、75～79歳となっています。

日常生活圏域でみると、『参加している』の割合は、常澄が最も高くなっています。

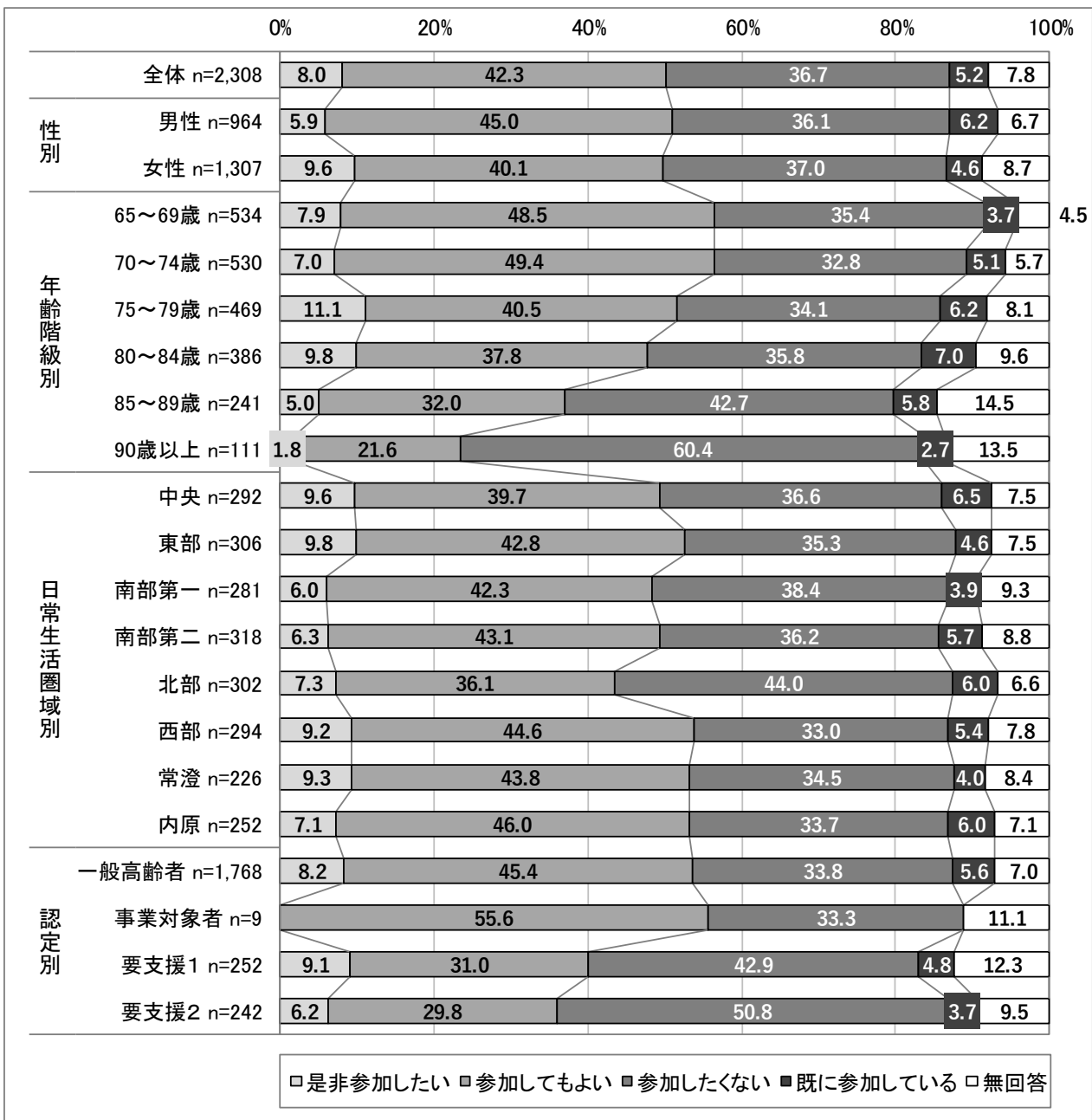


Q2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つのみ)

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、全体では「参加してもよい」が42.3%で最も高く、次いで「参加したくない」が36.7%、「是非参加したい」が8.0%となっています。

年齢階級別でみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加したい』は、65～69歳、70～74歳がともに56.4%で最も高く、次いで75～79歳が51.6%となっています。

日常生活圏域でみると、『参加したい』の割合は、西部が最も高くなっています。



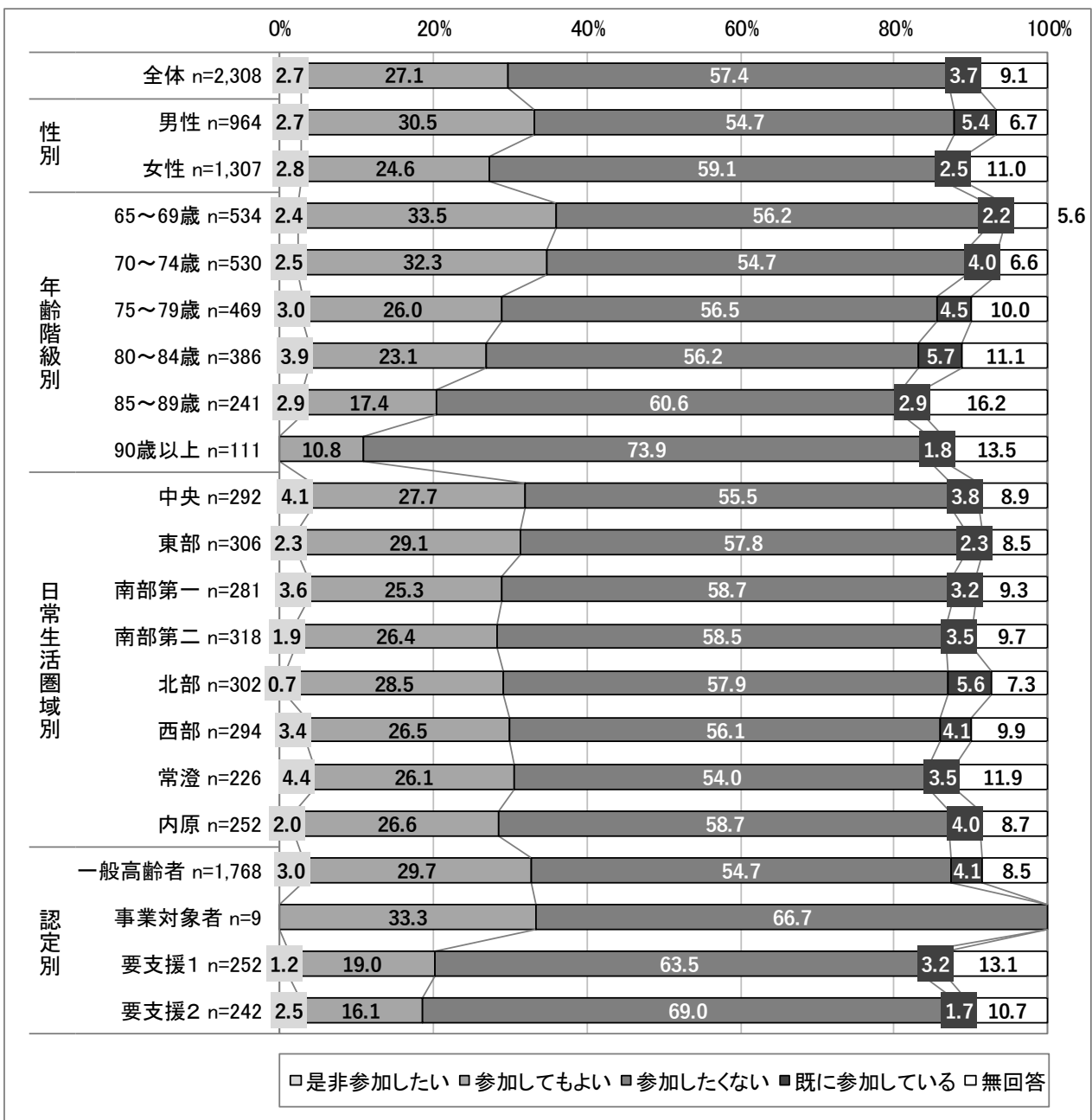
Q3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、全体では「参加したくない」が57.4%で最も高く、次いで「参加してもよい」が27.1%、「是非参加したい」が2.7%となっています。

性別でみると、「参加してもよい」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加したい』は、65～69歳が35.9%で最も高く、次いで70～74歳が34.8%、80～84歳が29.0%となっています。

日常生活圏域でみると、『参加したい』の割合は、中央が最も高くなっています。



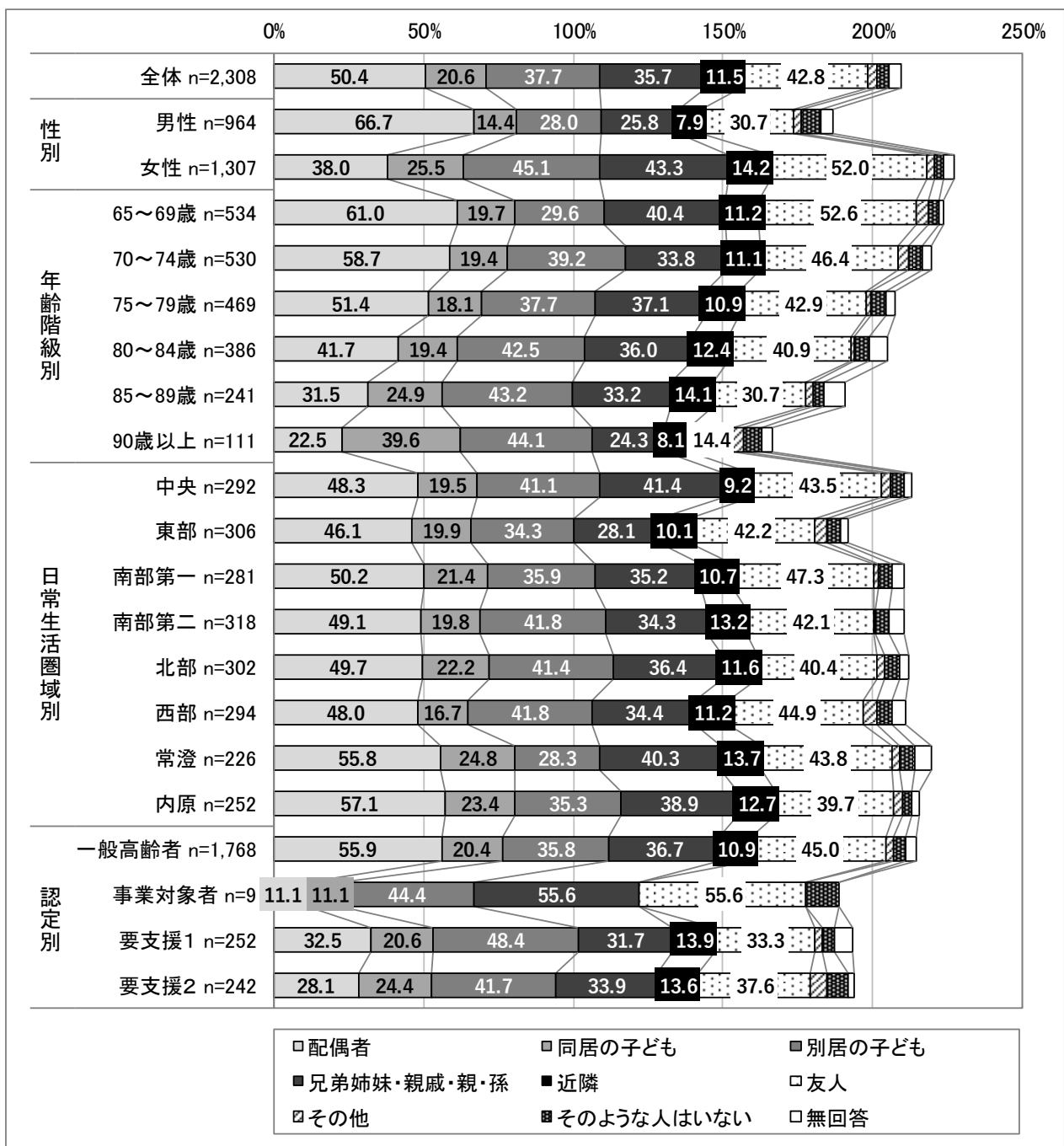
6. たすけあいについて

Q1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、全体では「配偶者」が50.4%で最も高く、次いで「友人」が42.8%、「別居の子ども」が37.7%となっています。

性別で見ると、男性では、「配偶者」が66.7%で最も高く、次いで「友人」が30.7%、「別居の子ども」が28.0%となっています。女性では、「友人」が52.0%で最も高く、次いで「別居の子ども」が45.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が43.3%となっています。

年齢階級別で見ると、年齢が上がるとともに「配偶者」は減少し、「同居の子ども」「別居の子ども」が増加しています。

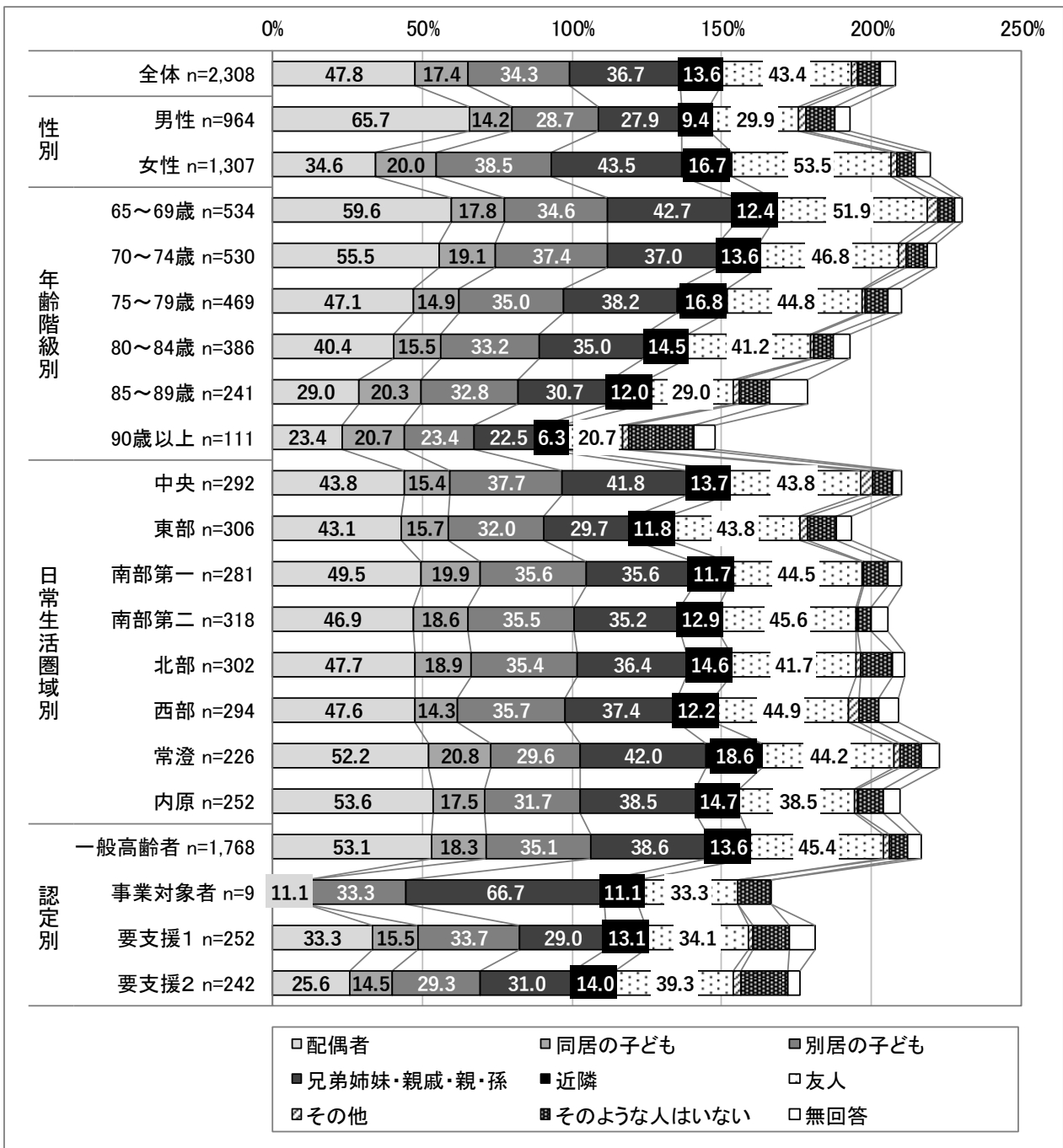


Q2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、全体では「配偶者」が47.8%で最も高く、次いで「友人」が43.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.7%となっています。

性別でみると、男性では、「配偶者」が65.7%で最も高く、次いで「友人」が29.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.7%となっています。女性では、「友人」が53.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が43.5%、「別居の子ども」が38.5%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が減少しています。

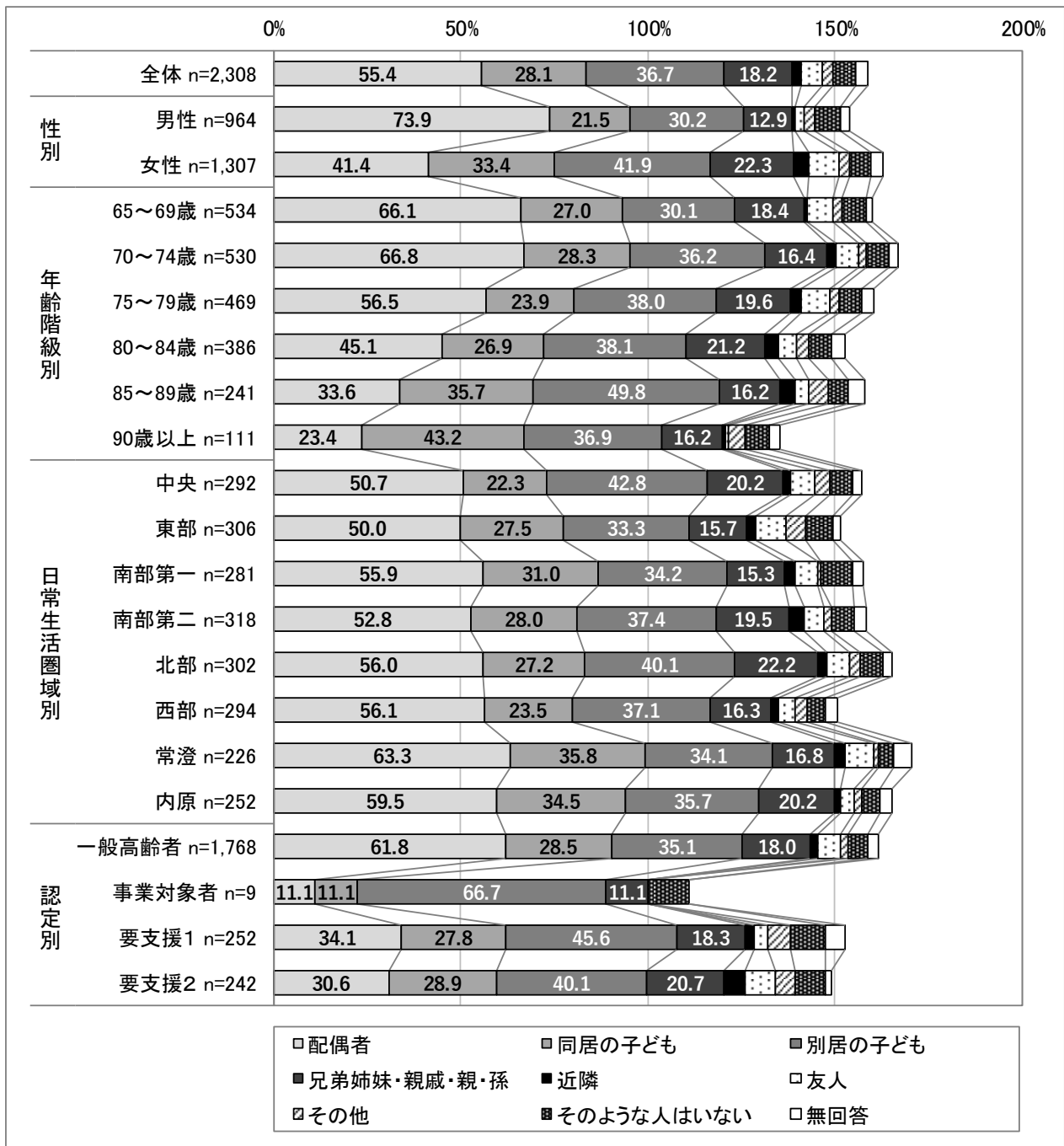


Q3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、全体では「配偶者」が55.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」が36.7%、「同居の子ども」が28.1%となっています。

性別でみると、男性では、「配偶者」が73.9%で最も高く、次いで「別居の子ども」が30.2%、「同居の子ども」が21.5%となっています。女性では、「別居の子ども」が41.9%で最も高く、次いで「配偶者」が41.4%、「同居の子ども」が33.4%となっています。

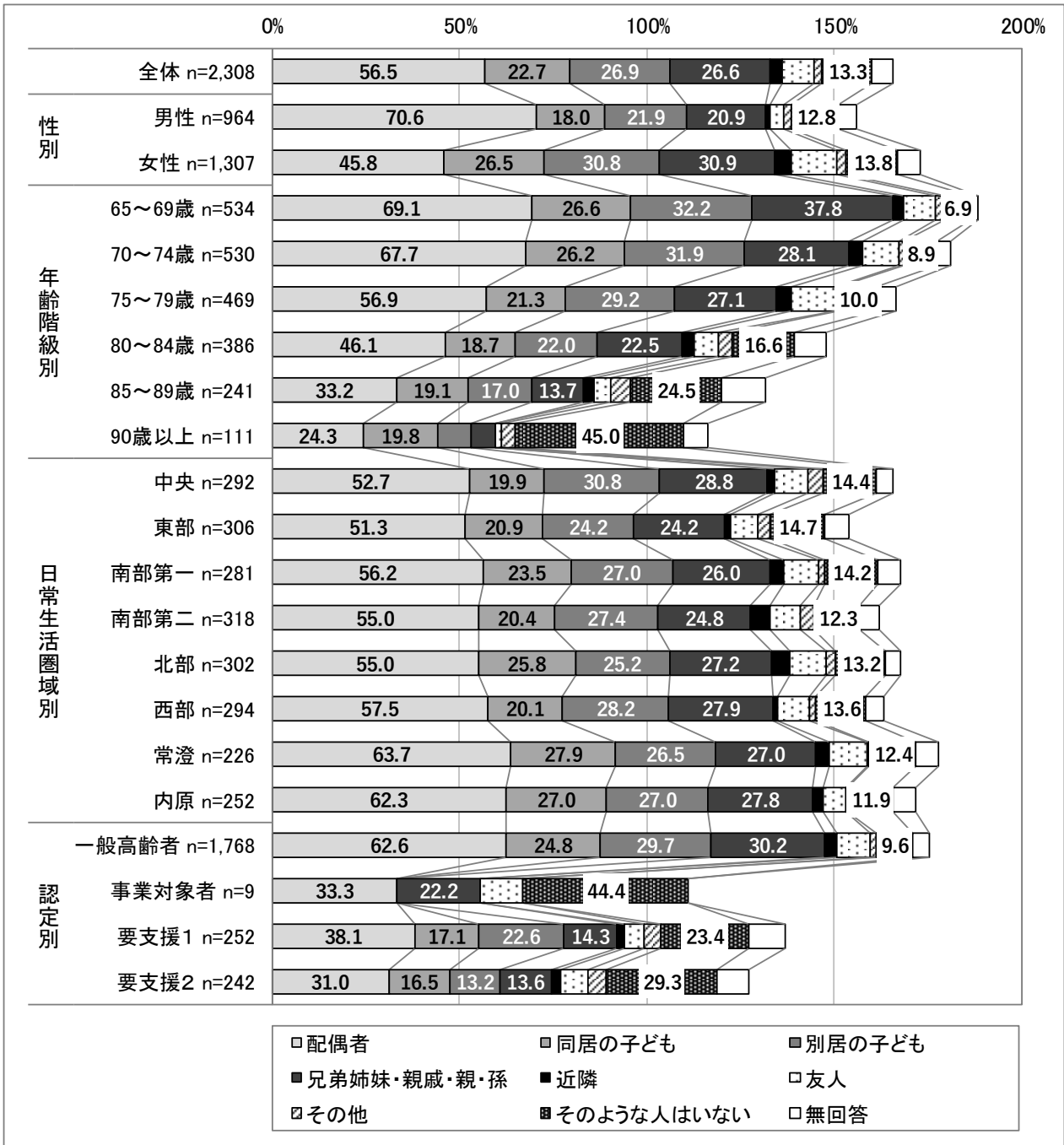
年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「配偶者」は減少し、「同居の子ども」が増加しています。



Q4. 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

あなたが看病や世話をしあける人については、全体では「配偶者」が56.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」が26.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.6%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「そのような人はいない」が増加しています。

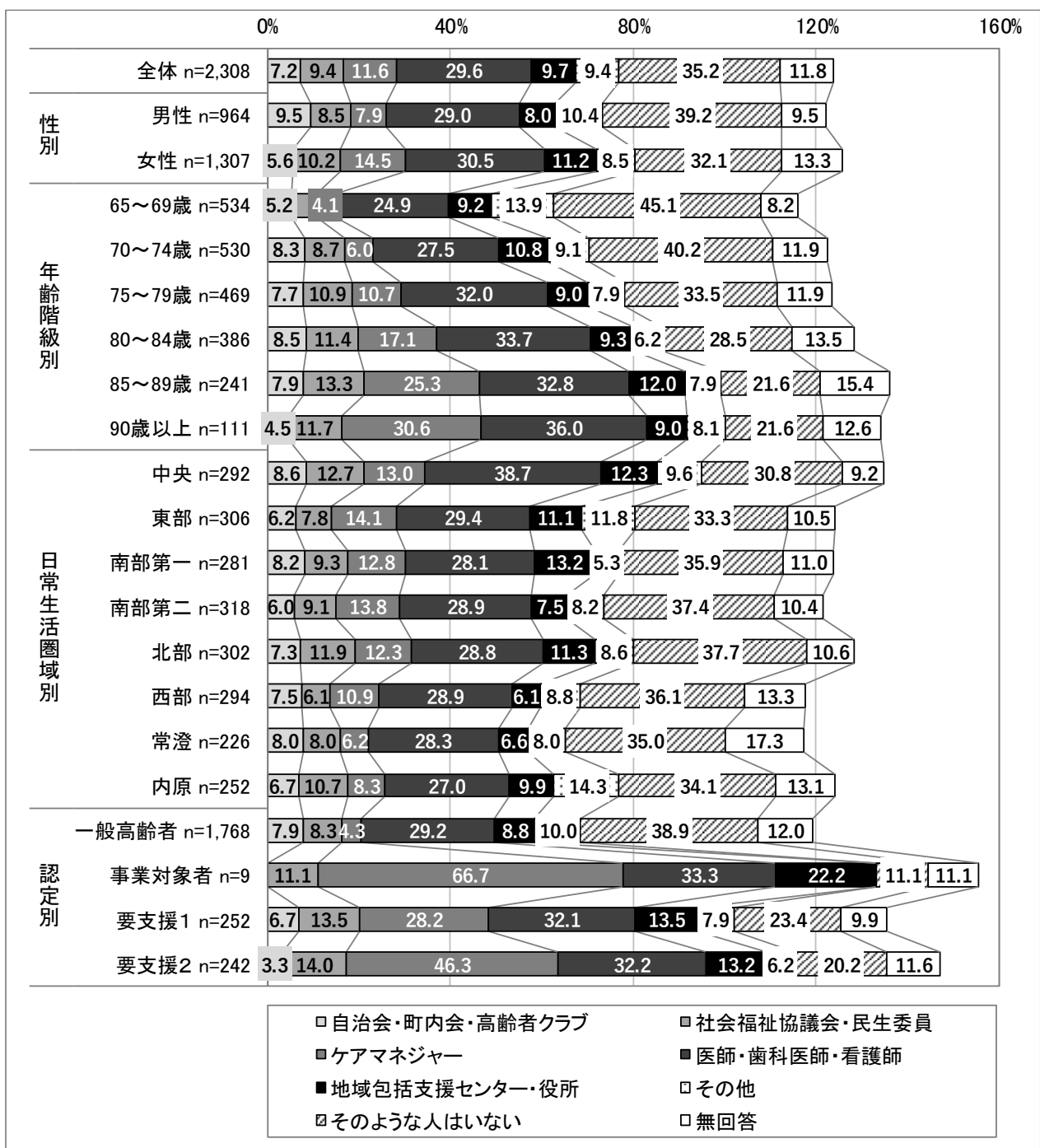


Q5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、全体では「そのような人はいない」が35.2%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.6%、「ケアマネジャー」が11.6%となっています。

性別でみると、男性では、「そのような人はいない」が39.2%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.0%、「その他」が10.4%となっています。女性では、「そのような人はいない」が32.1%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が30.5%、「ケアマネジャー」が14.5%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」が増加しています。



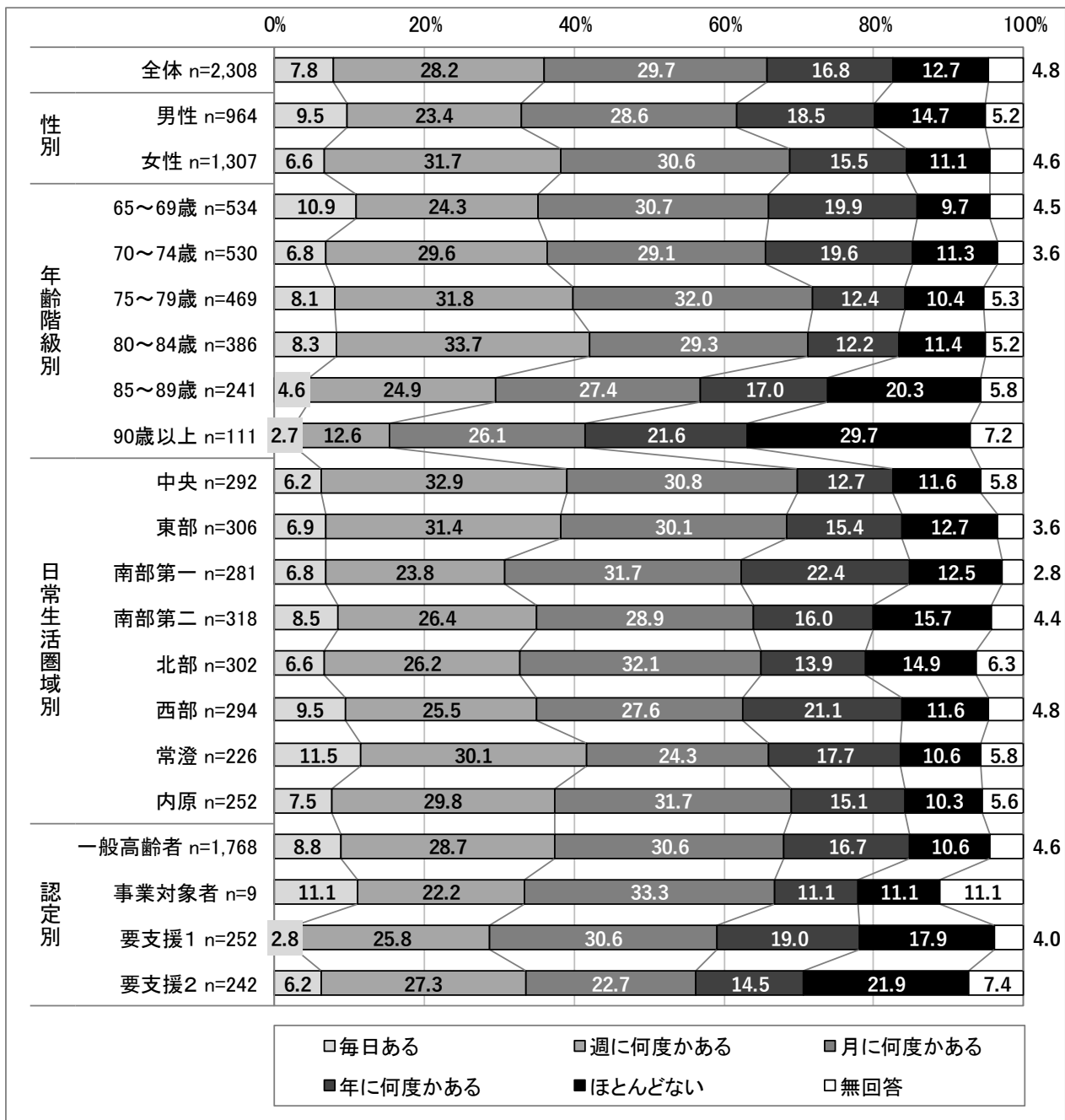
Q6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

友人・知人と会う頻度については、全体では「月に何度かある」が 29.7%で最も高く、次いで「週に何度かある」が 28.2%、「年に何度かある」が 16.8%、「ほとんどない」が 12.7%となっています。

性別でみると、「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた『よく知っている』は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『よく知っている』の割合は、80～84歳が最も高く、次いで75～79歳、65～69歳となっています。

日常生活圏域でみると、『よく知っている』の割合は、常澄が最も高くなっています。



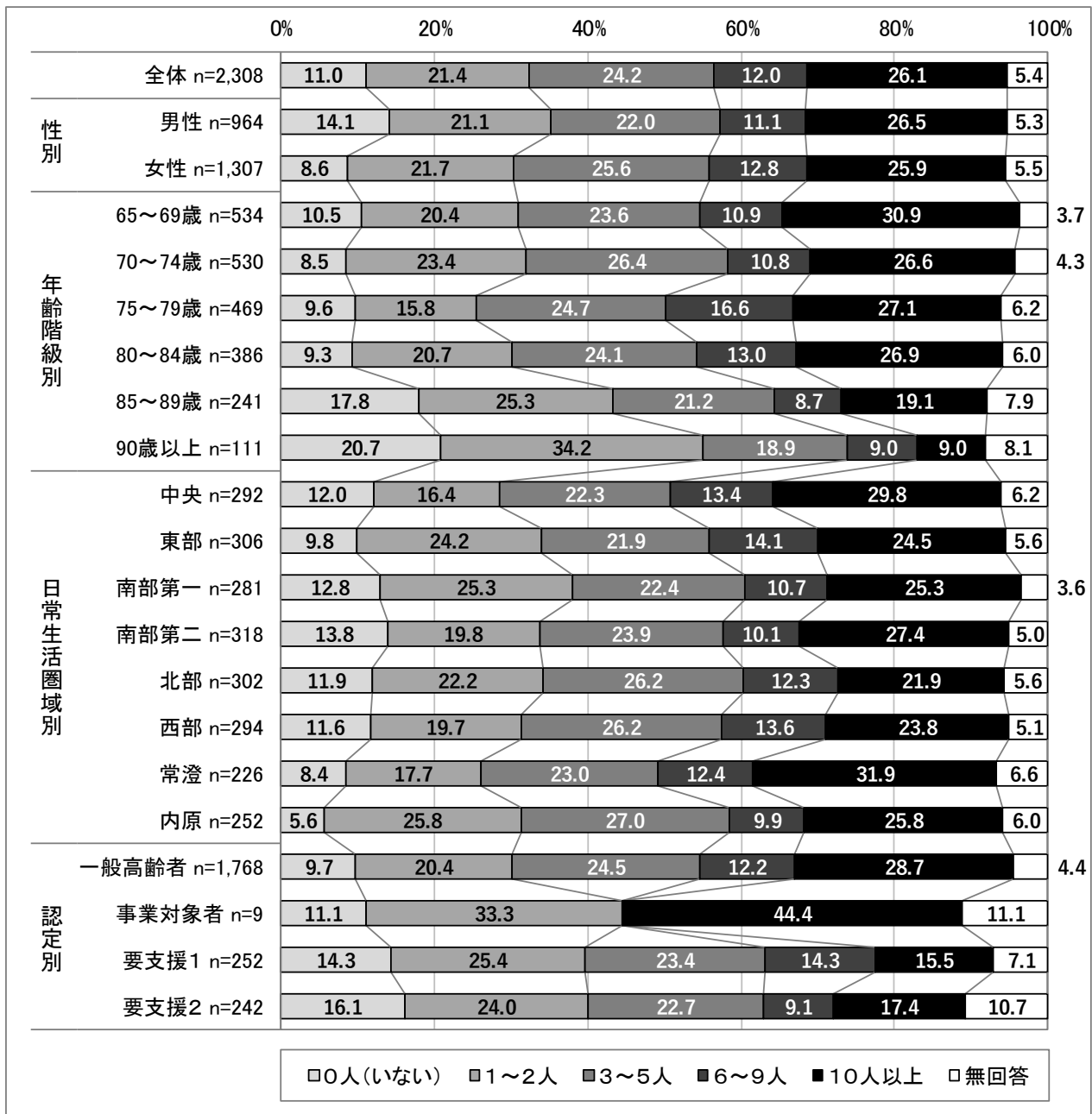
Q7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、全体では「10人以上」が26.1%で最も高く、次いで「3～5人」が24.2%、「1～2人」が21.4%、「6～9人」が12.0%となっています。

性別でみると、「0人（いない）」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「0人（いない）」は、90歳以上が20.7%で最も高く、次いで85～89歳が17.8%、65～69歳が10.4%となっています。

日常生活圏域でみると、「0人（いない）」の割合は、南部第二が最も高くなっています。



Q8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

よく会う友人・知人の関係性については、全体では「近所・同じ地域の人」が47.4%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が36.7%、「仕事での同僚・元同僚」が29.0%となっています。

性別でみると、全体の結果と同じく、男性、女性ともに「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」の順で割合が高くなっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「仕事での同僚・元同僚」、「趣味や関心が同じ友人」が減少しています。

日常生活圏域でみると、「いない」の割合は、南部第二が最も高くなっています。



7. 健康について

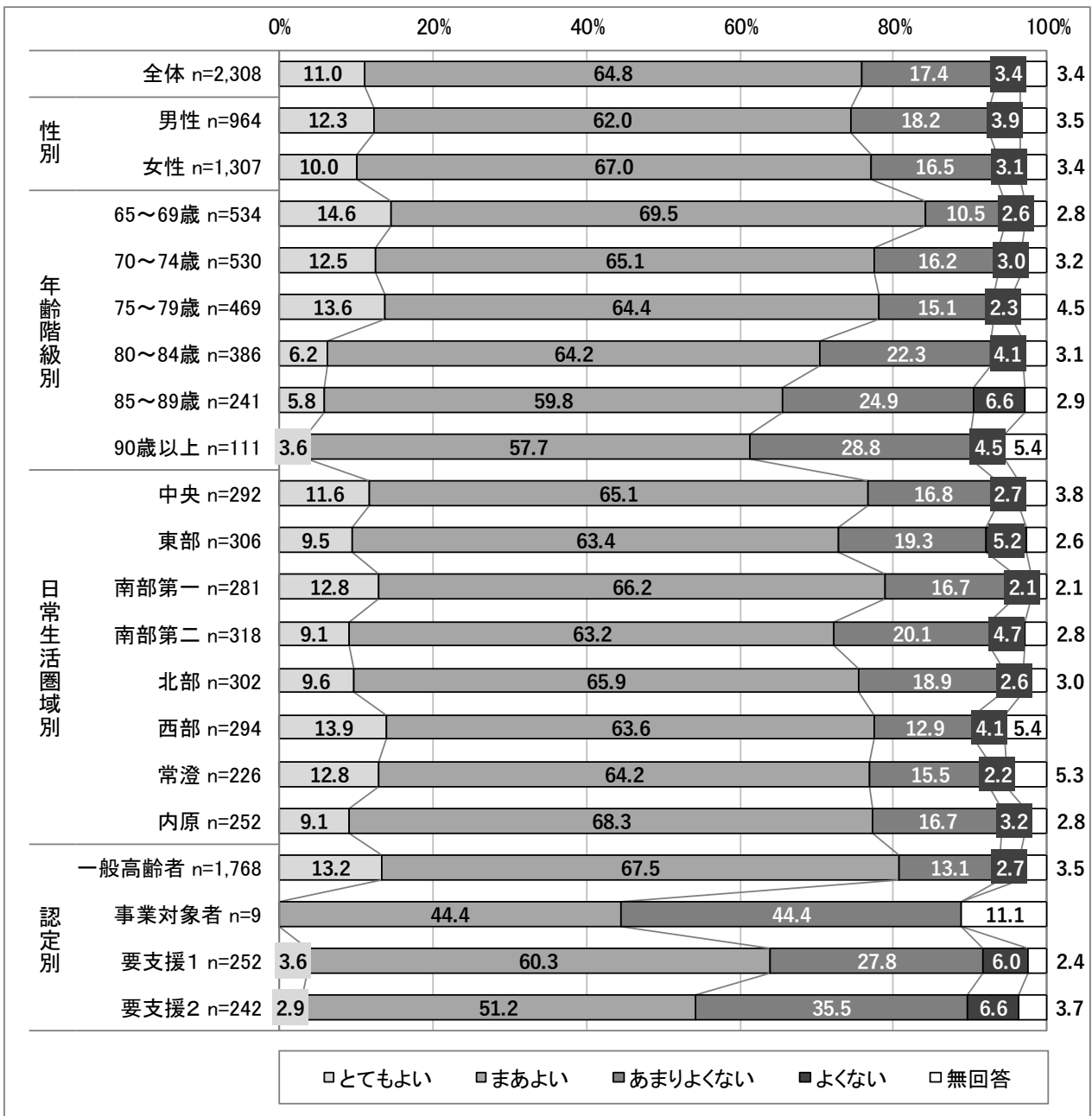
Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）

現在の健康状態については、全体では「まあよい」が64.8%で最も高く、次いで「あまりよくない」が17.4%、「とてもよい」が11.0%、「よくない」が3.4%となっています。

性別でみると、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『よくない』は、90歳以上が33.3%で最も高く、次いで85～89歳が31.5%、80～84歳が26.4%となっています。

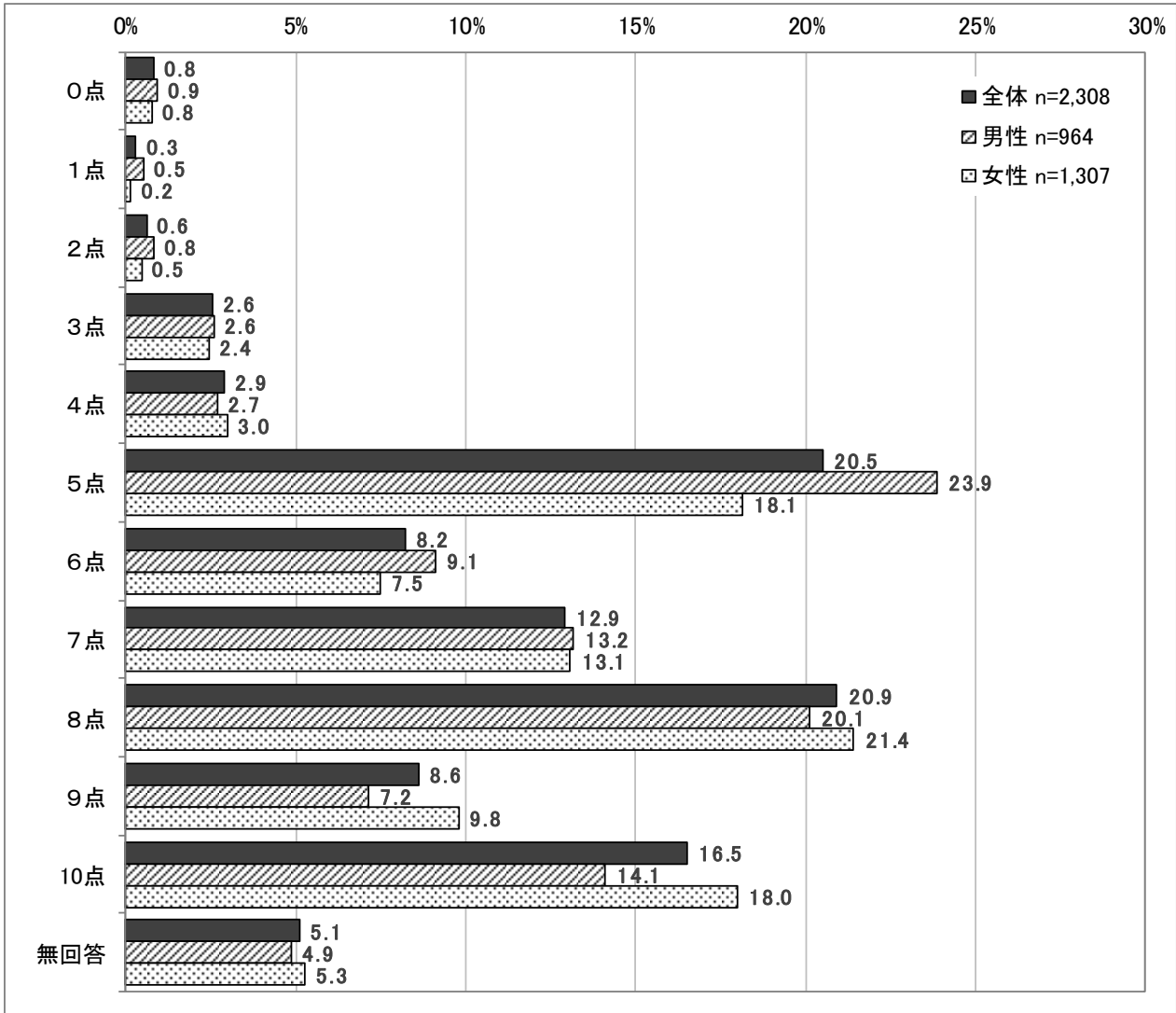
日常生活圏域別でみると、東部及び南部第二で『よくない』の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



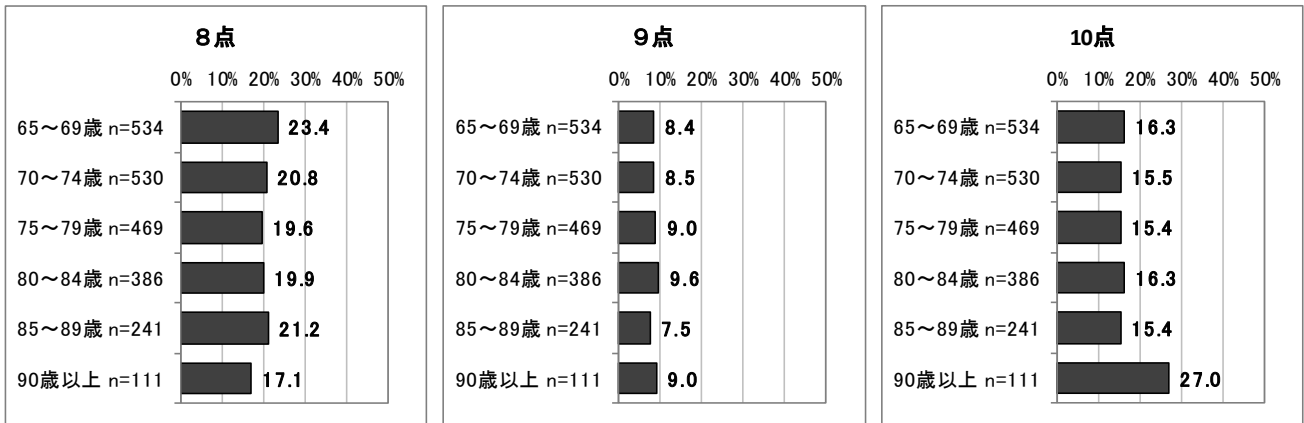
Q2. あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

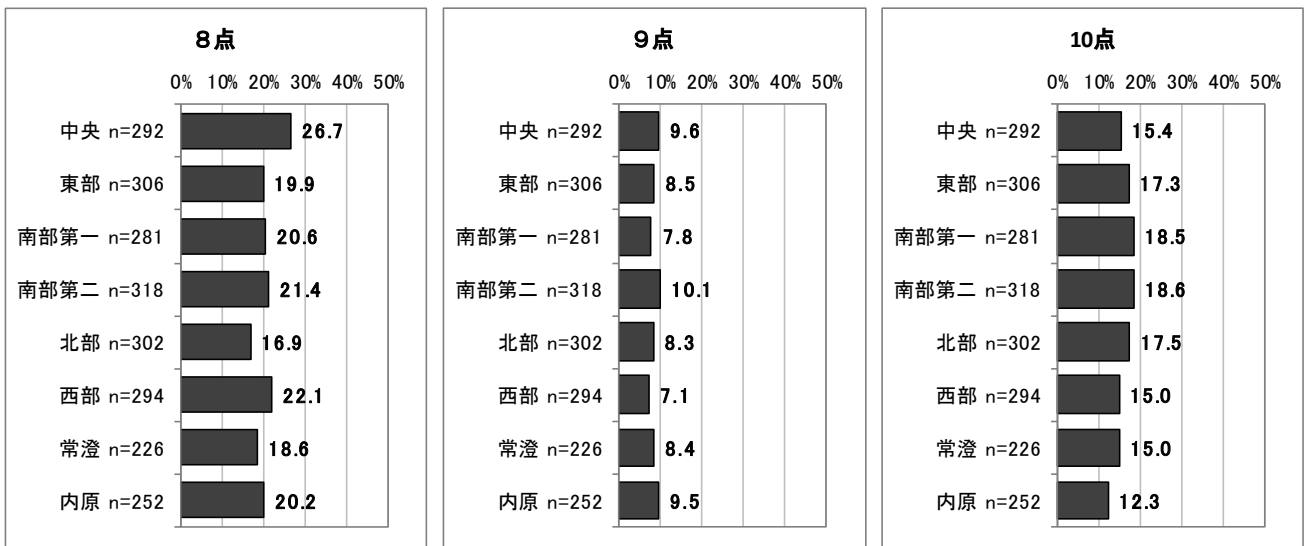
現在の幸福感については、全体では「8点」が20.9%で最も高く、次いで「5点」が20.5%、「10点」が16.5%、「7点」が12.9%、「9点」が8.6%となっています。「5点」～「10点」の合計値は87.7%となっています。



年齢階級別で見ると、幸福感が高いと判断できる「8点」～「10点」の合計値は、90歳以上が53.1%で最も高く、次いで65～69歳が48.1%、80～84歳が45.8%となっています。



日常生活圏域別で見ると、幸福感が高いと判断できる「8点」～「10点」の合計値は、中央が53.1%で最も高く、次いで南部第二が50.1%、南部第一が46.9%となっています。



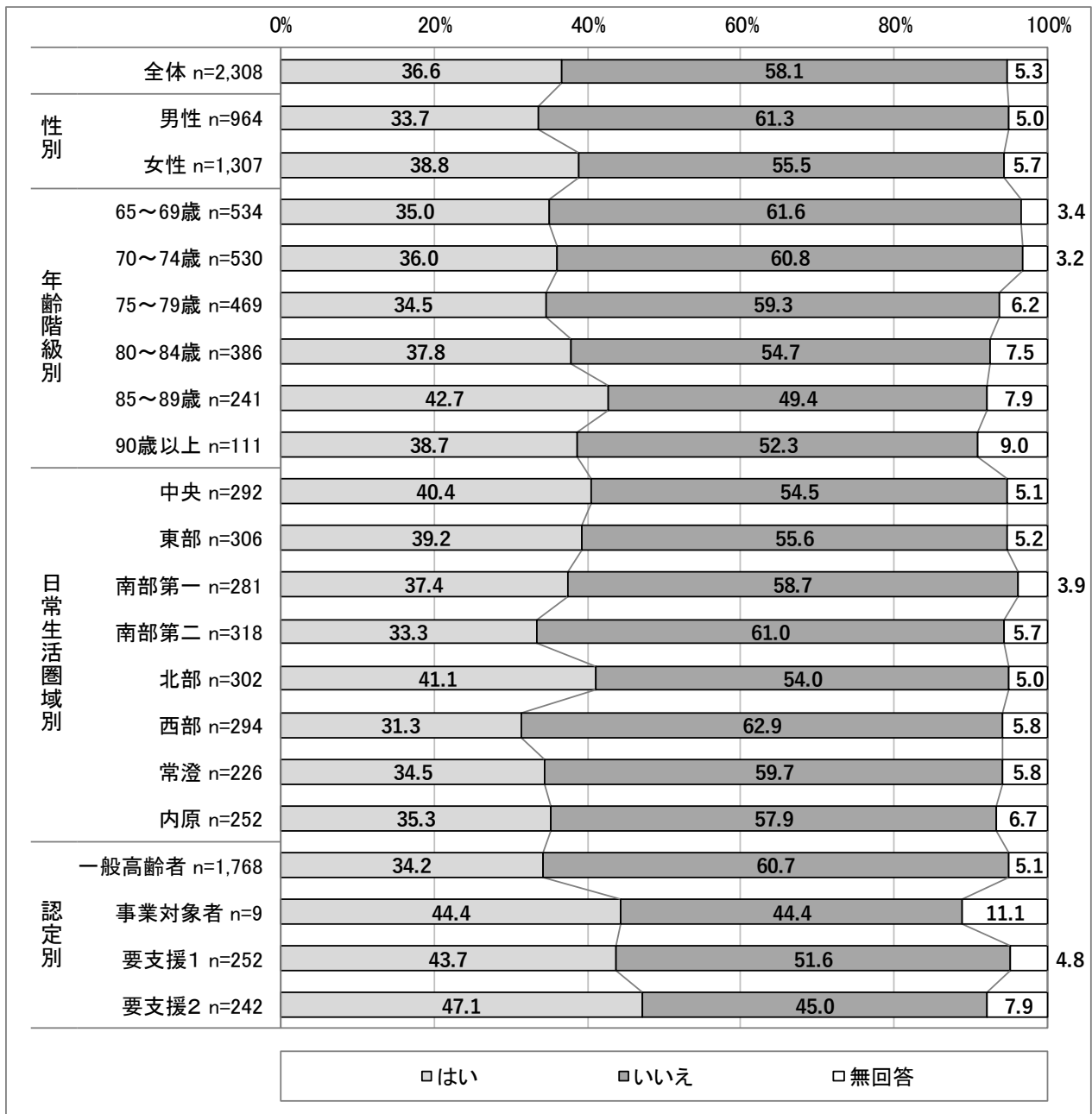
**Q3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(1つのみ)**

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、全体では「はい」が36.6%、「いいえ」が58.1%となっています。

性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が42.7%で最も高く、次いで90歳以上が38.7%、80～84歳が37.8%となっています。

日常生活圏域別でみると、北部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

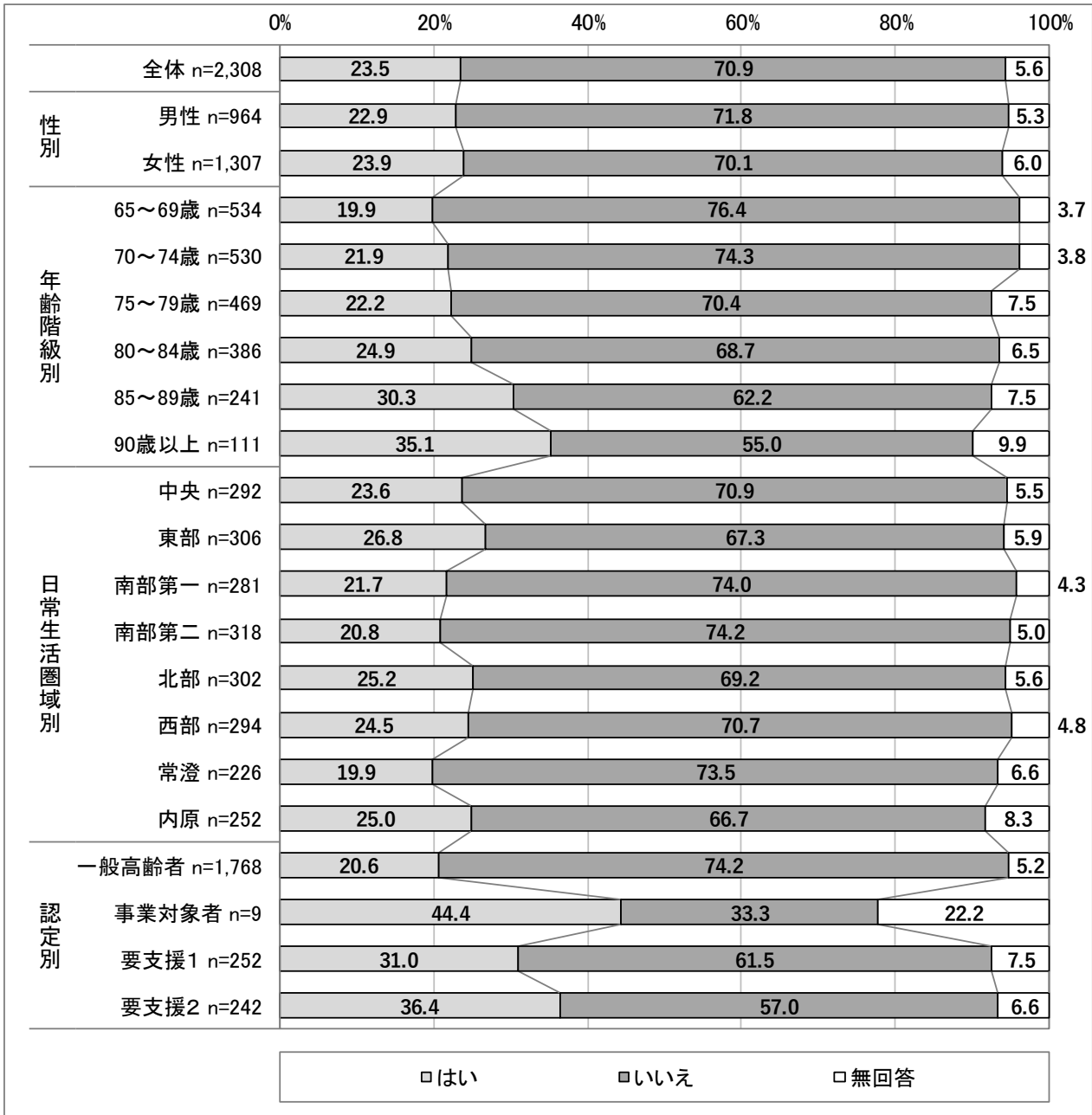


Q4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つのみ）

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、全体では「はい」が23.5%、「いいえ」が70.9%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が35.1%で最も高く、次いで85～89歳が30.3%、80～84歳が24.9%となっています。

日常生活圏域別でみると、東部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



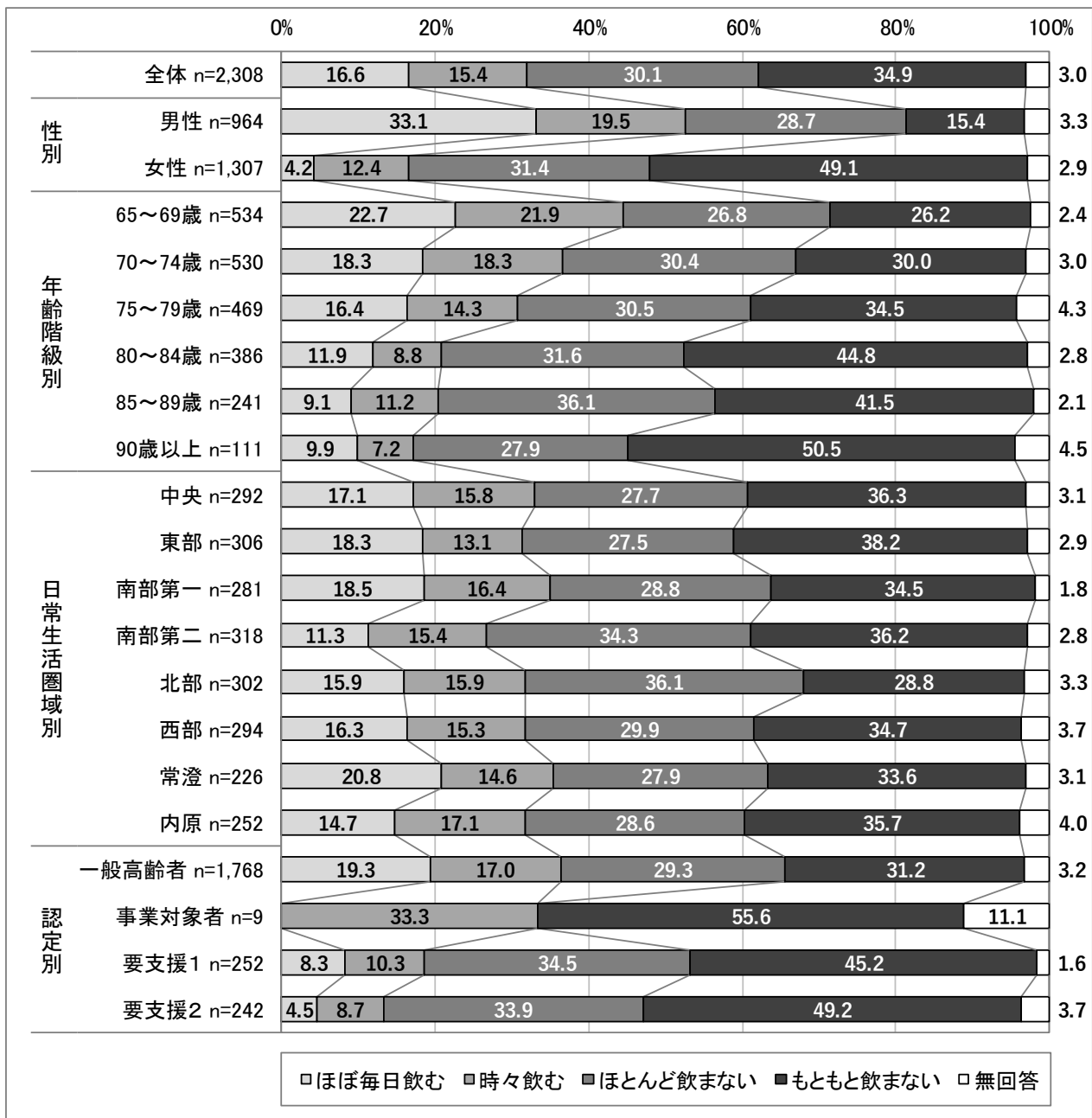
Q5. お酒は飲みますか（1つのみ）

飲酒状況については、全体では「もともと飲まない」が 34.9%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 30.1%、「ほぼ毎日飲む」が 16.6%、「時々飲む」が 15.4%となっています。

性別でみると、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、『飲む』は、65～69歳が 44.6%で最も高く、次いで70～74歳が 36.6%、75～79歳が 30.7%となっています。

日常生活圏域別でみると、南部第一及び常澄で『飲む』の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



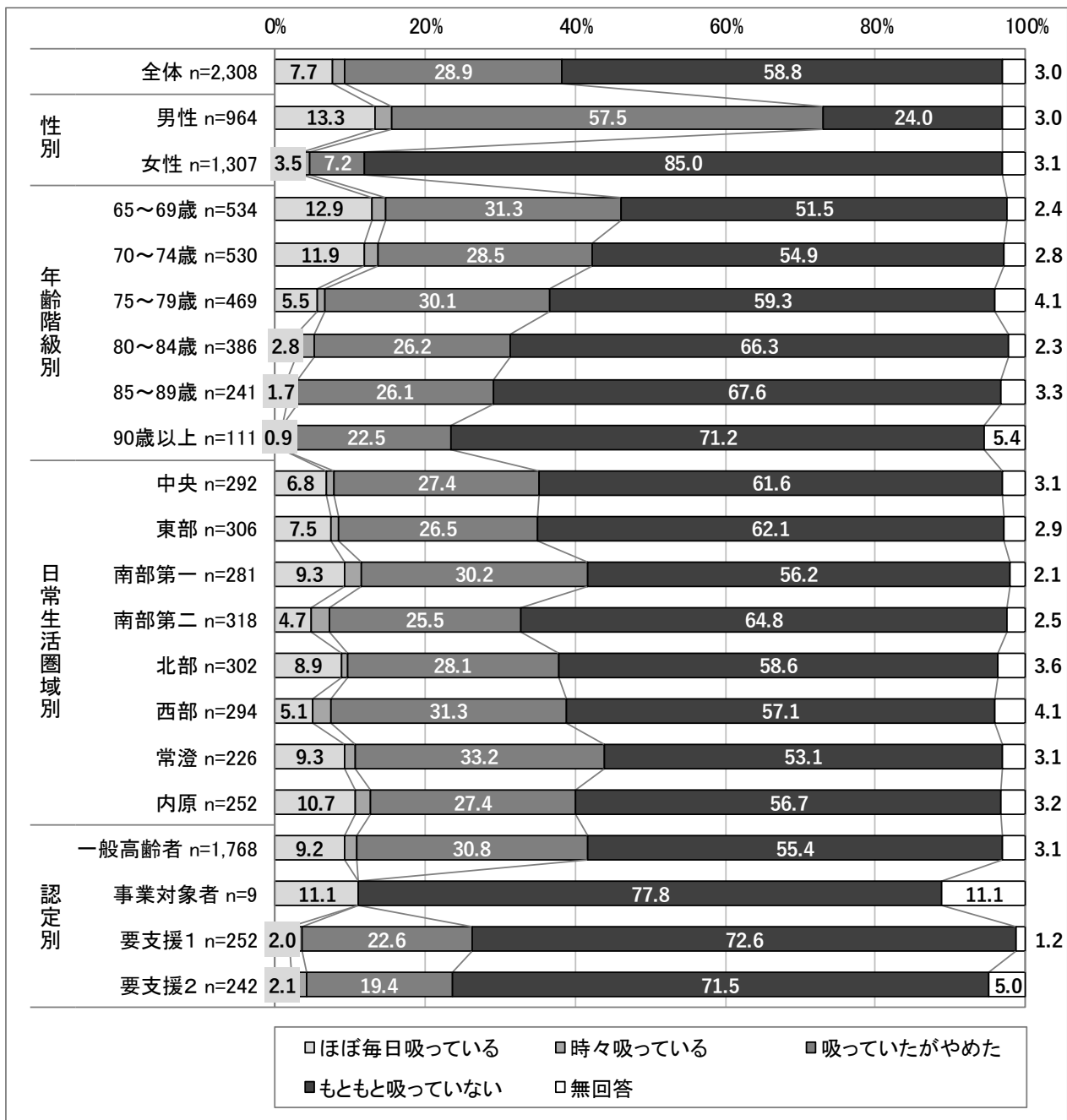
Q6. タバコは吸っていますか（1つのみ）

喫煙状況については、全体では「もともと吸っていない」が 58.8%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 28.9%、「ほぼ毎日吸っている」が 7.7%となっています。

性別でみると、「ほぼ毎日吸っている」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「ほぼ毎日吸っている」は、65～69歳が 12.9%で最も高く、次いで70～74歳が 11.9%、75～79歳が 5.5%となっています。

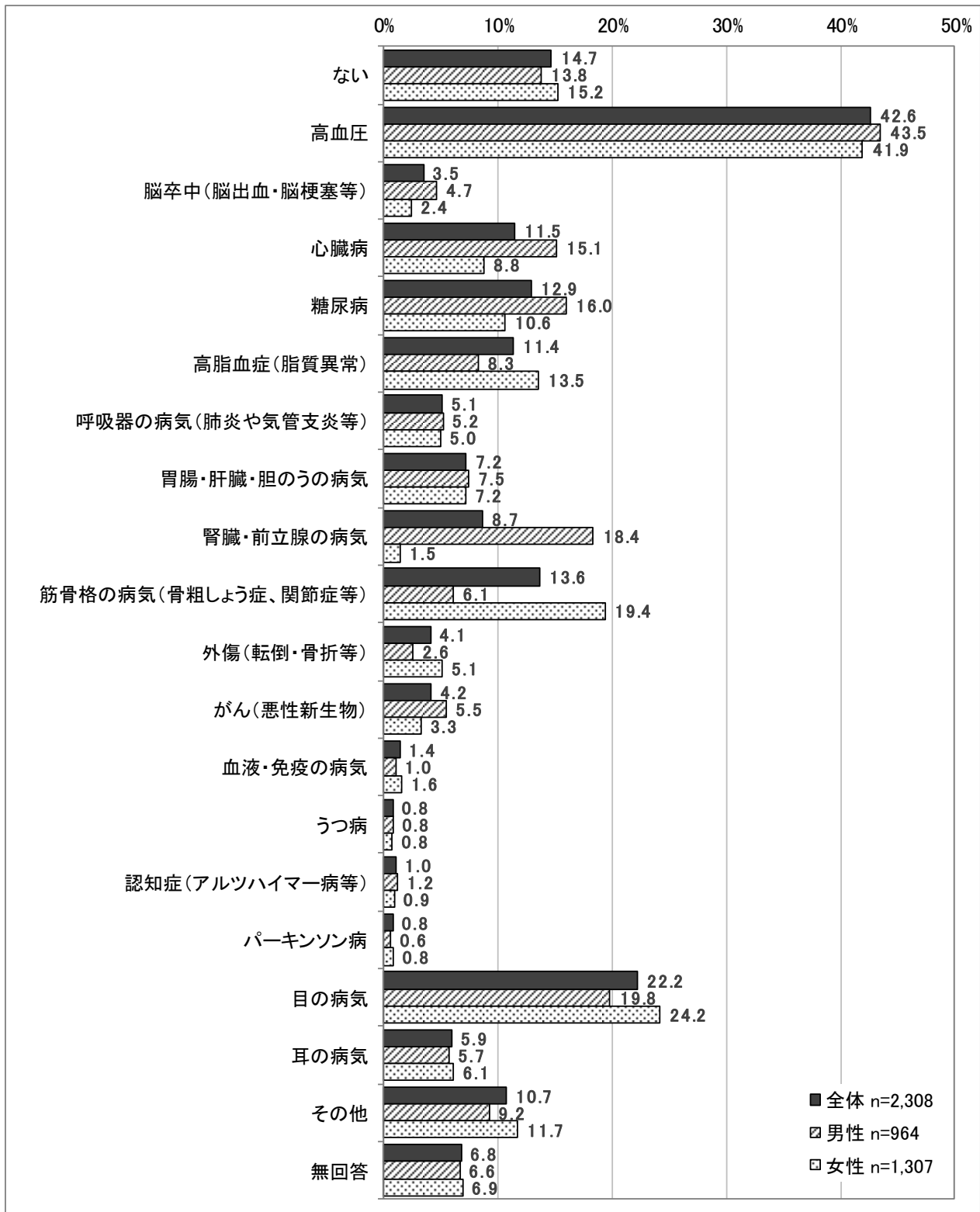
日常生活圏域別でみると、内原で「ほぼ毎日吸っている」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



Q7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、全体では「高血圧」が42.6%で最も高く、次いで「目の病気」が22.2%、「ない」が14.7%となっています。

性別で見ると、男性では、「高血圧」が43.5%で最も高く、次いで「目の病気」が19.8%、「腎臓・前立腺の病気」が18.4%となっています。女性では、「高血圧」が41.9%で最も高く、次いで「目の病気」が24.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が19.4%となっています。



8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

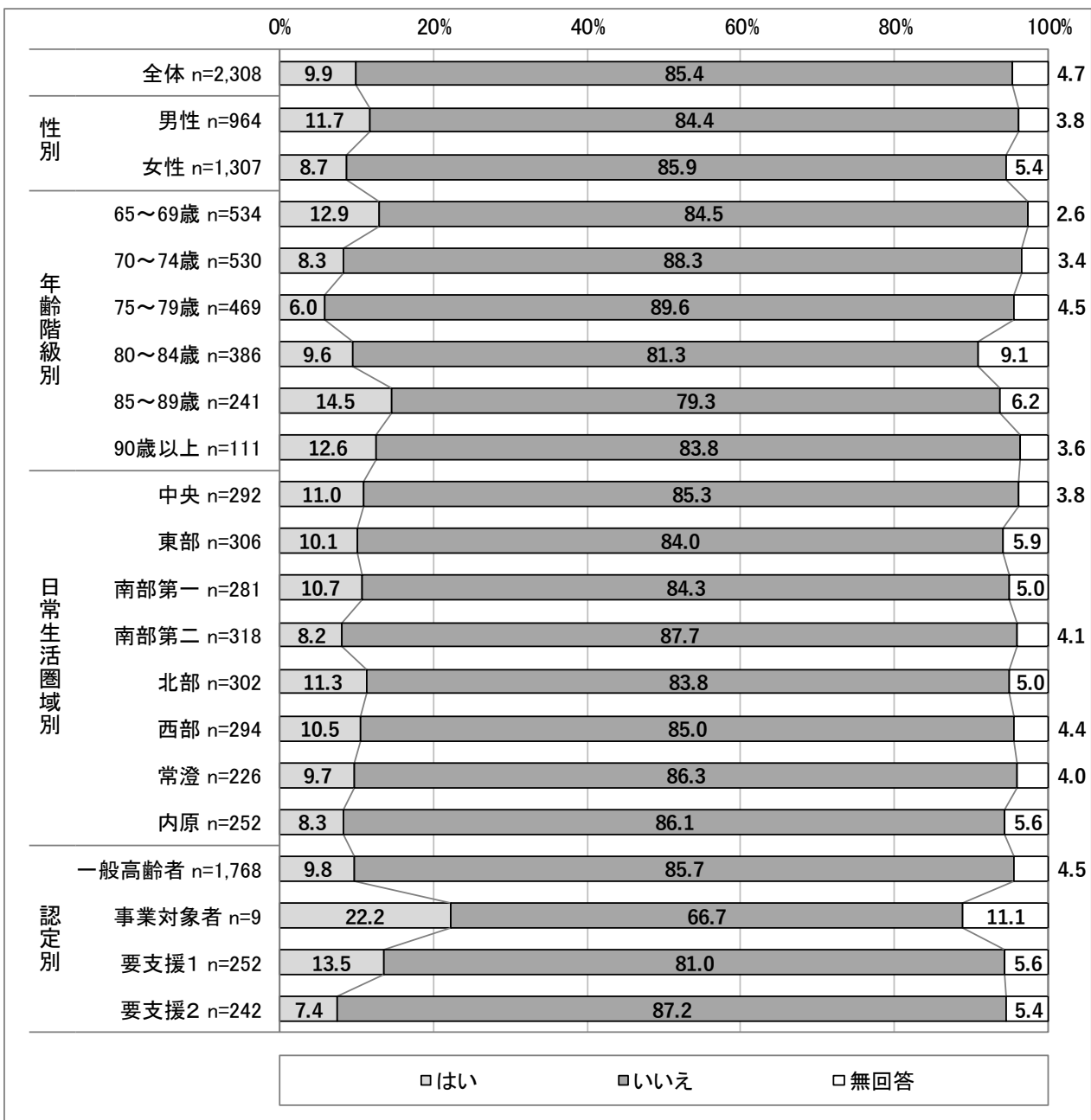
Q1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つのみ）

認知症の症状の有無又は家族に認知症の症状があるかについては、全体では「はい」が9.9%、「いいえ」が85.4%となっています。

性別でみると、「はい」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が14.5%で最も高く、次いで65～69歳が12.9%、90歳以上が12.6%となっています。

日常生活圏域別でみると、中央及び北部で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



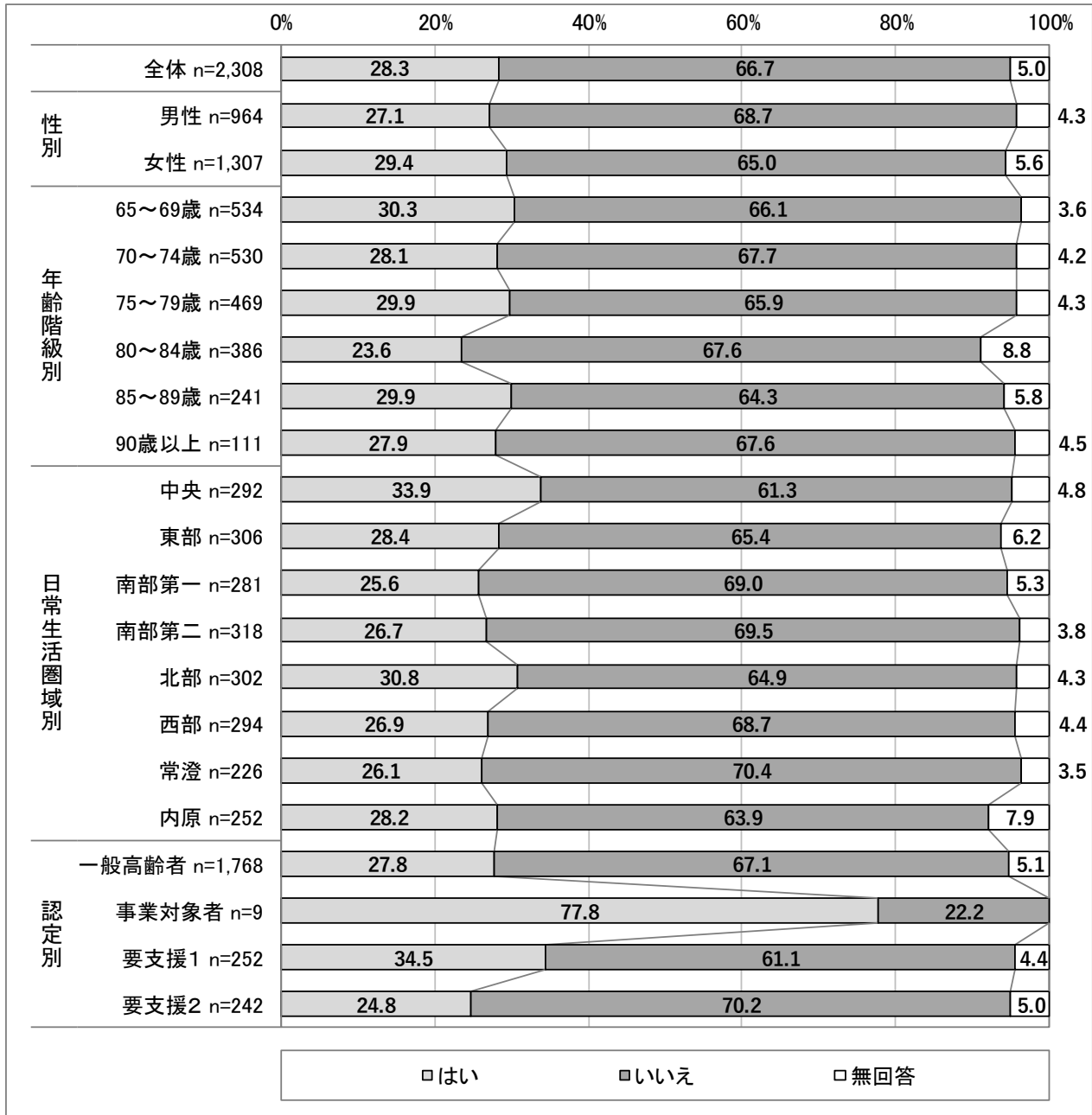
Q2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つのみ）

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、全体では「はい」が28.3%、「いいえ」が66.7%となっています。

性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「はい」は、65～69歳が30.3%で最も高く、次いで75～79歳、85～89歳がともに29.9%、70～74歳が28.1%となっています。

日常生活圏域別でみると、中央で「はい」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。

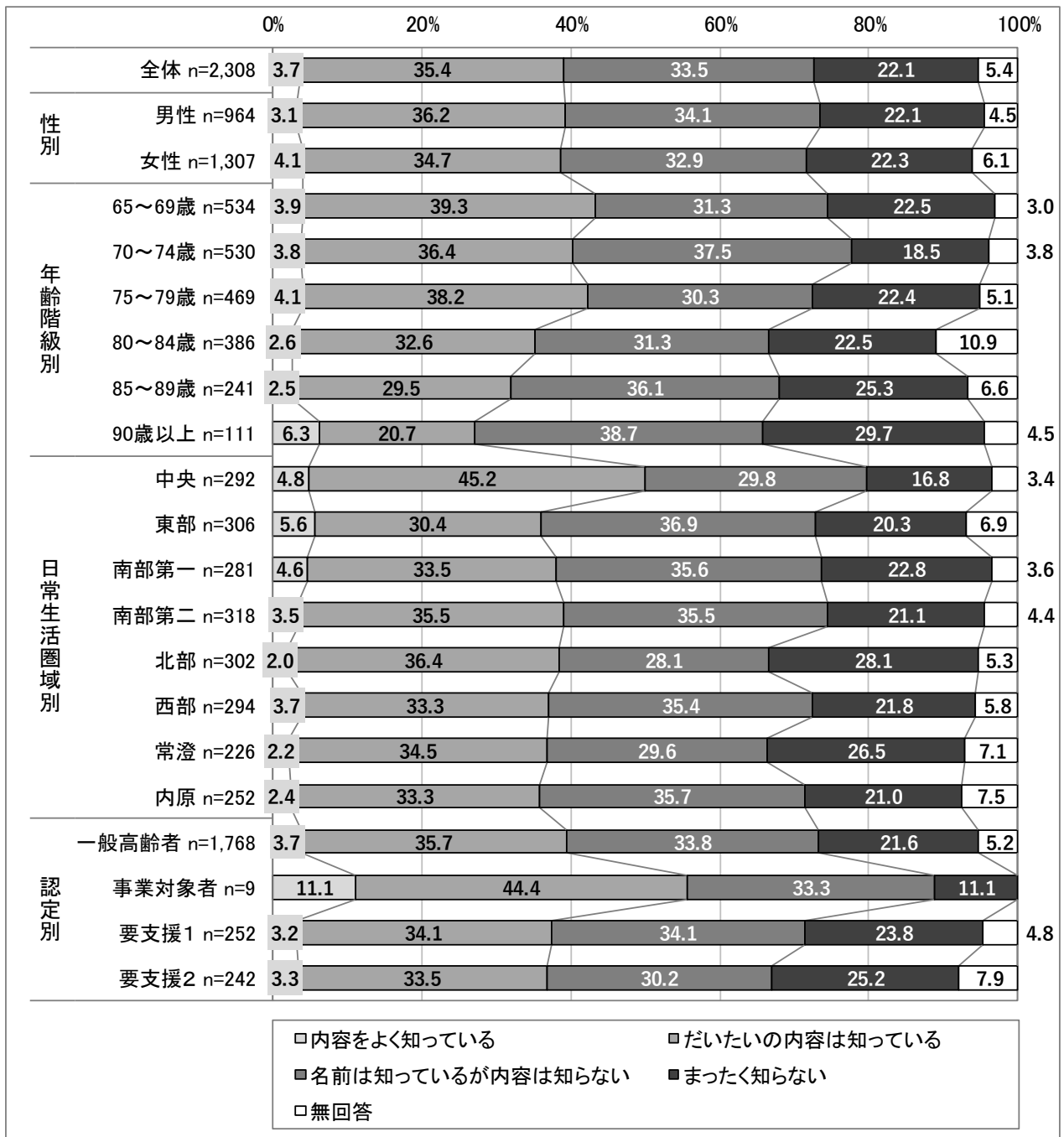


9. 成年後見制度について

Q1. 成年後見制度を知っていますか（1つのみ）

成年後見制度の認知度については、全体では「だいたいの内容は知っている」が35.4%で最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」が33.5%、「まったく知らない」が22.1%、「内容をよく知っている」が3.7%となっています。

年齢階級別でみると、「名前は知っているが内容は知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は、90歳以上が68.4%で最も高く、次いで85～89歳が61.4%、70～74歳が56.0%となっています。



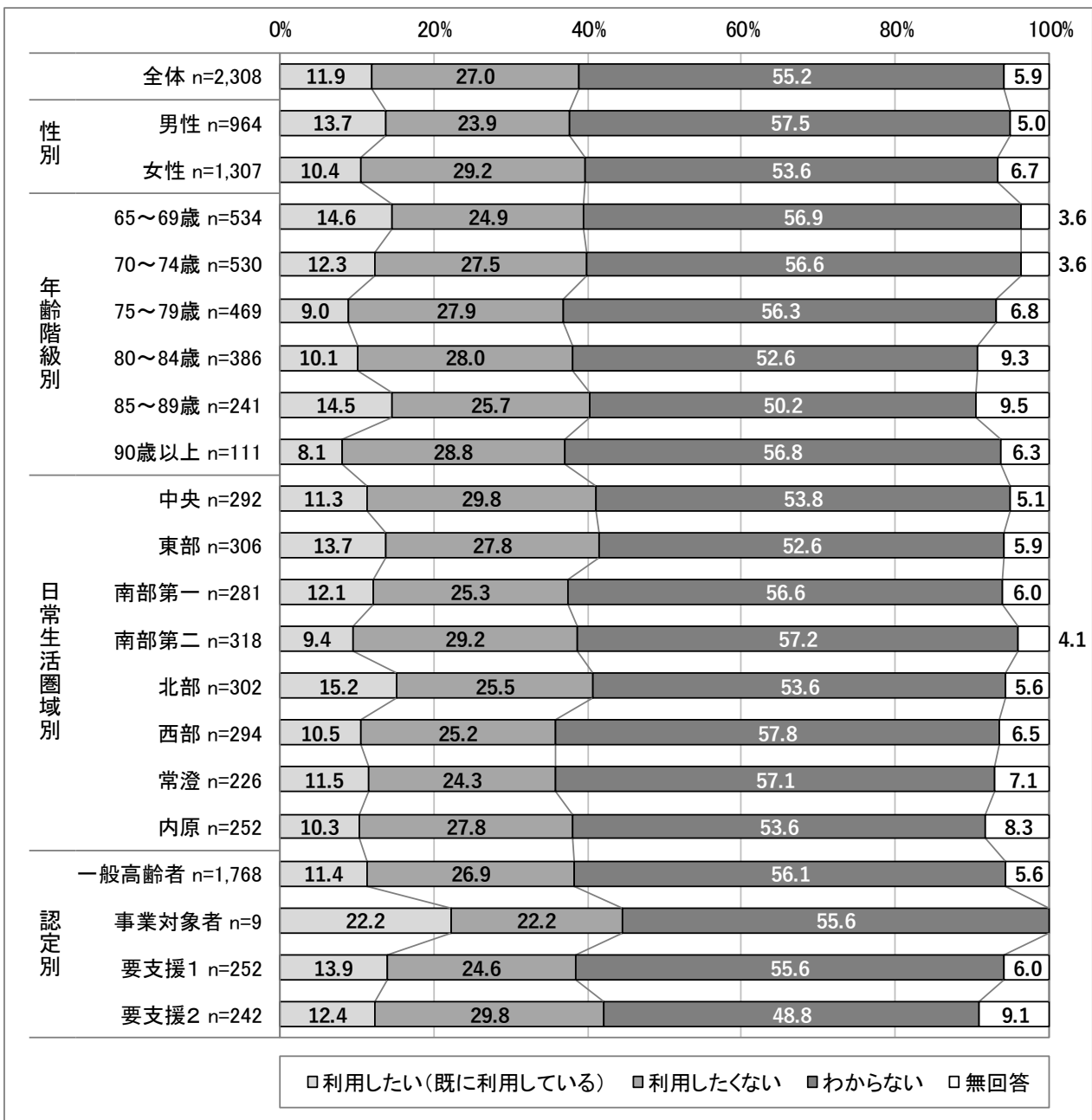
Q2. あなたが認知症などによって物事を判断する能力が十分でなくなった場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか（1つのみ）

成年後見制度の利用希望については、全体では「わからない」が55.2%で最も高く、次いで「利用したくない」が27.0%、「利用したい（既に利用している）」が11.9%となっています。

性別でみると、「利用したい（既に利用している）」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「利用したい（既に利用している）」は、65～69歳が14.6%で最も高く、次いで85～89歳が14.5%、70～74歳が12.3%となっています。

日常生活圏域別でみると、北部で「利用したい（既に利用している）」の割合が他の圏域と比べて若干高くなっています。



第Ⅲ部 生活機能判定結果

1. 介護予防のための生活機能判定結果

今回実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、介護予防のための生活機能を評価する項目が設けられており、調査項目の回答結果をもとに、各機能を評価することができます。さらには、これらの各機能の評価をもとに、事業対象者に該当するか判断できます。

○各機能の評価項目

項目	評価方法	設問番号
生活機能	生活機能判定項目（後述参照）で、うつに関する2項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合、生活機能の該当者と判定する。	問4 Q4、Q5、Q8、Q13、Q14
運動機能	生活機能判定項目6～10の5項目のうち、3項目以上に該当した場合、運動機能の該当者と判定する。	問2 Q1～Q5
栄養状態	以下の①かつ②に該当した場合、栄養状態の該当者と判定する。 ①生活機能判定項目11に該当 ②生活機能判定項目12でBMIが18.5未満	問3 Q1、Q8
口腔機能	生活機能判定項目13～15の3項目のうち、2項目以上に該当した場合、口腔機能の該当者と判定する。	問3 Q2～Q4
閉じこもり	生活機能判定項目16に該当した場合、閉じこもりの該当者と判定する。	問2 Q6、Q7
認知機能	生活機能判定項目18に該当した場合、認知機能の該当者と判定する。	問4 Q1～Q3
うつ	生活機能判定項目21～22の2項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの該当者と判定する。	問7 Q3、Q4
事業対象者	生活機能、運動機能、栄養状態、口腔機能、閉じこもり、認知機能、うつのいずれかに該当している場合、事業対象者と判定する。 ※本報告書では、生活機能、運動機能、栄養状態、口腔機能のいずれかに該当している場合の結果も掲載しています。	

○生活機能判定項目（22項目）

No.	質問項目	該当する回答
1	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	・できるだけしていない ・できない
2	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	・できるだけしていない ・できない
3	自分で預貯金の出し入れをしていますか	・できるだけしていない ・できない
4	友人の家を訪ねていますか	・いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	・いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	・できない
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	・できない
8	15分位続けて歩いていますか	・できない
9	過去1年間に転んだ経験がありますか	・何度もある ・1度ある
10	転倒に対する不安は大きいですか	・とても不安である ・やや不安である
11	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	・はい
12	身長 cm 体重 kg (BMI=)	・BMI=18.5 未満
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	・はい
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	・はい
15	口の渇きが気になりますか	・はい
16	週に1回以上は外出していますか	・ほとんど外出しない ・週1回
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	・とても減っている ・減っている
18	物忘れが多いと感じますか	・はい
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	・いいえ
20	今日が何月何日かわからないときがありますか	・はい
21	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	・はい
22	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	・はい

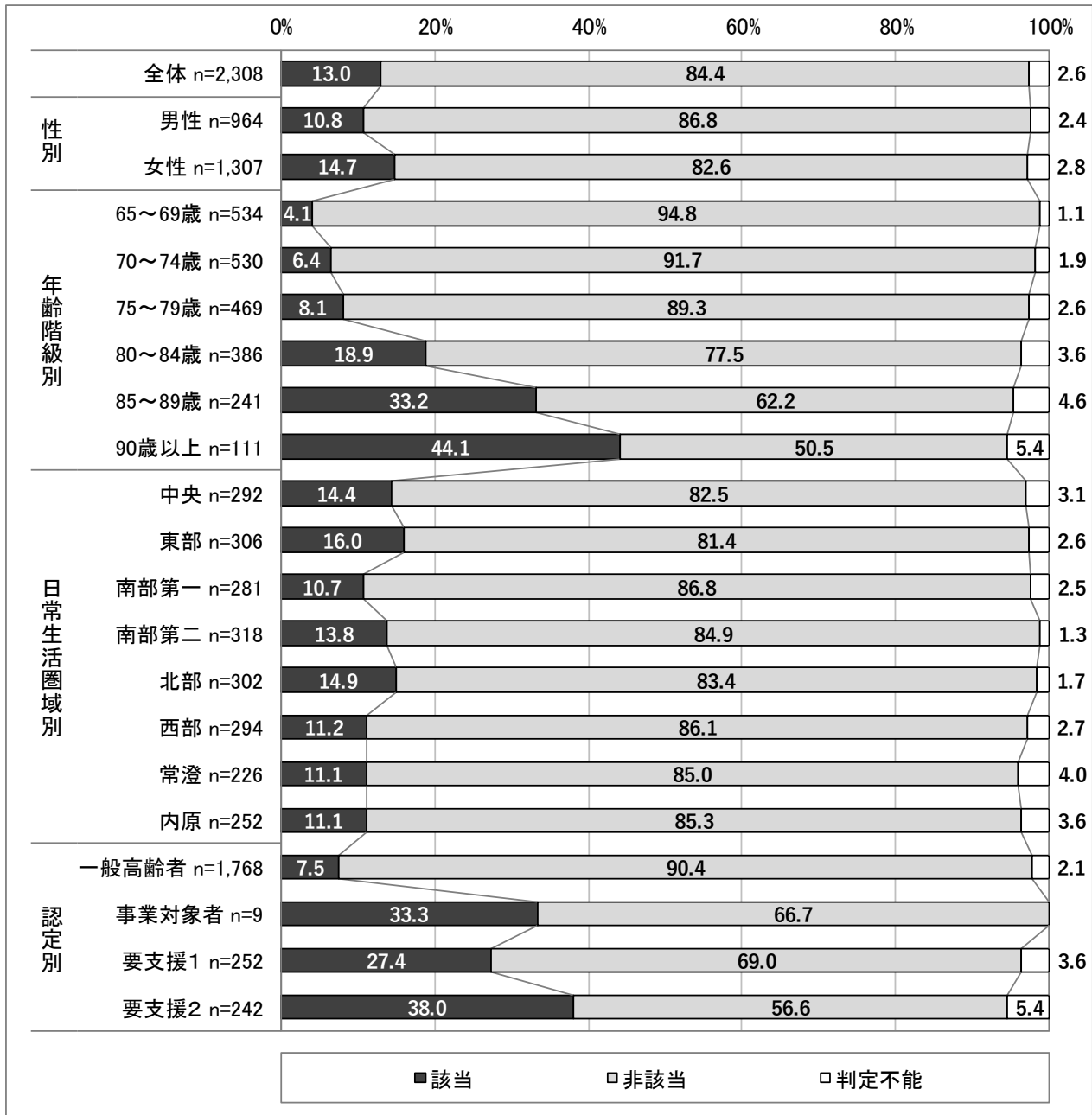
■生活機能

生活機能についての結果をみると、生活機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で13.0%となっています。

性別では、男性が10.8%、女性が14.7%で、女性が男性に比べ3.9ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、85歳以上では該当者が3割を超えています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、東部で16.0%、次いで北部で14.9%となっています。



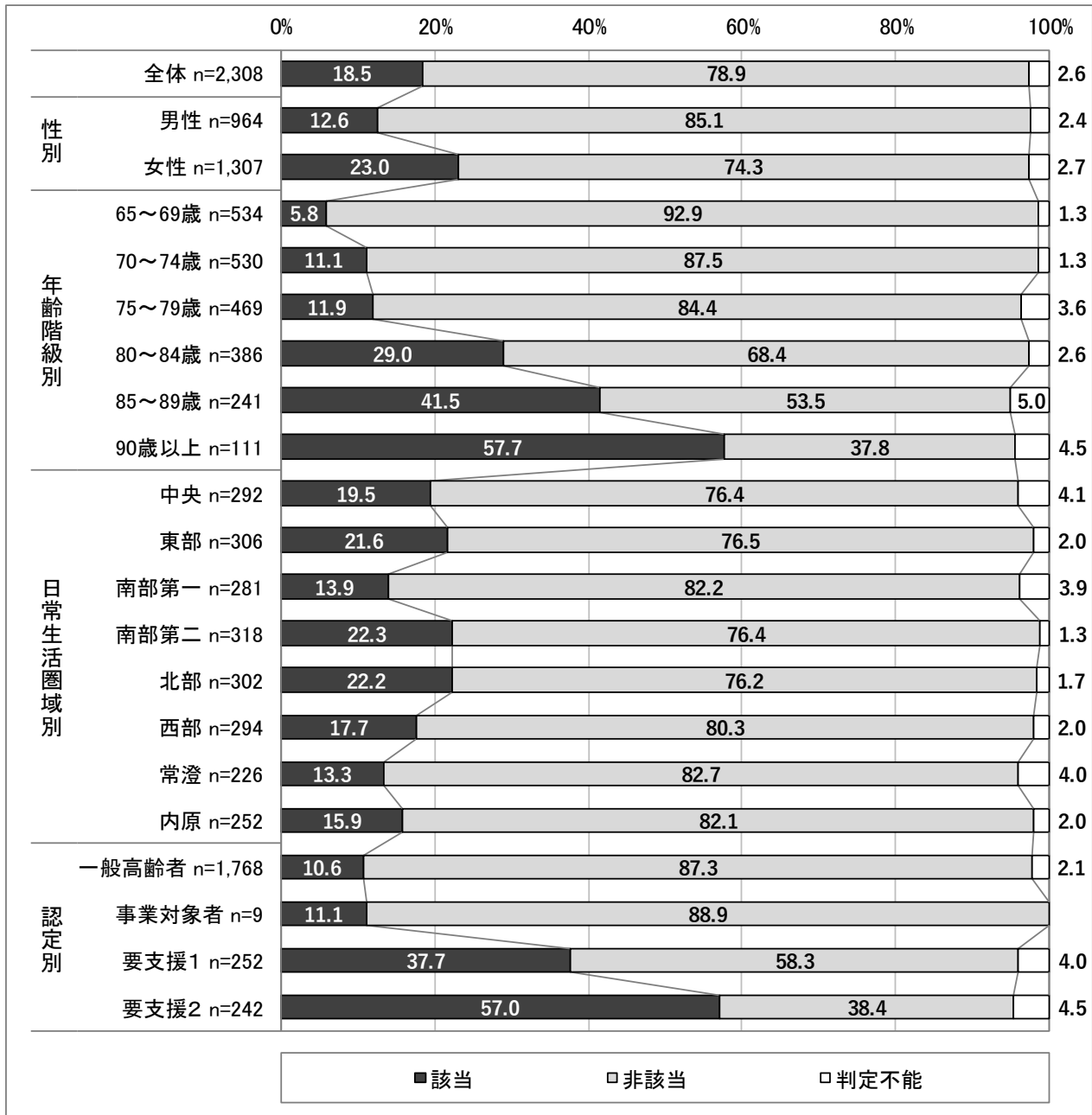
■運動機能

運動機能についての結果をみると、運動機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で18.5%となっています。

性別では、男性が12.6%、女性が23.0%で、女性が男性に比べ10.4ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、85歳以上では該当者が4割を超えています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、南部第二で22.3%、次いで北部で22.2%となっています。



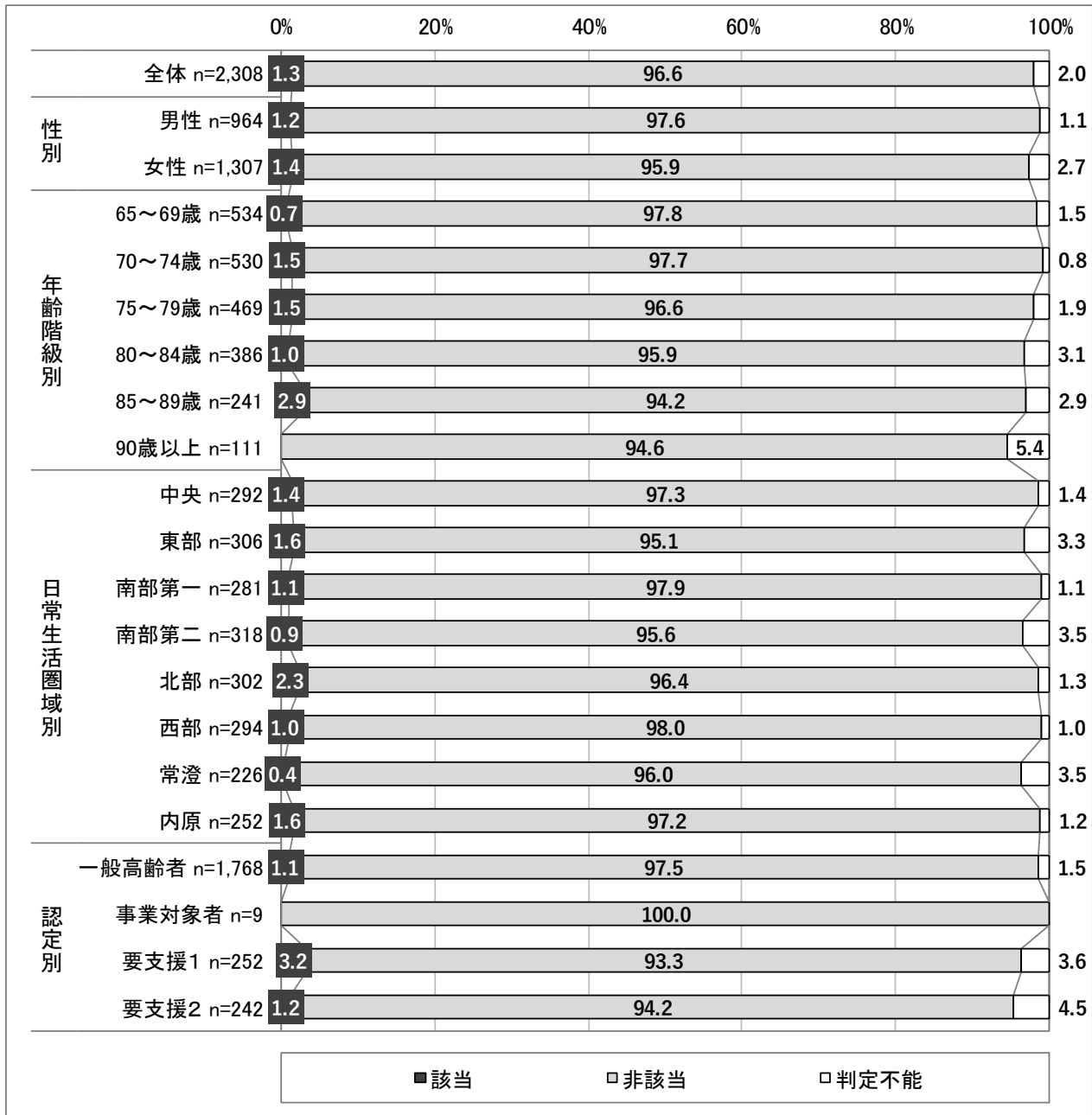
■栄養状態

栄養状態についての結果をみると、栄養状態に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で1.3%となっています。

性別では、男性が1.2%、女性が1.4%となっています。

年齢階級別では、該当者割合が最も高いのは、85～89歳で2.9%、次いで70～74歳、75～79歳がともに1.5%となっています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、北部で2.3%、次いで東部、内原がともに1.6%となっています。



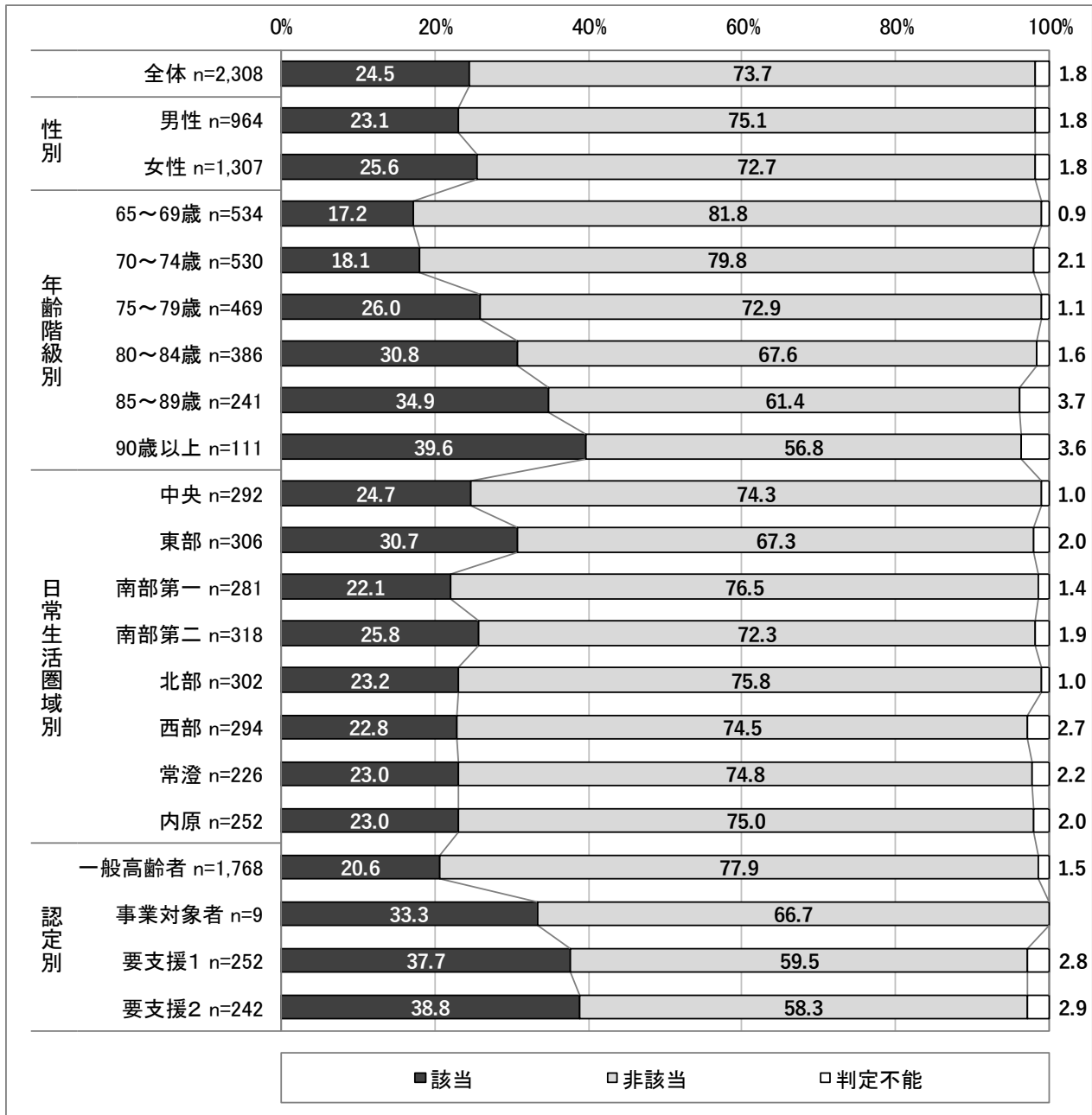
■口腔機能

口腔機能についての結果をみると、口腔機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で24.5%となっています。

性別では、男性が23.1%、女性が25.6%で、女性が男性に比べ2.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、80歳以上では該当者が3割を超えています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、東部で30.7%、次いで南部第二で25.8%となっています。



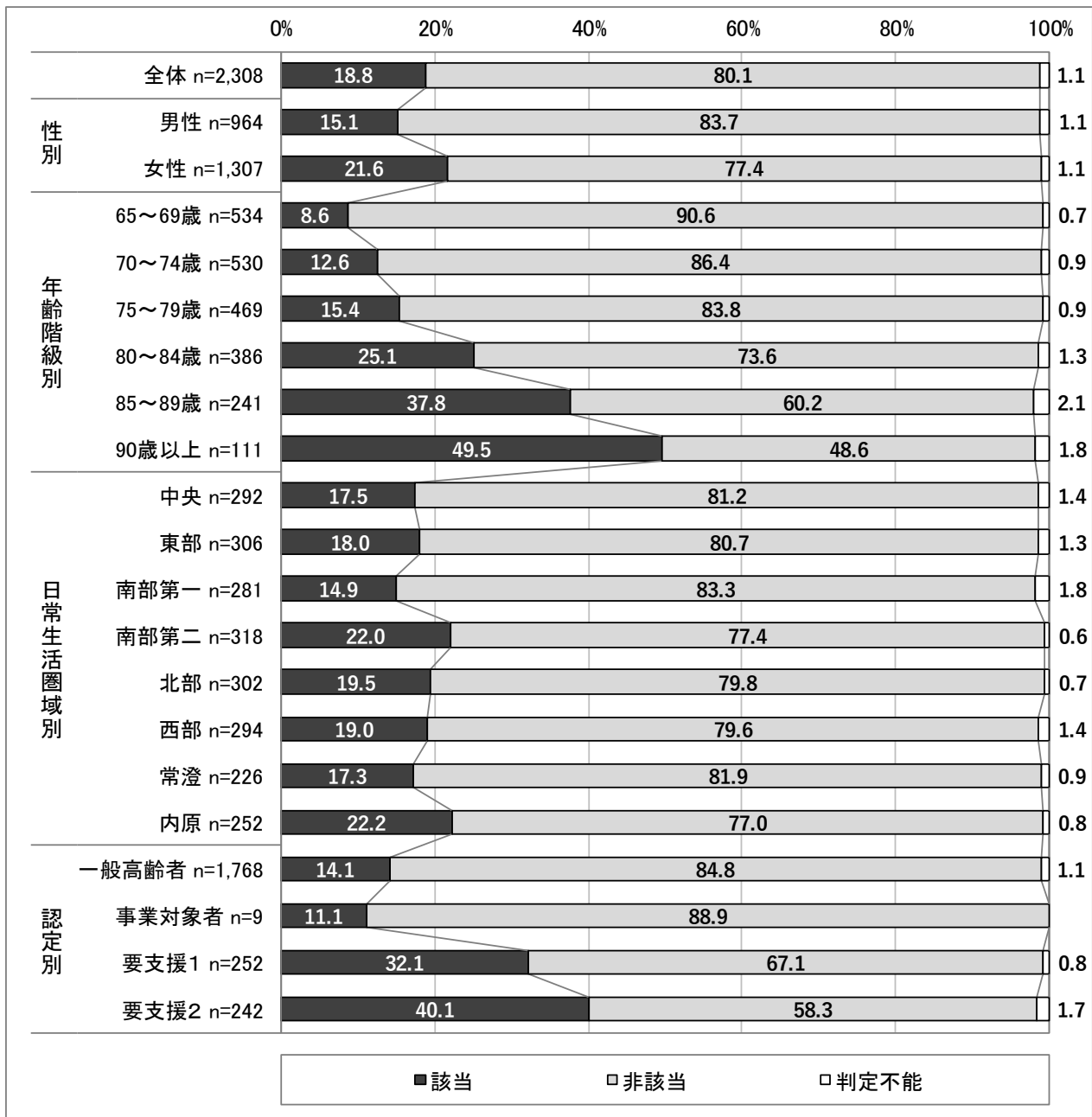
■閉じこもり

閉じこもりについての結果をみると、閉じこもりの傾向がみられると判定された方は、全体で18.8%となっています。

性別では、男性が15.1%、女性が21.6%で、女性が男性に比べ6.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、80歳以上では該当者が2割を超えています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、内原で22.2%、次いで南部第二で22.0%となっています。



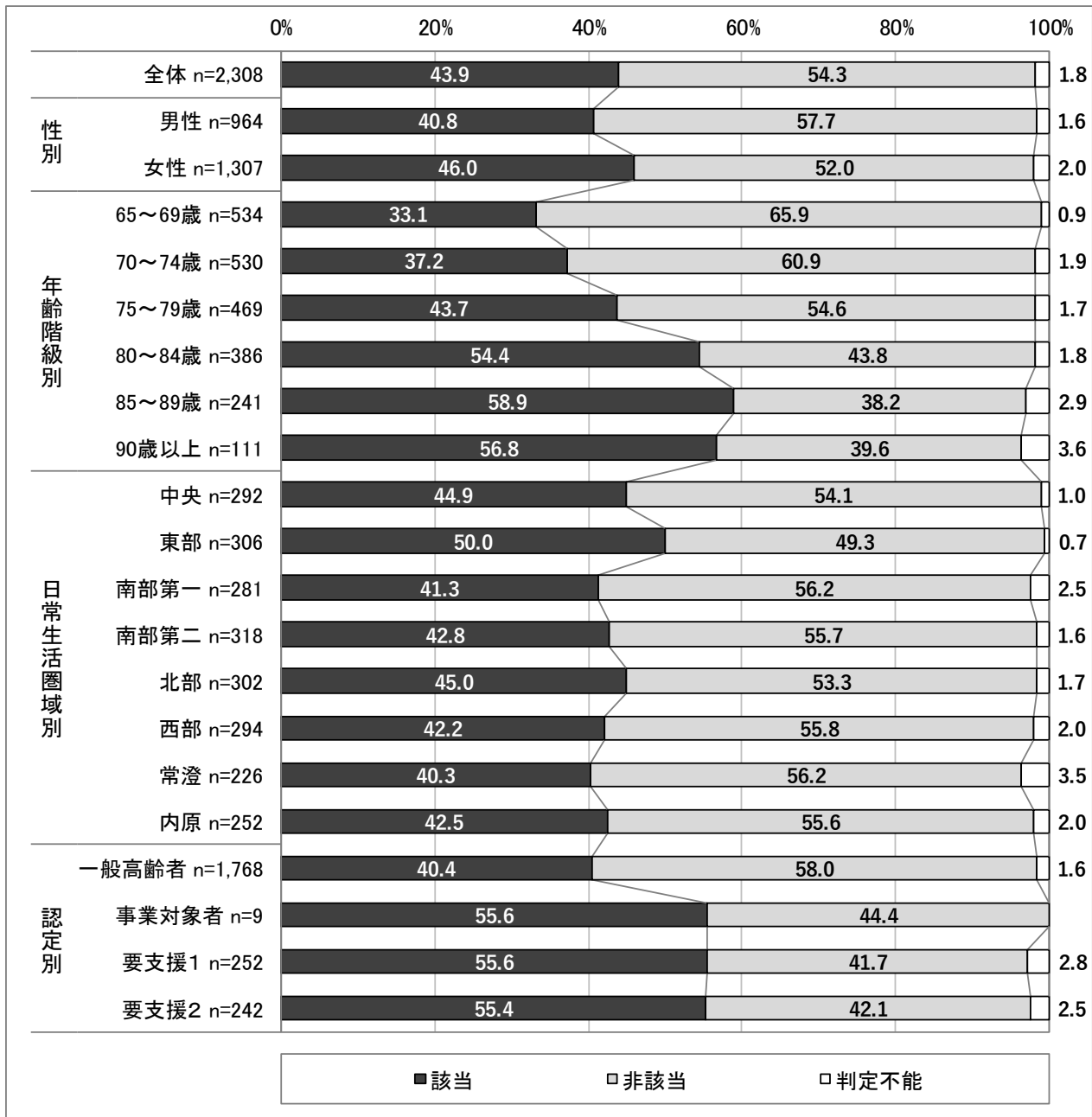
■認知機能

認知機能についての結果をみると、認知機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で43.9%となっています。

性別では、男性が40.8%、女性が46.0%で、女性が男性に比べ5.2ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～69歳で該当者が3割を超えており、80歳以上では5割を超えています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、東部で50.0%、次いで北部で45.0%となっています。



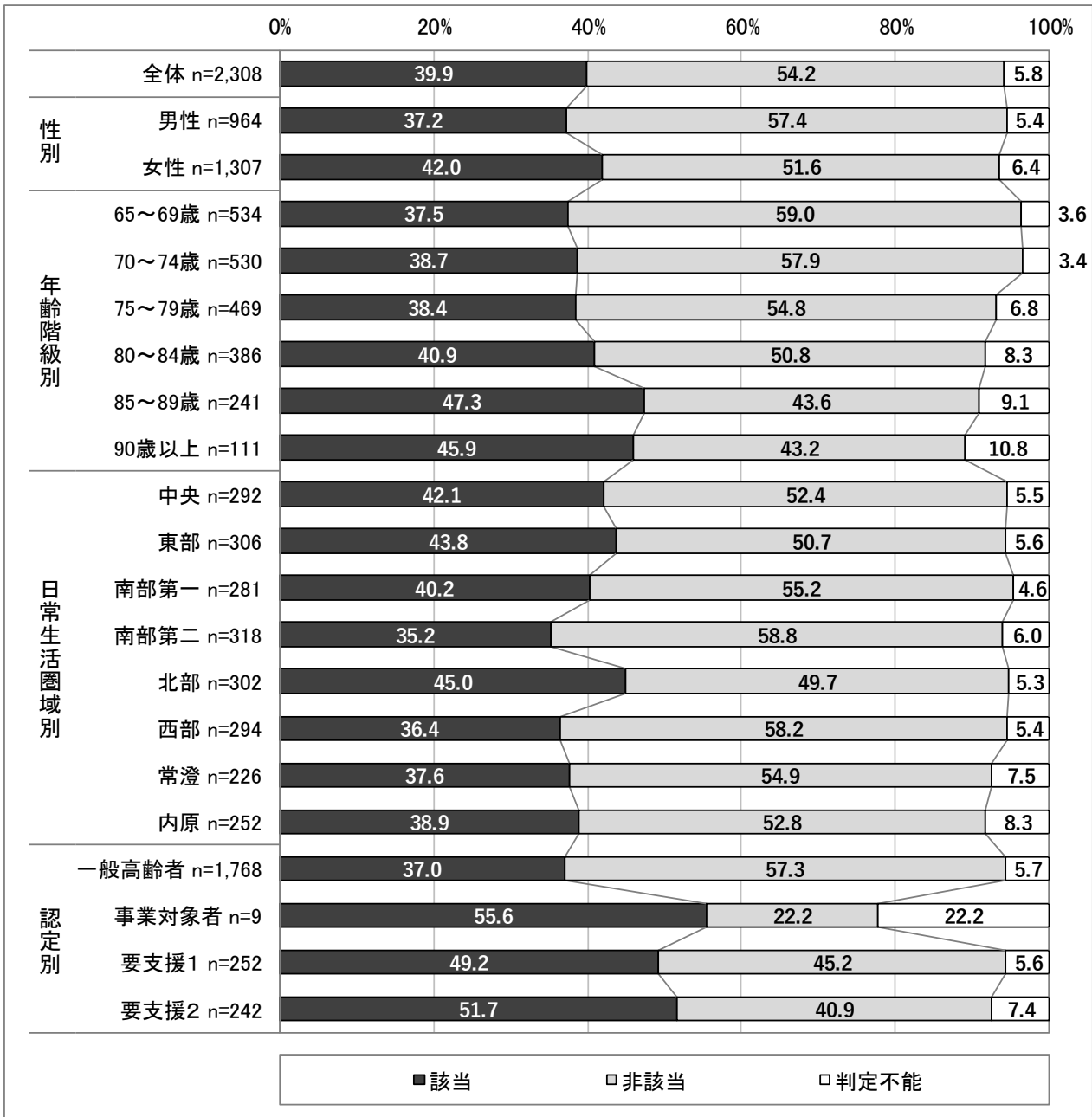
■うつ

うつについての結果をみると、うつの傾向がみられると判定された方は、全体で 39.9%となっています。

性別では、男性が 37.2%、女性が 42.0%で、女性が男性に比べ 4.8 ポイント上回っています。

年齢階級別では、該当者の割合が最も高いのは、85～89 歳で 47.3%、次いで 90 歳以上で 45.9%、80～84 歳で 40.9%となっています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、北部で 45.0%、次いで東部で 43.8%となっています。



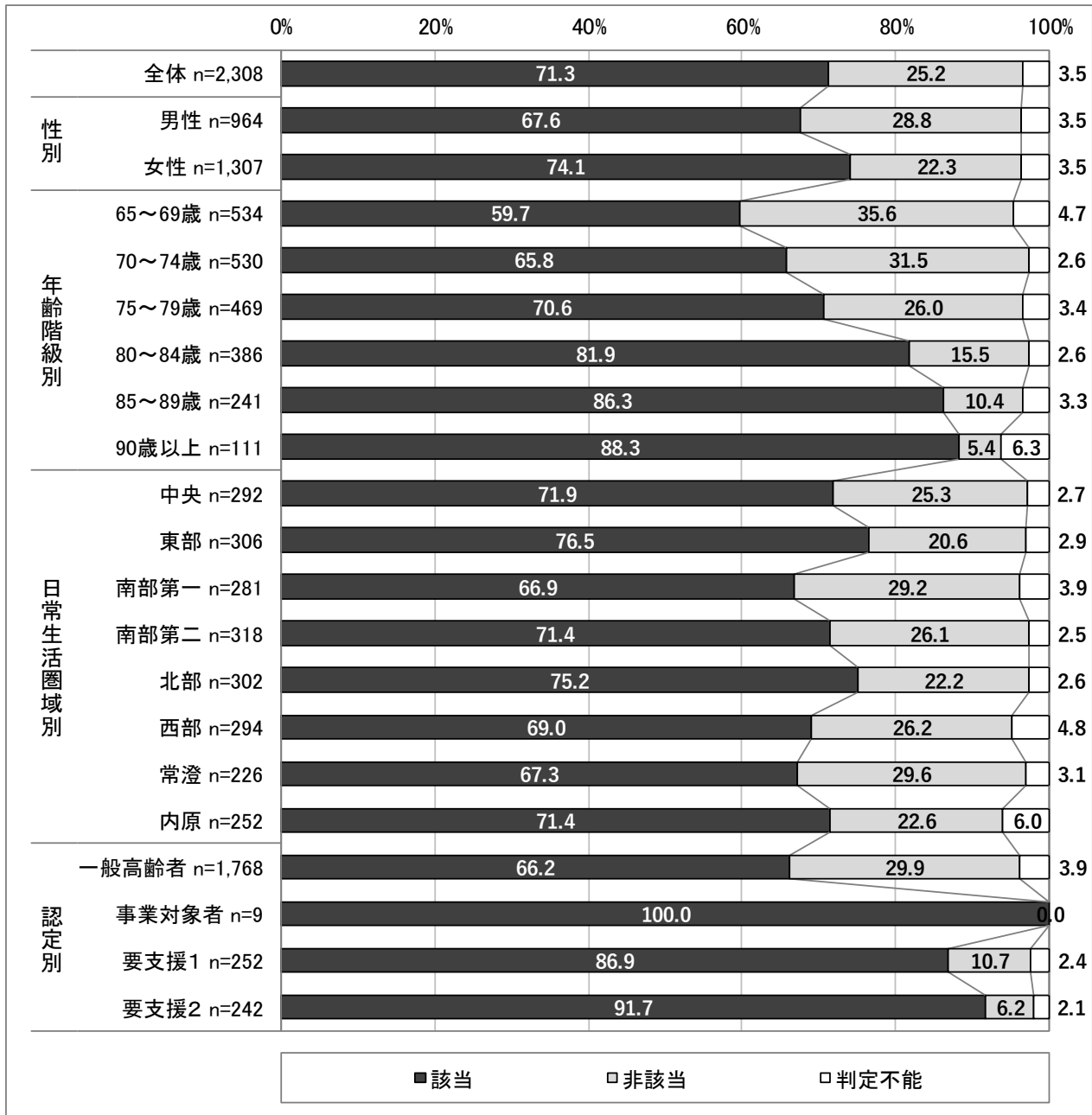
■事業対象者（7項目判定）

生活機能、運動機能、栄養状態、口腔機能、閉じこもり、認知機能、うつのいずれかに該当した方は、全体で71.3%となっています。

性別では、男性が67.5%、女性が74.1%で、女性が男性に比べ6.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに事業対象者の割合が増加し、80歳以上では事業対象者が8割を超えています。

日常生活圏域別では、事業対象者の割合が最も高いのは、東部で76.5%、次いで中央で71.9%となっています。



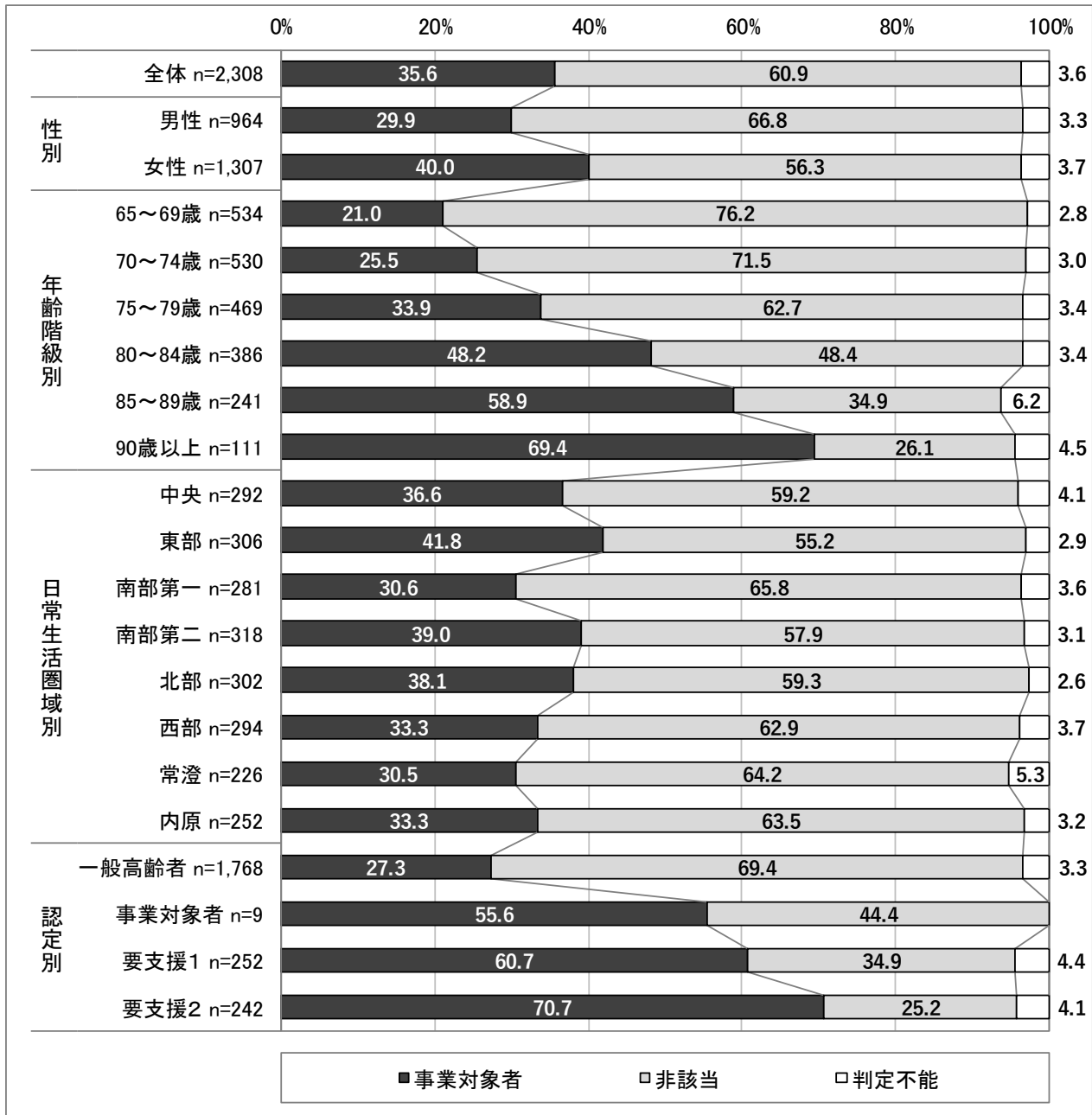
■事業対象者（4項目判定）

生活機能、運動機能、栄養状態、口腔機能のいずれかに該当した方は、全体で 35.6%となっています。

性別では、男性が 29.9%、女性が 40.0%で、女性が男性に比べ 10.0 ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに事業対象者の割合が増加し、75 歳以上では事業対象者が 3 割を超えています。

日常生活圏域別では、事業対象者の割合が最も高いのは、東部で 41.8%、次いで南部第二で 39.0%となっています。



2. その他の生活機能判定

介護予防のための生活機能評価のほかに、本調査票には、下記の機能を評価するための設問が設けられています。

評価にあたっては、下記の評価方法で実施しています。

○各機能の評価方法

項目	評価方法	設問番号
転倒リスク	問2 Q4の設問において、「何度もある」「1度ある」と回答した場合、転倒リスクの該当者と判定する。	問2 からだを動かすことについて Q4
手段的自立度 (IADL)	高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度(IADL)については、問4 Q4～Q8について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価する。	問4 毎日の生活について Q4～Q8
知的能動性	老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価する。	問4 毎日の生活について Q9～Q12
社会的役割	老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価する。	問4 毎日の生活について Q13～Q16
生活機能総合評価	手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目で評価を行う。11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」と評価する。	手段的自立度 (問4 毎日の生活について Q4～Q8) 知的能動性 (問4 毎日の生活について Q9～Q12) 社会的役割 (問4 毎日の生活について Q13～Q16)

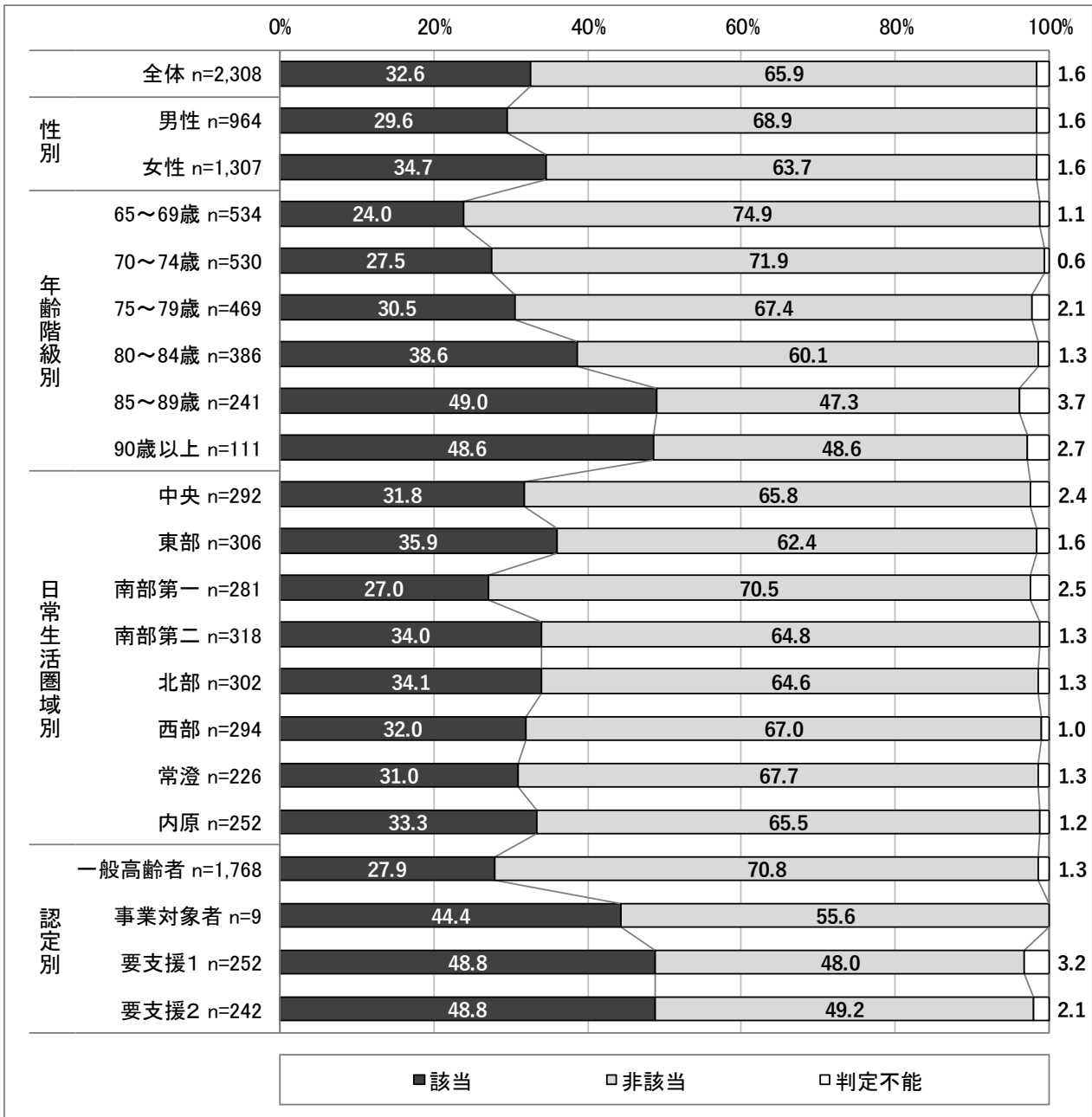
■転倒リスク

転倒リスクについての結果をみると、転倒リスクが高い傾向にあると判定された方は、全体で32.6%となっています。

性別では、男性が29.6%、女性が34.7%で、女性が男性に比べ5.1ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、75歳以上では該当者が3割を超えています。

日常生活圏域別では、該当者の割合が最も高いのは、東部で35.9%、次いで北部で34.1%となっています。



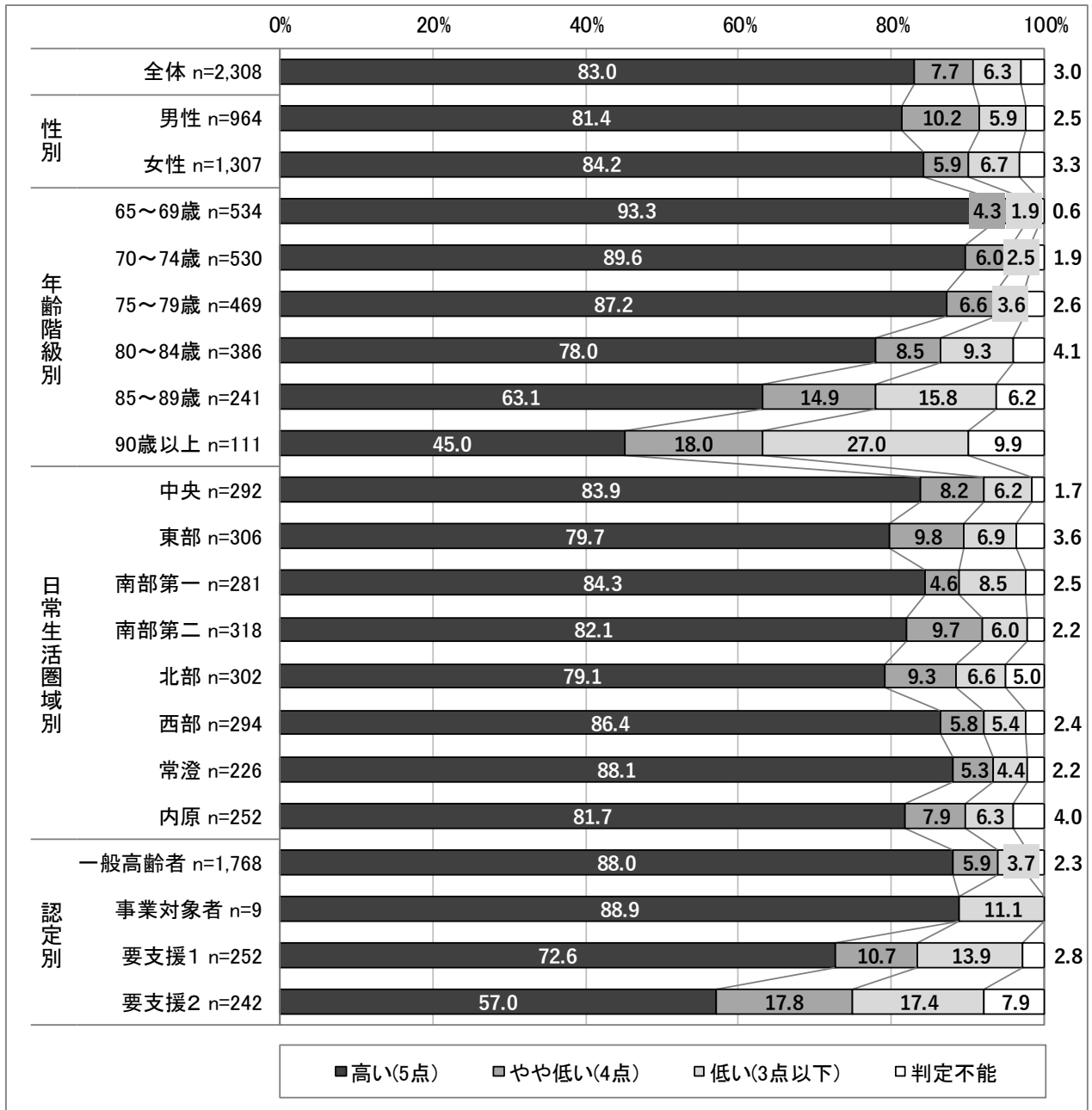
■手段的自立度（IADL）

手段的自立度（IADL）についてみると、手段的自立度が「高い」と判定された方は、全体で83.0%となっています。

性別では、男性が81.4%、女性が84.2%で、女性が男性に比べ2.8ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85～89歳では約6割となっています。

日常生活圏域別では、「高い」の割合が最も高いのは、常澄で88.1%、次いで西部で86.4%となっています。



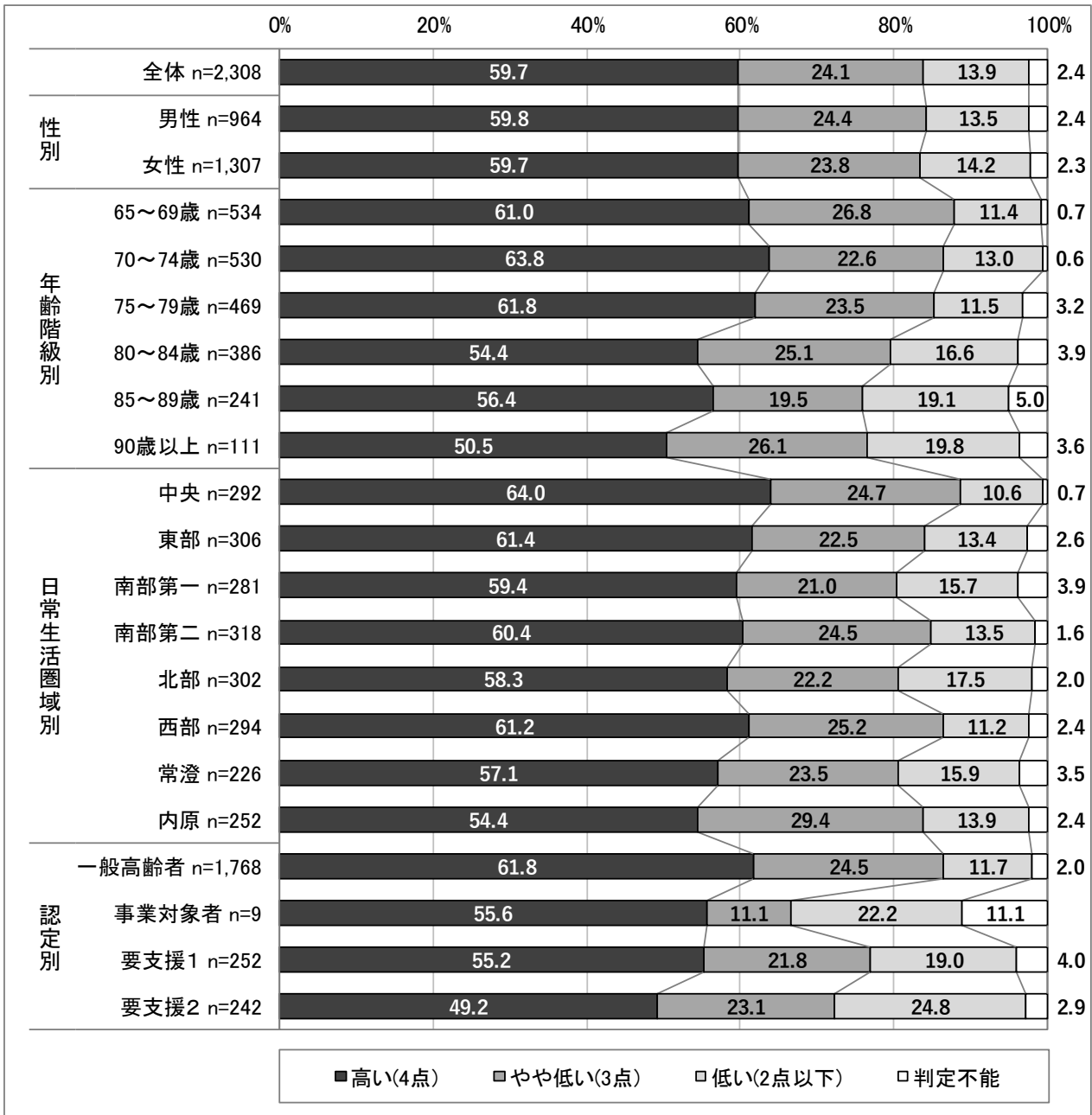
■知的能動性

知的能動性についてみると、知的能動性が「高い」と判定された方は、全体で 59.7%となっています。

性別では、男性が 59.8%、女性が 59.7%となっています。

年齢階級別では、65～79 歳では「高い」の割合が 6 割を超えている一方、80 歳以上では 5 割台となっています。

日常生活圏域別では、「高い」の割合が最も高いのは、中央で 64.0%、次いで東部で 61.4%となっています。



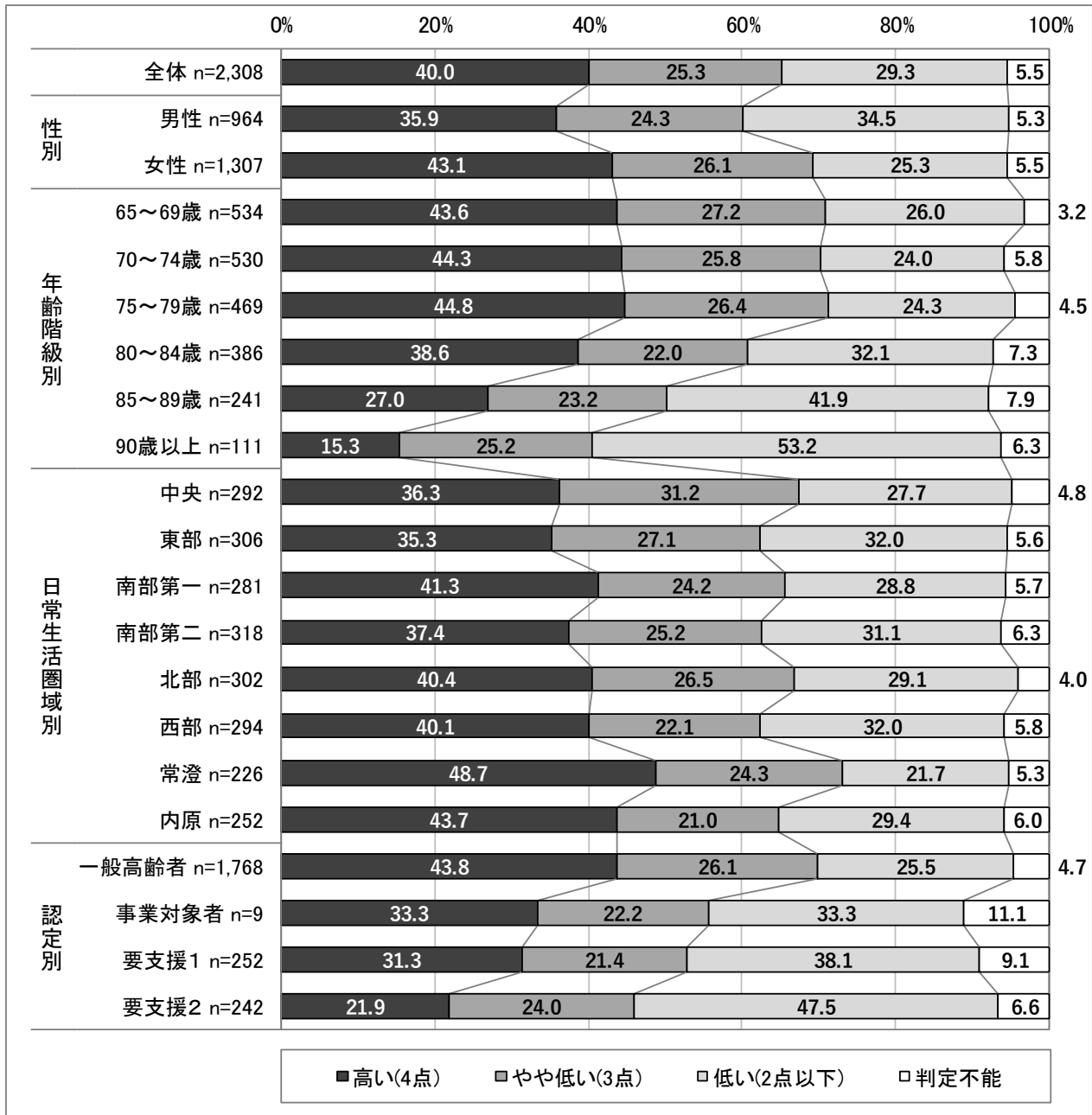
■社会的役割

社会的役割についてみると、社会的役割が「高い」と判定された方は、全体で 40.0%となっています。

性別では、男性が 35.9%、女性が 43.1%で、女性が男性に比べ 7.2 ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～79 歳では「高い」の割合が 4 割を超えており、80～84 歳以降、高いの割合は減少しています。

日常生活圏域別では、「高い」の割合が最も高いのは、常澄で 48.7%、次いで内原で 43.7%となっています。



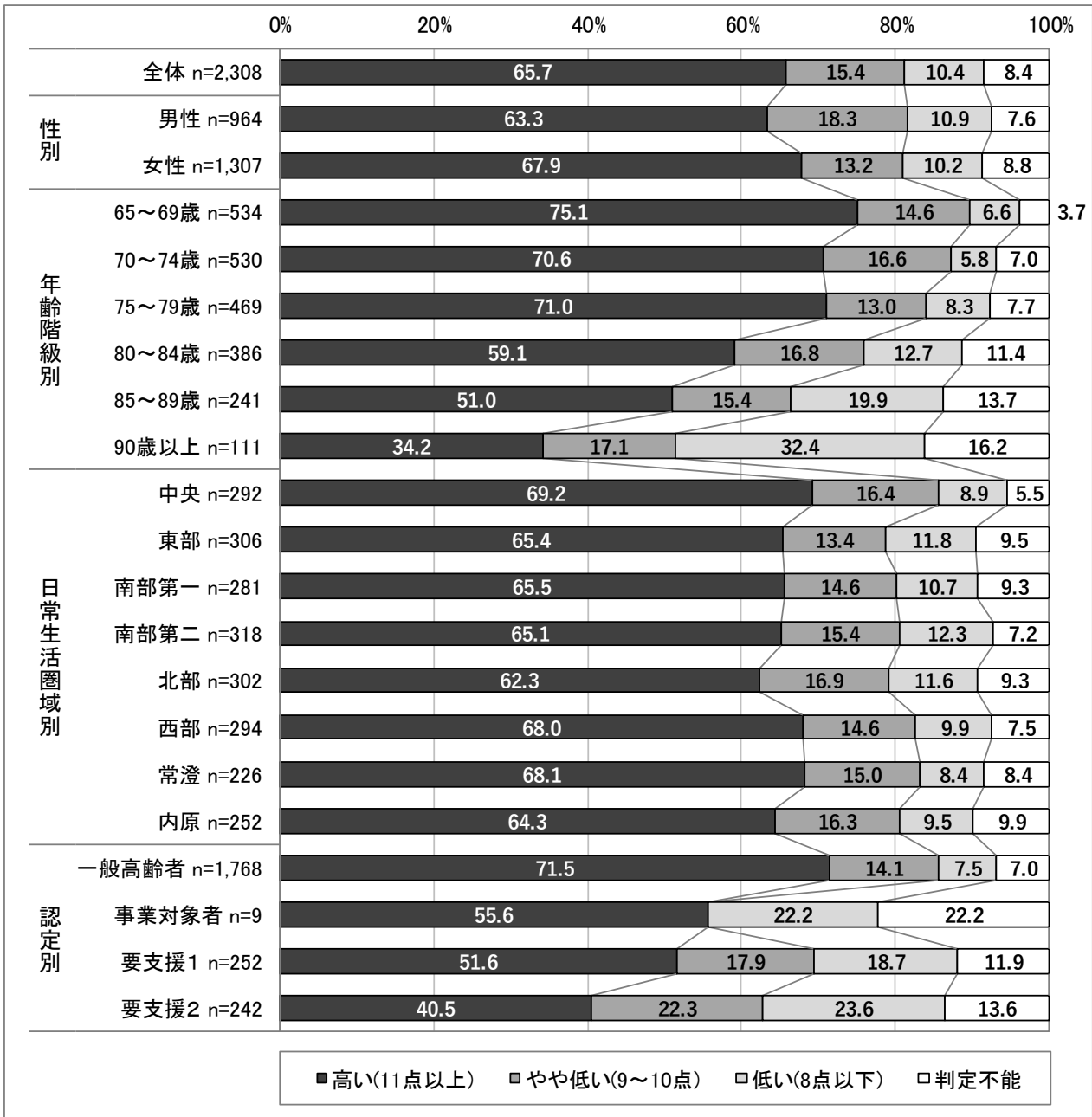
■生活機能総合評価

生活機能総合評価についてみると、生活機能総合評価が「高い」と判定された方は、全体で 65.7% となっています。

性別では、男性が 63.3%、女性が 67.9%で、女性が男性に比べ 4.6 ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～79 歳では「高い」の割合が 7 割を超えており、80～84 歳以降、高いの割合は減少しています。

日常生活圏域別では、「高い」の割合が最も高いのは、中央で 69.2%、次いで常澄で 68.1%となっています。



第Ⅳ部 資料編(使用した調査票)

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査票

はじめに

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、水戸市高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

水戸市では、地域の高齢者の皆様の課題を的確に把握し、今後の高齢者福祉行政に反映させるため、本調査「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」を実施いたします。

また、令和3年度から令和5年度までを計画年度とした「水戸市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、この調査の結果は、介護保険サービスや福祉サービスの種類や量を計画するための基礎資料となります。質問項目が多く、ご面倒をおかけしますが、福祉サービスの充実を図るため、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年12月

水戸市長 高橋 靖

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、令和元年12月20日(金)までに投函(切手不要)してください。

水戸市 保健福祉部
高齢福祉課



個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

1. この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、水戸市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、水戸市役所内で適切に管理いたします。
2. ただし、水戸市第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和元年11月1日現在、水戸市にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方から、3,000名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒にご回答いただいても構いません。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号に○をつけてください。また、数字を記入する欄は右詰め（例

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
4. この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】水戸市 保健福祉部 高齢福祉課

〒310-8610 茨城県水戸市中央1丁目4番1号

電話：029-297-5903（直通）

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 _____)
3. その他

問 1 あなたの家族や生活状況について

Q 1. 家族構成を教えてください (1つのみ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

Q 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つのみ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

**【Q 2において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」
「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】**

①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)
5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他 (_____)
15. 不明

【Q2において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
②. 主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)		
1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	
Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つのみ)		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
Q4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つのみ)		
1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)	
3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家	
7. その他		

問2	からだを動かすことについて		
Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つのみ)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つのみ)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
Q3. 15分位続けて歩いていますか (1つのみ)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つのみ)			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
Q5. 転倒に対する不安は大きいですか (1つのみ)			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない

Q 6. 週に1回以上は外出していますか (1つのみ)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
Q 7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つのみ)			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
Q 8. 外出を控えていますか (1つのみ)			
1. はい	2. いいえ		
【Q 8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】			
①. 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)			
1. 病気	2. 障害 (脳卒中の後遺症など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)		
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他 ()		
Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	
13. その他 ()			

問3 食べることについて

Q 1. 身長・体重			
身長	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	cm	体重
			<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
			kg
Q 2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つのみ)			
1. はい	2. いいえ		

Q 3. お茶や汁物等でむせることがありますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 4. 口の渇きが気になりますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 5. 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 6. 噛み合わせは良いですか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (1つのみ)		
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	
【Q 7で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】		
①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 8. 6か月間で 2～3 kg以上の体重減少がありましたか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 9. どなたかと食事をとる機会がありますか (1つのみ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問 4	毎日の生活について	
Q 1. 物忘れが多いと感じますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	

Q 3. 今日が何月何日かわからないときがありますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 4. バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つのみ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q 5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (1つのみ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q 6. 自分で食事の用意をしていますか (1つのみ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q 7. 自分で請求書の支払いをしていますか (1つのみ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q 8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つのみ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
Q 9. 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q10. 新聞を読んでいますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q11. 本や雑誌を読んでいますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q13. 友人の家を訪ねていますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q14. 家族や友人の相談にのっていますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q15. 病人を見舞うことができますか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	

Q16. 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つのみ)	
1. はい	2. いいえ
Q17. 趣味はありますか (1つのみ)	
1. 趣味あり	→ ()
2. 思いつかない	
Q18. 生きがいがありますか (1つのみ)	
1. 生きがいあり	→ ()
2. 思いつかない	

問5 地域での活動について						
Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①から⑧それぞれに回答してください (それぞれに1つのみ)						
	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (元気アップ・ステップ運動、 いきいき健康クラブ、脳の 健康教室・エンジョイスク ール、シルバーリハビリ体 操など)	1	2	3	4	5	6
⑥ 高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

Q 2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>参加者として</u>参加してみたいと思いますか (1つのみ)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している
Q 3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>企画・運営(お世話役)として</u>参加してみたいと思いますか (1つのみ)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 6	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします
Q 1. あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない
Q 2. 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない
Q 3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない
Q 4. 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. その他()	8. そのような人はいない

Q 5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)		
1. 自治会・町内会・高齢者クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・役所	6. その他	
7. そのような人はいない		
Q 6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つのみ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
Q 7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします (1つのみ)		
1. 0人 (いない)	2. 1～2人	3. 3～5人
4. 6～9人	5. 10人以上	
Q 8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚	
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人	
7. その他	8. いない	

問7	健康について										
Q 1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つのみ)											
1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない								
Q 2. あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)											
とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

Q 3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (1つのみ)		
1. はい	2. いいえ	
Q 5. お酒は飲みますか (1つのみ)		
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない		
Q 6. タバコは吸っていますか (1つのみ)		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない		
Q 7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病	
5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)	
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病	
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	
19. その他 ()		

問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

Q 1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つのみ)

1. はい

2. いいえ

Q 2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つのみ)

1. はい

2. いいえ

問 9 成年後見制度※について

Q 1. 成年後見制度を知っていますか (1つのみ)

1. 内容をよく知っている

2. だいたいの内容は知っている

3. 名前は知っているが内容は知らない

4. まったく知らない

Q 2. あなたが認知症などによって物事を判断する能力が十分でなくなった場合に、成年後見制度を利用したいと思いませんか (1つのみ)

1. 利用したい (既に利用している)

2. 利用したくない

3. わからない

※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分でない方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、本人の意思を尊重し、かつ本人の心身の状態や生活状況に配慮しながら、本人に代わって財産の管理や必要な契約を行い、本人の権利を守り生活を支援する制度です。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和元年12月20日(金)までに投函(切手不要)してください。

水戸市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【結果報告書】

令和2年3月

発行：水戸市

〒310-8610 茨城県水戸市中央1丁目4番1号

電話：029-224-1111（代表）

編集：水戸市 保健福祉部 高齢福祉課